

沖縄科学技術大学院大学シーサイド ハウス改修工事(電気設備)

訂正版_2_02-3_仕様書別添3 電気設備工事設計図

質疑 No.40 E-51 発電機容量の修正

表 紙								
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
E-00	表紙及び図面目録	非縮尺	E-25	A棟1階宿泊室詳細図(改修後)	A-1 1/100 A-3 1/200	E-50	受変電設備結線図(改修前)	非縮尺
E-01	特記仕様書(1)	非縮尺	E-26	C棟2・3階宿泊室詳細図(改修後)	A-1 1/100 A-3 1/200	E-51	自家発電設備詳細図(改修後)	非縮尺
E-02	特記仕様書(2)	非縮尺	E-27	LED照明器具姿図	非縮尺	E-52	自家発電設備詳細図(改修前)	非縮尺
E-03	特記仕様書(3)	非縮尺	E-28	照明器具姿図(改修前)	非縮尺	E-53	弱電設備1階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-04	案内図・配置図	A-1 1/750 A-3 1/1500	E-29	電灯分電盤結線図(1)改修後	非縮尺	E-54	弱電設備2階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-05	高圧引込設備(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-30	電灯分電盤結線図(2)改修後	非縮尺	E-55	弱電設備3階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-06	高圧引込設備(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-31	電灯分電盤結線図(3)改修後	非縮尺	E-56	弱電設備1階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-07	電灯設備1階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-32	電灯分電盤結線図(4)改修後	非縮尺	E-57	弱電設備2階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-08	電灯設備2階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-33	電灯分電盤結線図(5)改修後	非縮尺	E-58	弱電設備3階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-09	電灯設備3階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-34	電灯分電盤結線図(1)改修前	非縮尺	E-59	弱電設備系統図 TV・電話(改修後)	非縮尺
E-10	電灯設備1階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-35	電灯分電盤結線図(2)改修前	非縮尺	E-60	非常放送設備系統図(改修後)	非縮尺
E-11	電灯設備2階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-36	電灯分電盤結線図(3)改修前	非縮尺	E-61	弱電設備系統図 TV・電話(改修前)	非縮尺
E-12	電灯設備3階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-37	電灯分電盤結線図(4)改修前	非縮尺	E-62	非常放送設備系統図(改修前)	非縮尺
E-13	非常用照明設備1階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-38	電灯分電盤結線図(5)改修前	非縮尺	E-63	自動火災報知設備1階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-14	非常用照明設備2階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-39	幹線設備系統図(改修後)	非縮尺	E-64	自動火災報知設備2階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-15	非常用照明設備3階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-40	幹線設備系統図(改修前)	非縮尺	E-65	自動火災報知設備3階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-16	非常用照明設備1階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-41	幹線・動力設備1階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-66	自動火災報知設備1階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-17	非常用照明設備2階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-42	幹線・動力設備2階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-67	自動火災報知設備2階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-18	非常用照明設備3階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-43	幹線・動力設備3階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-68	自動火災報知設備3階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400
E-19	コンセント設備1階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-44	幹線・動力設備1階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-69	自動火災報知設備系統図(改修後)	非縮尺
E-20	コンセント設備2階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-45	幹線・動力設備2階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-70	自動火災報知設備系統図(改修前)	非縮尺
E-21	コンセント設備3階平面図(改修後)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-46	幹線・動力設備3階平面図(改修後)	非縮尺			
E-22	コンセント設備1階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-47	動力盤結線図(改修後)	非縮尺			
E-23	コンセント設備2階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-48	動力盤結線図(改修前)	非縮尺			
E-24	コンセント設備3階平面図(改修前)	A-1 1/200 A-3 1/400	E-49	受変電設備結線図(改修後)	非縮尺			

沖縄科学技術大学院大学学園

1 工事概要

- (1) 工 事 名 : 沖縄科学大学院大学シーサイドハウス改修工事
(2) 工事場所 : 沖縄県国頭郡恩納村字恩納7542
(3) 建物概要

建築物の名称	構造及び階数	延べ面積	用途区分
		(m ²)	消防法施行令別表第一
宿泊及びセミナー施設	RC・3階	2,999.63	7項
計			

(注:延べ面積は建築基準法による表記)

(4) 工事科目(○印を付けたものを適用する)

工事科目	建物別及び屋外		
			屋外
電灯設備	○		
動力設備	○		
電熱設備			
雷保護設備			
受変電設備	○		
電力貯蔵設備			
発電設備	○		
構内情報通信網設備			
構内交換設備			
情報表示設備			
映像・音響設備			
拡声設備	○		
誘導支援設備			
テレビ共同受信設備			
監視カメラ設備			
駐車場管制設備			
防犯・入退室管理設備	○		
火災報知設備	○		
中央監視制御設備			
構内配電線路	○		
構内通信線路	○		
テレビ電波障害防除設備			
発生材処理	○		
撤去工事	○		
軽微な機械設備工事			
軽微な建築工事			

2 本工事の設計時期

本工事の設計書は、令和 年 月 日時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び令和 年 月 日の公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。

3 電気設備工事仕様

(1) 標準仕様書等

- ア 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)
イ 本工事に建築工事を含む場合、建築工事は「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」(令和7年版)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」(令和7年版)による。

(2) 特記仕様

- ア 項目の番号に○印が付いた特記事項を適用する。
イ 特記事項のうち選択する事項は「・」又は「※」に○印が付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は「※」を適用する。「・」と「※」の両方に○印がある場合は、ともに適用する。
ウ 項目に記載の()内の表示番号は標準仕様書の当該項目を参考まで示している。

4 その他

(1) 公共事業労務費調査に対する協力

- ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合は、調査票等に必要事項を正確に記入し提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても同様とする。
イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても同様とする。
ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に從って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。
エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策

受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書」(平成19年7月24日)に基づき、次に掲げる事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。

- ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署に被害の届出を行うこと。
ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。

(3) ウィークリースタンスの実施

工事現場環境に関しては、ウィークリースタンス実施要領の3. 取組内容について、業務着手時の打合せ時に確認、調整し、取組内容を設定すること。なお、取組内容は打合せ記録簿へ記録し、受発注者で共有すること。

当該要領については、沖縄県技術・建設業課のホームページ(下記アドレス)を参照すること。
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/gijiken/kankeitosyo.html>

(4) 工事監理業務への協力等

- ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。
イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。)の氏名等は発注者から通知する。なお管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。
ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。

エ 建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。

(5) 県産資材の優先使用

本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。

(6) 下請業者の県内企業優先活用

受注者は、下請契約の相手方を県内企業(主たる営業所を沖縄県内に有する者。)から選定するよう努めなければならない。

(7) 不発弾等発見時の処理について

- 本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態を保存すること。
なお、これについては、下請業者へも周知すること。

(8) ダンプトラック等による過積載等の防止について

- ア 工食用資機材等の積載超過のないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。
イ 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。
エ さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることのないようにすること。
オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

- カ 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
キ アからカのことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

(9) 不正軽油の使用の禁止等について

- ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等の搬入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用し、又は使用させてはならない。
イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の抜取調査に協力しなければならない。

(10) 設計図書における資材等の取扱いについて

- ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。
イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとおり品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等級以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。
ウ 「参考図」は建設工事請負契約約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。

(11) ガイドライン等の遵守について

設計変更等については、契約書18条から24条に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン(営繕工事編)」(沖縄県土木建築部)によるものとする。

(12) 本工事の予定価格に占める法定福利費概算額について

ア 受注者は、契約締結後15日以内に、監督員を経由して請負代金内訳書を提出し、請負代金内訳書には、工事現場に従事する現場労働者に係る社会保険料(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険をいう。)の内の事業主が納付義務を負う保険料(以降「法定福利費」という。)を明示すること。

また、明示する法定福利費の算出に当たっては、各専門工事業体団体が作成した標準見積書に沿って作成された法定福利費を内訳明示した下請企業の見積りの活用等の方法により適正に見積ることが必要であり、「法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順」に準拠する等により適切に算出すること。

イ 発注者は、受注者から提出された請負代金内訳書に明示された法定福利費と予定価格に占める法定福利費概算額について確認を行い、「一定以上の乖離がある場合」は、受注者に対して説明を求め、場合によっては、建設業法第19条の3に違反するおそれがないか確認します。

【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(国土交通省HP)】

<https://www.mlit.go.jp/common/001090440.pdf>

【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)(国土交通省HP)】

<https://www.mlit.go.jp/common/001203247.pdf>

【各団体が作成した標準見積書(国土交通省HP)】

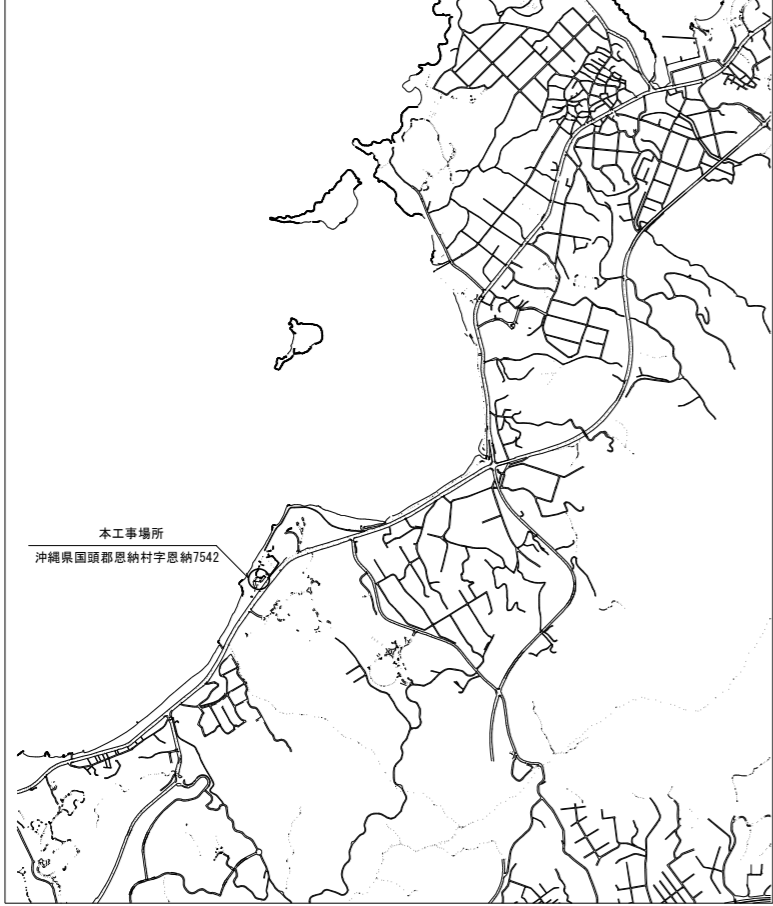
ホーム>政策・仕事>土地・建設産業>建設産業・不動産業>各団体が作成した標準見積書

https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000082.html

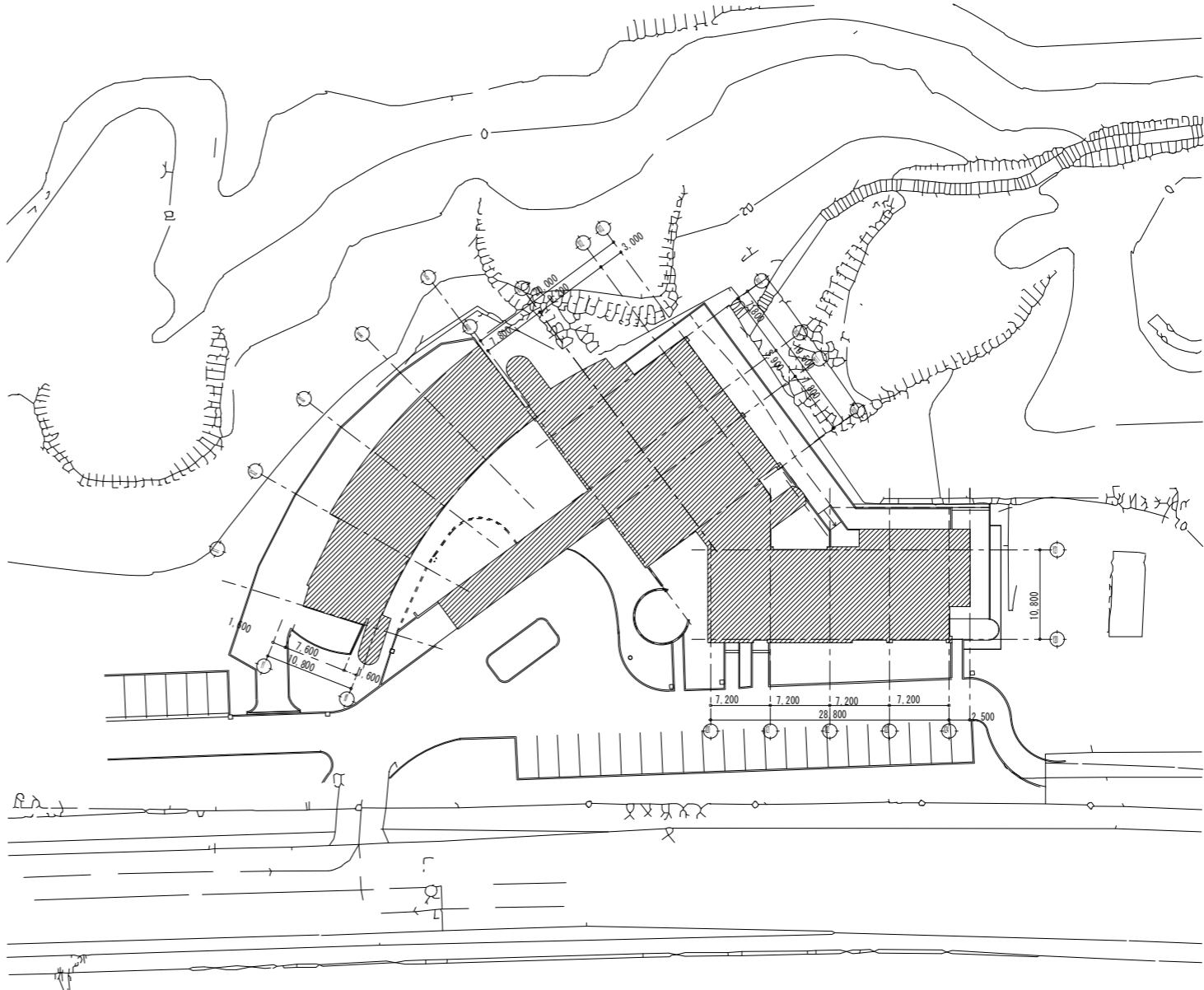
		<p>○ 8 工事の記録 (1.2.4)</p> <p>○ 9 設計図CADデータの貸与</p> <p>○ 10 施工管理体制 (1.3.1)</p>	<p>沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。</p> <p>本工事では発注者から受注者に対し設計図CADデータを貸与する。なお、貸与されたCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。</p> <p>(1) 工事請負代金額が4,500万円以上(建築一式工事の場合9,000万円以上)の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。</p> <p>ア 現場施工に着手するまでの期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 請負契約の締結の日の翌日から 令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 ※ 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。 イ 検査終了後の期間 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く)、事務手続、後片付け等のみが残っている契約工期中の期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 <p>(2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について</p> <p>ア 建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日より前に3か月以上の雇用関係が成立していなければならない。</p> <p>イ 受注者は、着手届と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類(健康保険被保険者証等の写し)を提出しなければならない。</p>	<p>○ 16 発生材の処理等 (1.3.9)</p>	<p>カ 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの)</p> <p>キ ローラ類</p> <p>ク ホイールクレーン</p> <p>適切、安全な工事の実施のため、必要に応じ事前に施工調査を行う。(建物や周辺の状況等調査、残存物品調査、PCB、アスベスト等有害物質調査など)</p> <p>(1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。</p> <table border="1" data-bbox="2077 283 2742 388"> <thead> <tr> <th colspan="3">発生材の種類及び処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引渡しを要するもの</td> <td>・ 無</td> <td>有(図示)</td> </tr> <tr> <td>特別管理産業廃棄物</td> <td>・ 無</td> <td>有(図示) ※現場調査を行う</td> </tr> <tr> <td>再利用を図るもの</td> <td>・ 無</td> <td>有(図示)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理すること。</p> <p>(3) 建設リサイクルの推進について</p> <p>受注者は、該当する建設資材がある場合、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(以下「COBRIS」という。)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督職員に提出しなければならない。</p> <p>また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時にCOBRISにより作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督職員に提出しなければならない。</p> <p>(4) 本工事で発生する建設廃棄物を現場外に搬出する場合、以下のいずれかとする。</p> <p>ただし、島内、もしくは建設発生木材(伐採木を含む)建設汚泥については工事現場から50km以内に以下の施設がない場合は、この限りではない。</p> <p>① 搬出した廃棄物の種類を原材料とするゆいくる材を製造している再資源化施設へ搬出</p> <p>② 搬出した廃棄物の種類を原材料とするゆいくる材の製造を行っていないが、そこで再資源化された後にゆいくる材製造業者へ出荷している施設へ搬出</p> <p>(5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受入条件の合う中から運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。</p> <p>(6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について</p> <p>ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体(以下、「廃棄物」という。)については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。</p> <p>「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPIに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。</p> <p>http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/seibi/sangyo/asufaruto.html</p> <p>イ 発生する濁水(汚濁)に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について(通知)(平成24年3月28日付け土技第1257号)」に基づき、適正に処理すること。</p> <p>ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて(通知)(平成25年1月17日付け土技第942号)」に基づき、適正に処理すること。</p> <p>(7) 撤去前に内容物(燃料、冷媒、吸収液、廃油等)の回収を要する機器、配管等がある場合、撤去部に有害物質を含む材料(アスベスト、鉛、PCB等)が使用されている場合は、監督員と協議し、関係法令により適切に処置する。</p>	発生材の種類及び処理方法			引渡しを要するもの	・ 無	有(図示)	特別管理産業廃棄物	・ 無	有(図示) ※現場調査を行う	再利用を図るもの	・ 無	有(図示)
発生材の種類及び処理方法																	
引渡しを要するもの	・ 無	有(図示)															
特別管理産業廃棄物	・ 無	有(図示) ※現場調査を行う															
再利用を図るもの	・ 無	有(図示)															
<p>一般共通事項</p> <p>○ 1 工事実績情報の登録 (1.1.4)</p> <p>○ 2 適用図書等 (1.1.6)</p> <p>○ 3 別契約の関連工事 (1.1.7)</p> <p>○ 4 工事の一時中止に係る事項 (1.1.9)</p> <p>5 工事の余裕期間</p> <p>6 概成工期 (1.2.1)</p> <p>○ 7 施工図等 (1.2.3)</p>	<p>工事実績情報の登録を行う。ただし、請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。</p> <p>※ 公共建築工事標準仕様書(令和7年版)(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修)</p> <p>※ 公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修)</p> <p>※ 公共建築設備工事標準図(令和7年版)(国土交通省大臣官庁官庁営繕部設備・環境課監修)</p> <p>※ 営繕工事写真撮影要領(令和7年版)</p> <p>※ (建築、電気設備、機械設備)工事監理指針(令和7年版)(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修)</p> <p>※ 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(建築材料等・設備機材等)評価名簿(令和7年版)(一般社団法人公共建築協会)</p> <p>※</p> <p>(1) 関連工事との取り合いは、別表-1による。ただし、図示されたものを除く。</p> <p>(2) 他工事の施工に支障をきたさないように、施工に必要な位置、寸法、数量等を速やかに明示し、円滑な施工に協力すること。</p> <p>工事の一時中止に係る計画の作成</p> <p>(1) 工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。</p> <p>なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。</p> <p>(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。</p> <p>・ 余裕期間を設定する工事 【 方式】</p> <p>【以下から選択:発注者指定方式/任意着手方式/フレックス方式】</p> <p>(1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。</p> <p>なお、余裕期間の設定にかかると積算上の割増は考慮しない。</p> <p>(2) 余裕期間制度のうち、任意着手方式、フレックス方式において、受注者は、余裕期間内の任意の日を工事の始期と定めることができる。</p> <p>このため、受注者は、落札結果通知を受けた日の翌日までに「工期通知書(様式-1)」を作成し、発注者(契約担当者)に通知(提出)すること。</p> <p>(3) その他事項は、「余裕期間を設定する工事実施要領」による。</p> <p>図示された範囲は、令和 年 月 日までに完了すること。</p> <p>(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者へ移譲するものとする。</p> <p>(2) 受注者は施工に先立ち各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、監督員に各工事の必要な内容を記載した総合図を提出し確認を受ける。ただし、監督員より総合図の作成を要しない旨の指示がある場合はこの限りでない。</p> <p>(3) 施工計画書及び主要機材の製作図並びに施工図は監督員の指示する時期に提出する。ただし、監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、製作図及び施工図は工事着工前までに提出し承諾を受ける。</p>	<p>○ 11 主任技術者等の資格</p> <p>(1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者の資格は、以下による。</p> <p>※ 資格の区分1</p> <p>次のイ又はロに掲げるもの</p> <p>イ 建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という。)のうち、1級の電気工事施工管理の検定種目に合格した者</p> <p>ロ 技術士法(昭和58年法律第25号)による第二次試験のうち、技術部門を電気電子部門又は建設部門に合格した者</p> <p>・ 資格の区分2</p> <p>次のイ又はロに掲げるもの</p> <p>イ 技術検定のうち、1級又は2級の電気工事施工管理の検定種目に合格した者</p> <p>ロ 資格の区分1のロに掲げる者</p> <p>・ 資格の区分3</p> <p>次のイ又はロに掲げるもの</p> <p>イ 建設業法第7条第2号イ又はロに定める実務経験を有する者</p> <p>ロ 昭和47年建設省告示第352号により、上記と同等以上の知識及び技術、技能を有すると認定された者</p> <p>(2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。</p> <p>○ 12 監理技術者の兼務(特例監理技術者の配置)</p> <p>※ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認める。この場合の要件は、現場説明書による。</p> <p>・ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認めない。</p> <p>○ 13 施工条件 (1.3.3)</p> <p>施工条件は、図示及び以下による。</p> <p>(図面参照・施工確認が不明の場合は、施主・施工管理者との打合せによる)</p> <p>○ 14 交通安全管理 (1.3.6)</p> <p>国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。(令和3年2月19日沖縄県公安委員会告示第38号)</p> <p>○ 15 施工中の環境保全等 (1.3.8)</p> <p>(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正平成13年4月9日国土交通省告示第487号)による建設機械を使用する。</p> <p>(2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号、最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。</p> <p>一般工用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5~260kW)</p> <p>ア バックホウ</p> <p>イ 車輪式トラクタショベル</p> <p>ウ ブルドーザ</p> <p>エ 発動発電機</p> <p>オ 空気圧縮機</p>															
					<p>沖縄科学大学院大学シーサイドハウス改修事業設計その他業務</p> <p>建築工事特記仕様書(電気工事編)-1</p> <p>E-02</p>												
			<p>一級建築士事務所</p> <p>株式会社 m3那覇建築事務所</p> <p>一級建築士事務所 知事登録 174-3409号</p>														

○	<p>17 工事の保険等</p> <p>(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。 ※ 火災保険 ※ 組立保険 ※ 請負業者賠償責任保険 ・ 建設工事保険 ・ 労働災害総合保険</p> <p>(2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後一か月以内に加入を証明するための書類を発注者に提出する。</p> <p>(3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。 ア 掛金収納書を契約後原則一ヶ月以内(電子申請方式による場合にあっては契約後原則40日以内)に発注者に提出する。 イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。 ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。 エ 工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査職員に提示しなければならない。</p>	<p>(5) 建築物等の利用に関する説明書について ○ 「建築物等の利用に関する説明書」を作成する。作成の手引き(国土交通省ホームページに掲載)を参考にして、記載事項は監督員との協議により決定する。</p> <p>(6) 受注者は、監督員より「長期保全計画書」の作成の指示があった場合、これを作成し監督員に提出しなければならない。なお、この計画書の内容等は監督員との協議により決定する。</p>																																																																																																																																																												
○	<p>18 ゆいぐる材について</p> <p>(1) ゆいぐる材の利用 ア 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆいぐる材に限り、原則「ゆいぐる材」とする。それ以外を原材料とするゆいぐる材は率先して使用することとする。 イ ゆいぐる材がない離島等での工事の場合は、ゆいぐる材以外の再生資材を使用できる。この場合においても受注者は、「ゆいぐる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施しなければならない。 ウ ゆいぐる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用する。</p> <p>(2) ゆいぐる材の品質管理 ア 受注者は、ゆいぐる材の品質管理にあたっては、標準仕様書等のほかに「ゆいぐる材品質管理要領」に基づいて実施しなければならない。 イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいぐる材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいぐる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。 ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験の試料採取や現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後に行う現場簡易試験を監督員等の立会のもと実施しなければならない。 エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した後、速やかに監督員等に試験結果を報告しなければならない。</p>	<p>○ 23 墜落制止用器具 墜落制止用器具は、フルハーネス型とする。ただし、墜落時に着用者が地面に到達するおそれのある場合は、胴ベルト型の使用を認めるものとする。また、墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)を遵守すること。</p> <p>○ 24 仮設工事(2.1.1) 本工事で必要な動力用水光熱費等の費用は、受注者の負担とする。 監督員事務所を本工事で (※設置しない ・ 設置する(・ 構内 ・ 構外 ・ 既存建物内一部使用))。 監督員事務所を設置する備品等の種類及び数量は以下のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1231 504 1869 577"> <thead> <tr> <th>設置する備品等の種類</th> <th>数量</th> <th>設置する備品等の種類</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 足場の組立、解体又は変更の作業を行う場合は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>25 土工事(2.2.1) 建設発生土の処分は次による。 ※ 構内敷きならし ・ 構内たい積 ・ 構外搬出適切処理 搬出先名称() 搬出先所在地() 運搬距離(km) 搬出先基準(条件)()</p> <p>○ 26 塗装工事(2.7.1) めっき又は塗装が施された機材の塗装は図示による他、標準仕様書等、標準図による。</p> <p>○ 27 機材 監督員の指示がある場合を除き、工事に使用する機材の規格、性能等は図示(機器仕様書等)によるほか標準仕様書等、標準図による。</p> <p>○ 28 施工 監督員の指示がある場合を除き、工事の施工は、図示によるほか標準仕様書等、標準図による。</p>	設置する備品等の種類	数量	設置する備品等の種類	数量					<p>別表-1(関連工事との取り合い)</p> <table border="1" data-bbox="1914 693 2700 1575"> <thead> <tr> <th rowspan="2"> </th> <th rowspan="2">工事内容</th> <th colspan="3">本工事</th> </tr> <tr> <th>電気</th> <th>機械</th> <th>建築</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機器の基礎</td> <td>屋内設置(架台、アンカーボルトを除く)</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>屋上設置(架台、アンカーボルトを除く)</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>屋外設置(架台、アンカーボルトを除く)</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>架台、アンカーボルト</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">貫通スリーブ(はり、床、壁)</td> <td>スリーブ</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>補強鉄筋</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">箱入れ(はり、床、壁)</td> <td>スリーブの穴埋め</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>箱入れ</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天井、壁の切り込み</td> <td>補強鉄筋</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>型枠の穴埋め</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開口部補強インサート</td> <td>墨出し</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>下地組み、ボード類切り込み(埋込照明器具、スピーカー等)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">換気扇の取付枠</td> <td>軽量鉄骨天井、壁下地</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>インサート</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電気配管配線</td> <td>換気扇の取付枠</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>機器付属の制御盤及び操作盤以降の配管、配線</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>機器付属の制御盤及び操作盤への電源供給配管、配線</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>天井吊り機器(空調機、空調換気扇)の本体と操作スイッチ間の配管</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>上記の配線</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>パッケージ型空調機などで屋内機と屋外機との間の配管</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>上記の配線</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>電極棒及びフロートスイッチの本体</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>上記の配管、配線</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>電気配管</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">浄化槽</td> <td>電気配線</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>電源供給</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">建具類駆動装置</td> <td>操作盤までの1次側電気工事</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>操作盤以降の2次側電気工事</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自動閉鎖装置</td> <td>建具類電動駆動装置の2次配線及び操作スイッチ</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>上記の配管</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自動閉鎖装置</td> <td>自動閉鎖装置取り付け箇所の切り込み及び補強</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>上記の配管、配線</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>※配線は接続を含むものとする。</p>		工事内容	本工事			電気	機械	建築	機器の基礎	屋内設置(架台、アンカーボルトを除く)	・	※	※	屋上設置(架台、アンカーボルトを除く)	・	※	※	屋外設置(架台、アンカーボルトを除く)	※	・	・	架台、アンカーボルト	※	・	・	貫通スリーブ(はり、床、壁)	スリーブ	※	・	・	補強鉄筋	・	・	※	箱入れ(はり、床、壁)	スリーブの穴埋め	※	・	・	箱入れ	※	・	・	天井、壁の切り込み	補強鉄筋	・	・	※	型枠の穴埋め	※	・	・	開口部補強インサート	墨出し	※	・	・	下地組み、ボード類切り込み(埋込照明器具、スピーカー等)	・	・	※	換気扇の取付枠	軽量鉄骨天井、壁下地	・	・	※	インサート	※	・	・	電気配管配線	換気扇の取付枠	・	※	・	機器付属の制御盤及び操作盤以降の配管、配線	・	※	・	機器付属の制御盤及び操作盤への電源供給配管、配線	※	・	・	天井吊り機器(空調機、空調換気扇)の本体と操作スイッチ間の配管	※	・	・	上記の配線	・	・	※	パッケージ型空調機などで屋内機と屋外機との間の配管	※	・	・	上記の配線	・	・	※	電極棒及びフロートスイッチの本体	・	・	※	上記の配管、配線	※	・	・	電気配管	・	・	・	浄化槽	電気配線	・	・	・	電源供給	※	・	・	建具類駆動装置	操作盤までの1次側電気工事	※	・	・	操作盤以降の2次側電気工事	・	・	※	自動閉鎖装置	建具類電動駆動装置の2次配線及び操作スイッチ	・	・	※	上記の配管	※	・	・	自動閉鎖装置	自動閉鎖装置取り付け箇所の切り込み及び補強	・	・	※	上記の配管、配線	※	・	・
設置する備品等の種類	数量	設置する備品等の種類	数量																																																																																																																																																											
	工事内容	本工事																																																																																																																																																												
		電気	機械	建築																																																																																																																																																										
機器の基礎	屋内設置(架台、アンカーボルトを除く)	・	※	※																																																																																																																																																										
	屋上設置(架台、アンカーボルトを除く)	・	※	※																																																																																																																																																										
	屋外設置(架台、アンカーボルトを除く)	※	・	・																																																																																																																																																										
	架台、アンカーボルト	※	・	・																																																																																																																																																										
貫通スリーブ(はり、床、壁)	スリーブ	※	・	・																																																																																																																																																										
	補強鉄筋	・	・	※																																																																																																																																																										
箱入れ(はり、床、壁)	スリーブの穴埋め	※	・	・																																																																																																																																																										
	箱入れ	※	・	・																																																																																																																																																										
天井、壁の切り込み	補強鉄筋	・	・	※																																																																																																																																																										
	型枠の穴埋め	※	・	・																																																																																																																																																										
開口部補強インサート	墨出し	※	・	・																																																																																																																																																										
	下地組み、ボード類切り込み(埋込照明器具、スピーカー等)	・	・	※																																																																																																																																																										
換気扇の取付枠	軽量鉄骨天井、壁下地	・	・	※																																																																																																																																																										
	インサート	※	・	・																																																																																																																																																										
電気配管配線	換気扇の取付枠	・	※	・																																																																																																																																																										
	機器付属の制御盤及び操作盤以降の配管、配線	・	※	・																																																																																																																																																										
	機器付属の制御盤及び操作盤への電源供給配管、配線	※	・	・																																																																																																																																																										
	天井吊り機器(空調機、空調換気扇)の本体と操作スイッチ間の配管	※	・	・																																																																																																																																																										
	上記の配線	・	・	※																																																																																																																																																										
	パッケージ型空調機などで屋内機と屋外機との間の配管	※	・	・																																																																																																																																																										
	上記の配線	・	・	※																																																																																																																																																										
	電極棒及びフロートスイッチの本体	・	・	※																																																																																																																																																										
	上記の配管、配線	※	・	・																																																																																																																																																										
	電気配管	・	・	・																																																																																																																																																										
浄化槽	電気配線	・	・	・																																																																																																																																																										
	電源供給	※	・	・																																																																																																																																																										
建具類駆動装置	操作盤までの1次側電気工事	※	・	・																																																																																																																																																										
	操作盤以降の2次側電気工事	・	・	※																																																																																																																																																										
自動閉鎖装置	建具類電動駆動装置の2次配線及び操作スイッチ	・	・	※																																																																																																																																																										
	上記の配管	※	・	・																																																																																																																																																										
自動閉鎖装置	自動閉鎖装置取り付け箇所の切り込み及び補強	・	・	※																																																																																																																																																										
	上記の配管、配線	※	・	・																																																																																																																																																										
○	<p>19 機材の品質等(1.4.2) ※ 工事に使用する機材の品質等は図示(機器仕様書等)又はこれらと同等のものとする。(製品番号等は参考であり限定しない。) ※ 使用する機材はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 使用する機材が「建築資材・設備機材等品質性能評価事業」(一般社団法人公共建築協会)による場合は、評価書の写しを監督員に提出する。</p> <p>20 化学物質の濃度測定(1.5.7) (1) 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等。 <table border="1" data-bbox="415 1155 1038 1260"> <thead> <tr> <th>測定対象室</th> <th>測定箇所数</th> <th>測定時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 測定対象化学物質が濃度指針値を超えた濃度で検出された場合は、引渡は受けない。</p> <p>21 技術検査(1.6.2) 中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。</p> </p>	測定対象室	測定箇所数	測定時期	備考									<p>○ 29 耐震施工 (1) 耐震施工は下記による。ただし、設計用標準震度が図示された場合は、指定された設計用標準震度を用いて耐震施工を行う。 ※ 「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」 ・ ・ (2) 建築物導入配管で不等沈下のおそれがある場合及び建物のエキスパンションジョイント部の配管は、図示によるほか標準図による措置を施す。</p> <p>30 磁気探査 本工事は磁気探査業務を含む。実施は「磁気探査実施要領 令和2年1月」(沖縄県土木建築部)によるものとし、位置は図示による。</p> <p>○ 31 その他 (1) 受注者が代行で行う諸官公署手続き費用等は、受注者の負担とする。 (2) 以下の負担金は受注者の負担とする。 ・ 電力引込に係る負担金(円)</p> <p>(3) 図示されたものを除き、以下による。 ・ 位置ボックスは(・ 金属製 ・ 合成樹脂製 ・)とする。 ・ フラッシュプレートは(・ 樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 黄銅WB製 ・)とする。 ・ 長さ1m以上の入線しない電線管には、直径1.2mm以上の被覆鉄線を挿入する。 ・ 一般照明の照度測定を行う。照度測定を行う場所は、監督職員の指示による。</p>																																																																																																																																																
測定対象室	測定箇所数	測定時期	備考																																																																																																																																																											
○	<p>22 完成時の提出図書(1.7.1) (1) 本工事の完成時の提出図書は、「営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領(案)」による。 (2) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等(以下、「要領」)に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (3) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか(一財)沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「電子納品確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で(正)1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (4) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に提出しなければならない。 ア ゆいぐる材利用状況報告書 イ ゆいぐる材出荷量証明書</p>		<p>沖縄科学大学院大学シーサイドハウス改修事業設計その他業務 建築工事特記仕様書(電気工事編)-1</p> <p>一級建築士事務所 株式会社 m3那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号</p> <p>E-03</p>																																																																																																																																																											

改修工事概要	
工事名称	(独) 沖縄科学技術研究基盤整備機構 シーサイドハウス改修工事
建築場所	沖縄県国頭郡恩納村字恩納7542
施設用途	宿泊及びセミナー施設
構造・階数	RC造・3階建
敷地面積	73,580㎡
建築面積	1,331.12㎡
延べ面積	3,023.46㎡



案内図

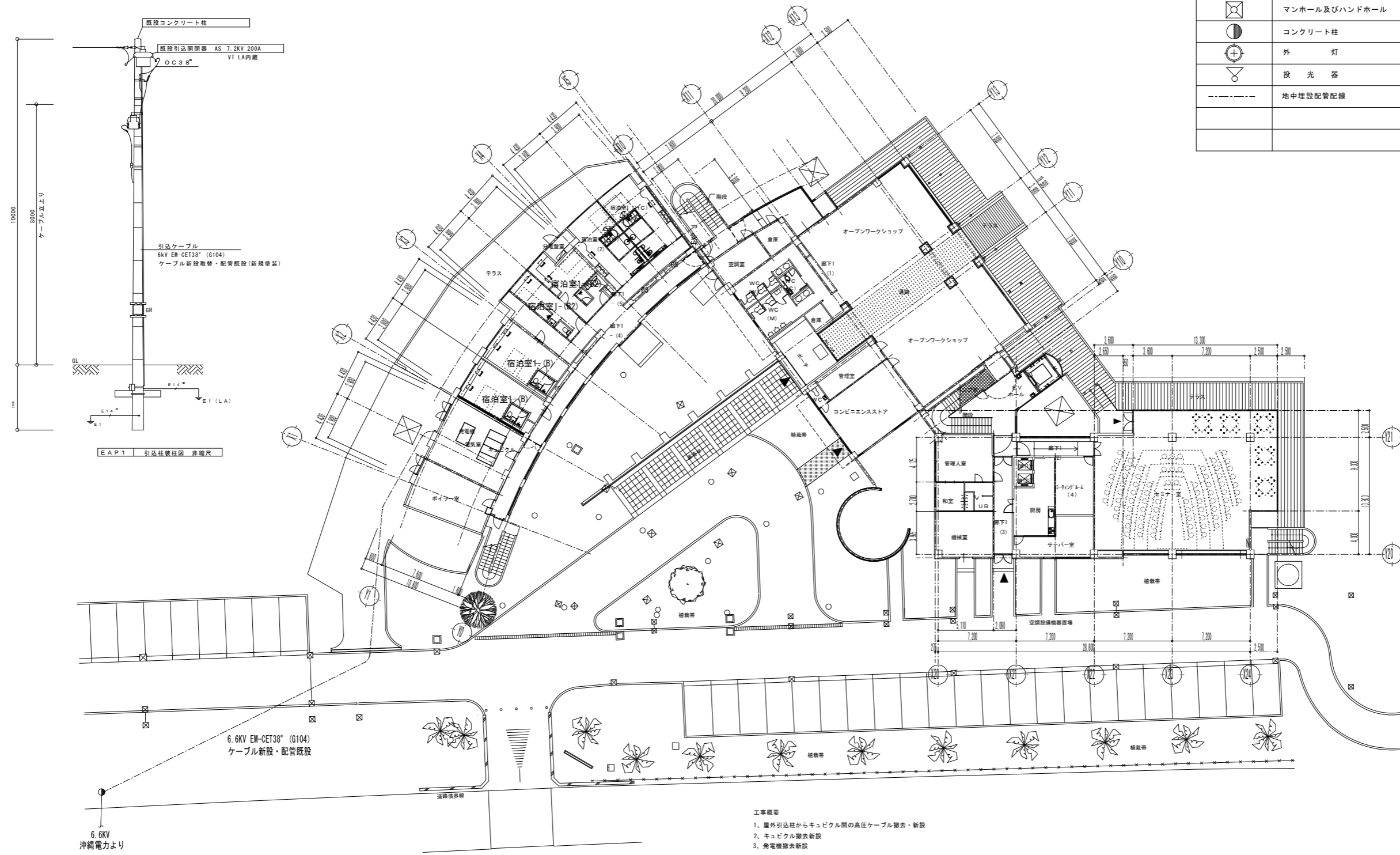


配置図 S=1/750



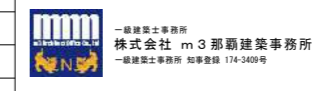
凡 例

記 号	名 称	適 用	備 考
	マンホール及びハンドホール		
	コンクリート柱		既設
	外 灯		
	投 光 器		
	地中埋設配管配線	6.6KV EM-CET38*	(G104) 既設配管



- 工事概要
- 1、屋外引込柱からキューピクル間の高圧ケーブル撤去・新設
 - 2、キューピクル撤去新設
 - 3、発電機撤去新設

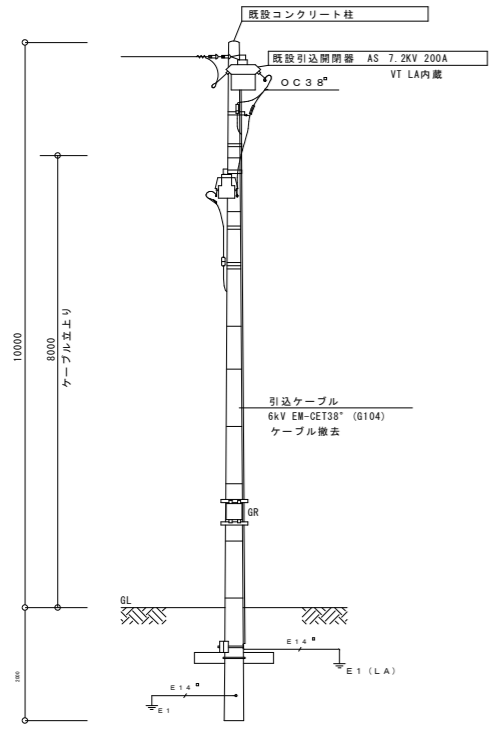
1 階平面図 S=1/200



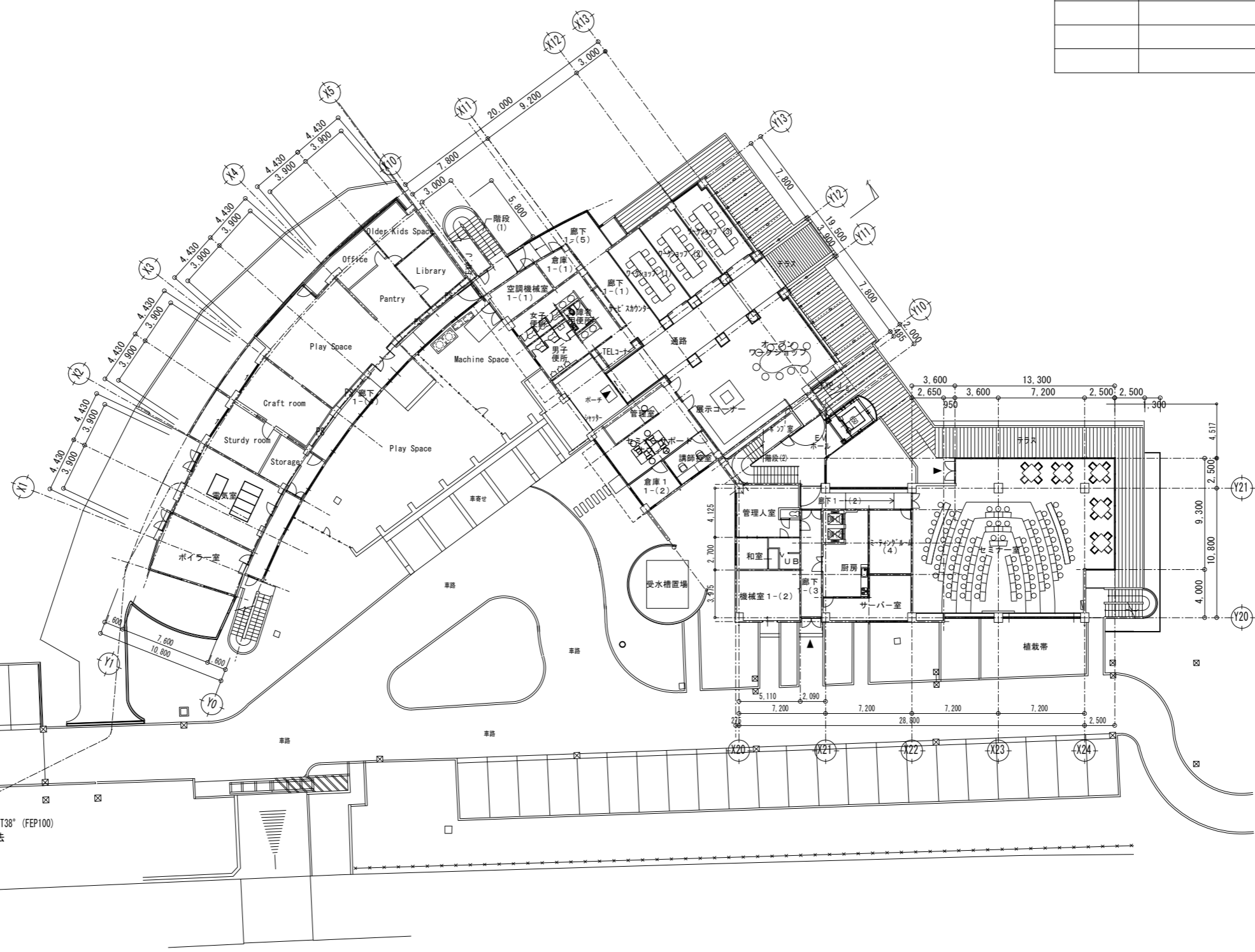


凡例

記号	名称	適用	備考
	コンクリート柱		既設
	地中埋設配管配線	6.6KV EM-CET38*	(G104) 既設配管



EAP1 引込柱装柱図 非縮尺

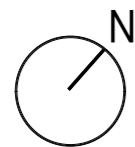


1階平面図 S=1/200



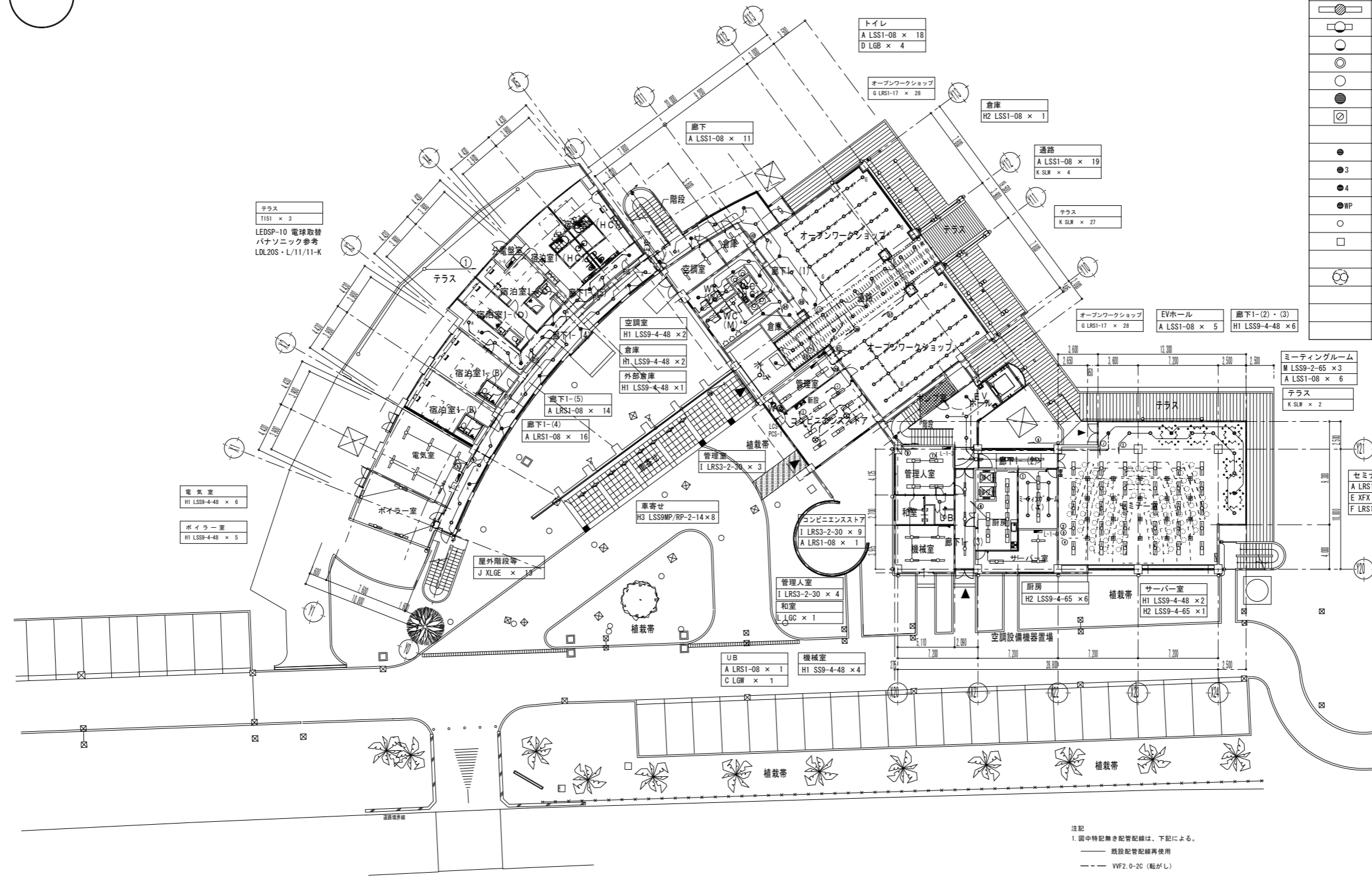
一級建築士事務所
株式会社 m3 那覇建築事務所
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 (電気設備)
高圧引込配線図 1階平面図 (改修前) A1: 1/200 A3: 1/400



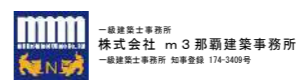
凡例

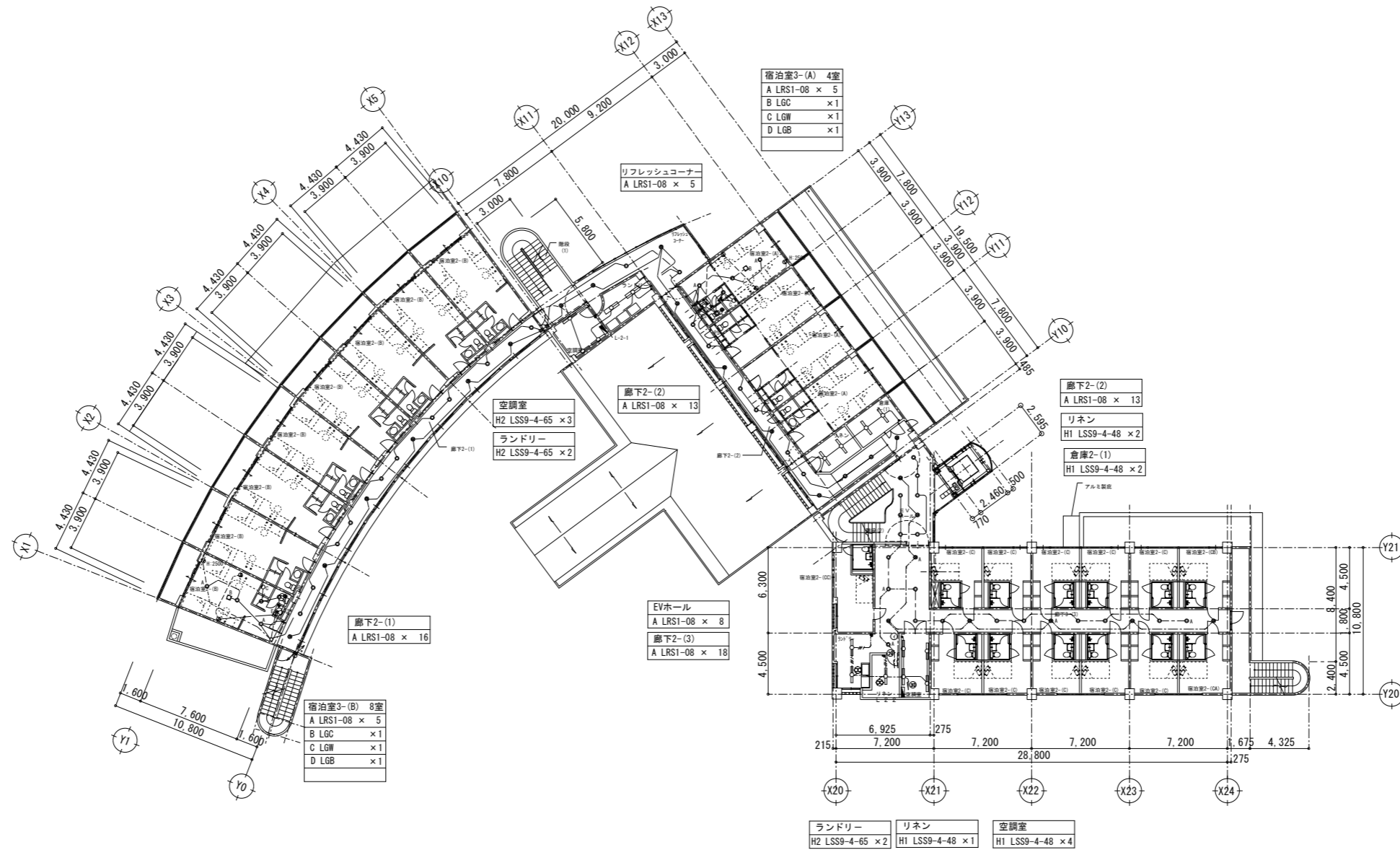
記号	名称	適用	備考
	電灯分電盤		
	ブルボックス		
	蛍光灯	LED	新設・取替
	"	非常用LED	新設・取替
	蛍光灯	LED	新設・取替
	"	非常用LED	新設・取替
	"	壁付LED	新設・取替
	ブラケット	LED	新設・取替
	埋込灯	LED	新設・取替
	直付灯	LED	新設・取替
	非常灯	LED	新設・取替
	蛍光灯	LED	新設・取替
	埋込スイッチ		配線新設部分新設
	"	3路	配線新設部分新設
	"	4路	配線新設部分新設
	"	防水型	配線新設部分新設
	パイロットランプ		配線新設部分新設
	ジャンクションボックス		配線新設部分新設
	換気扇		別途工事



1階平面図 S=1/200

注記
各階・非常用照明・宿泊室も共通

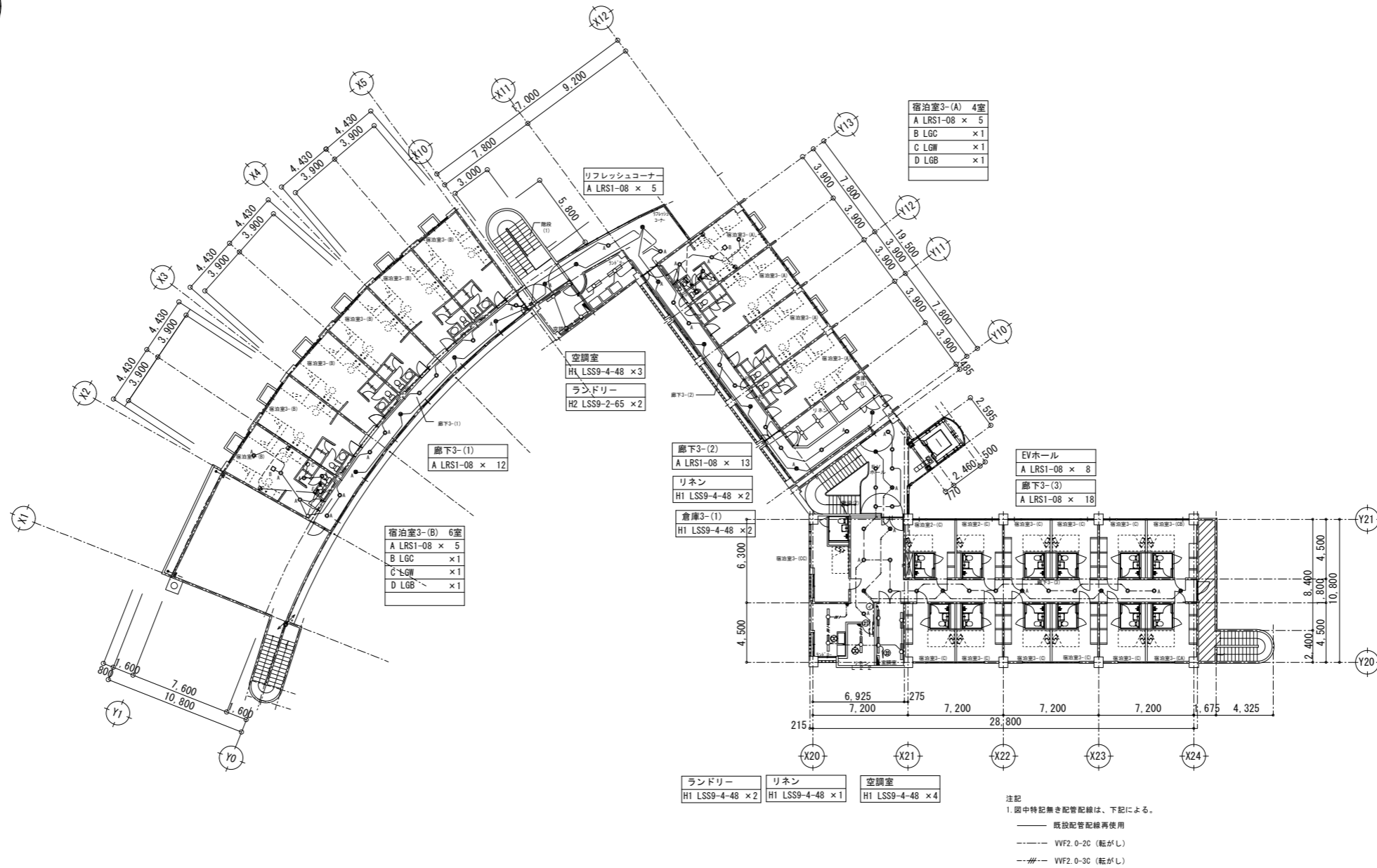




2階平面図

S=1/200

注記
 1. 図中特記無き配管配線は、下記による。
 ——— 既設配管配線再使用
 - - - - - VVF2.0-2C (転がし)
 - · - · - VVF2.0-3C (転がし)



3階平面図 S=1/200

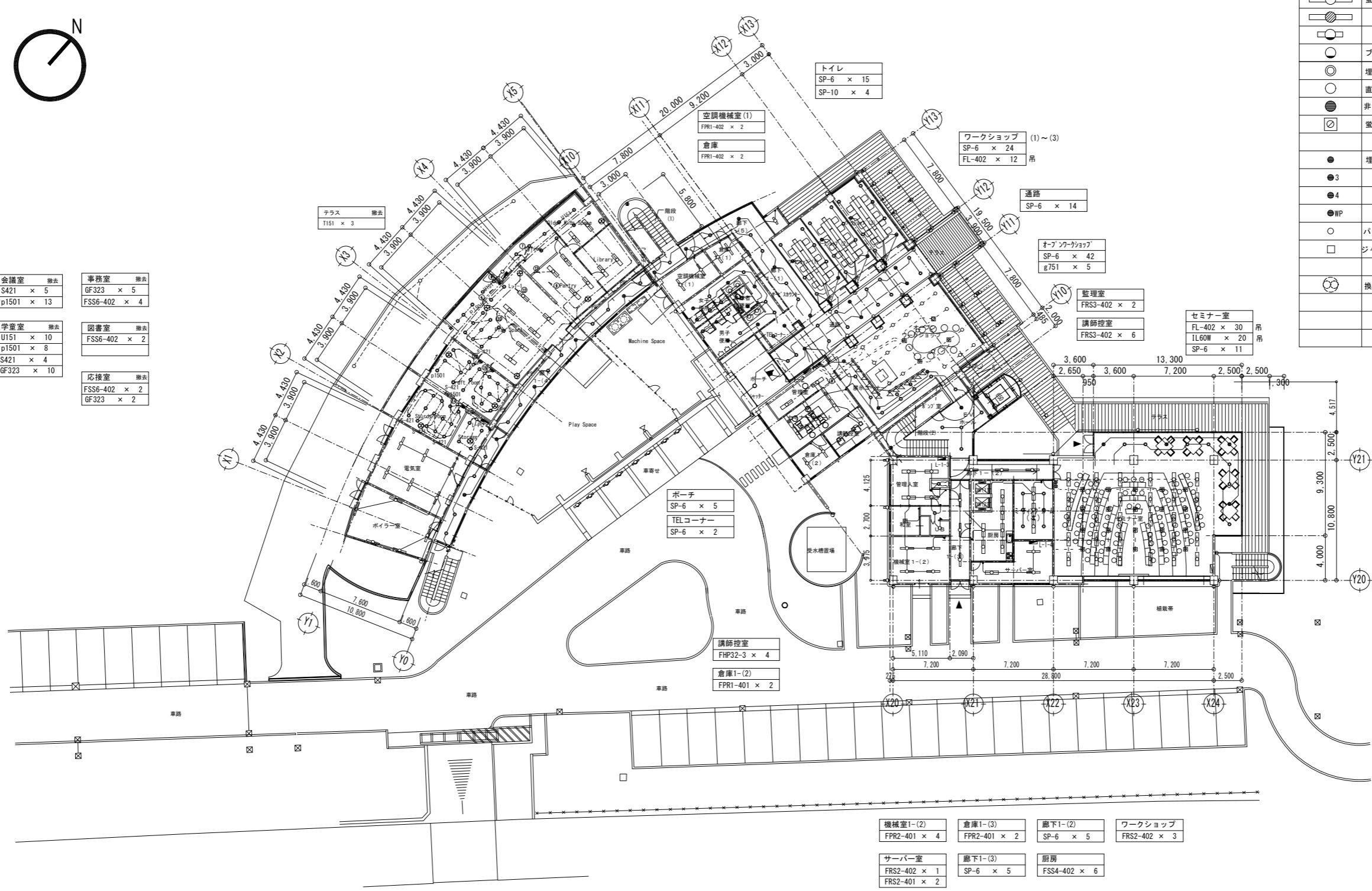


凡例

記号	名称	適用	備考
	電灯分電盤		
	ブルボックス		
	蛍光灯	2灯用・3灯用	撤去
	"	非常用	撤去
	蛍光灯	1灯用	撤去
	"	非常用	撤去
	"	壁付	撤去
	ブラケット		撤去
	埋込灯		撤去
	直付灯		撤去
	非常灯		撤去
	蛍光灯		撤去
	埋込スイッチ		配線撤去部分撤去
	"	3路	配線撤去部分撤去
	"	4路	配線撤去部分撤去
	"	防水型	配線撤去部分撤去
	パイロットランプ		配線撤去部分撤去
	ジャンクションボックス		配線撤去部分撤去
	換気扇		別途工事

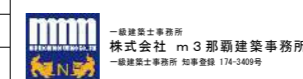
注記
各階・非常用照明・宿泊室も共通

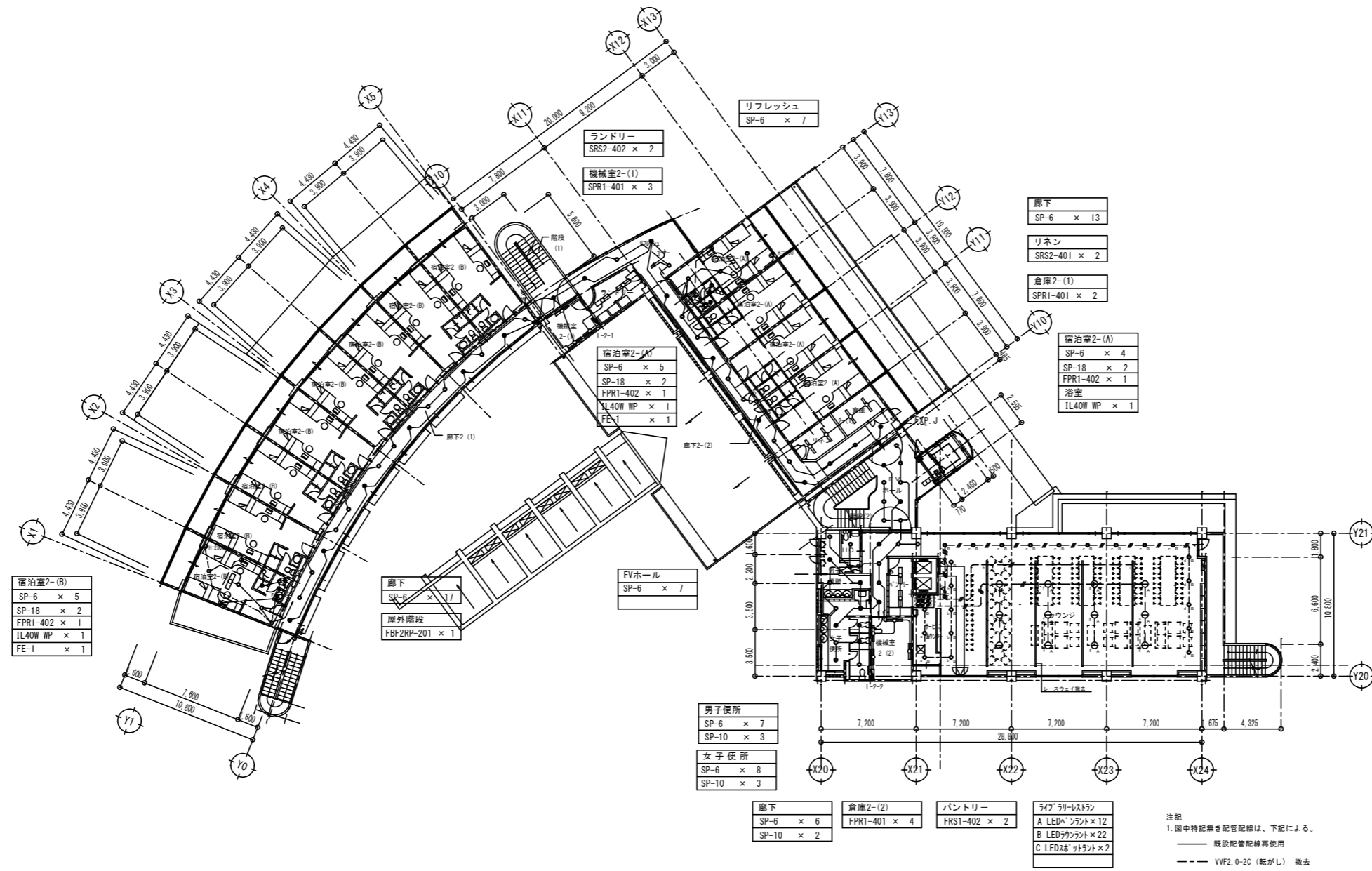
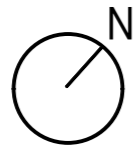
- | | | |
|--------------------------------|--|-------------------------------------|
| 電気室 撤去
FR1-402 × 6 | 会議室 撤去
S421 × 5
p1501 × 13 | 事務室 撤去
GF323 × 5
FSS6-402 × 4 |
| ボイラー室 撤去
FRL-401 × 5 | 学童室 撤去
U151 × 10
p1501 × 8
S421 × 4
GF323 × 10 | 図書室 撤去
FSS6-402 × 2 |
| クラスルーム 撤去
S421 × 4 | 応接室 撤去
FSS6-402 × 2
GF323 × 2 | |
| 備室 撤去
S421 × 9
p1501 × 6 | | |



1階平面図 S=1/200

注記
1. 図中特記無き配管配線は、下記による。
 - 既設配管配線再使用
 - VVF2.0-20 (転がし) 撤去
 - EM-1E2.0×2 (E19) 既設未撤去





2階平面図 S=1/200

注記
 1. 図中特記無き配管配線は、下記による。
 — 既設配管配線再使用
 - - - VVF2.0-2C (転がし) 撤去
 - - - VVF2.0-3C (転がし) 撤去
 - - - VVF2.0-2C (転がし) × 2 撤去
 = = = EM-1E2.0 × 2 (E19) 既設未撤去
 - - - EM-1E2.0 × 3 (E19) 既設未撤去

男子便所	SP-6 × 7
	SP-10 × 3
女子便所	SP-6 × 8
	SP-10 × 3

廊下	SP-6 × 6
	SP-10 × 2

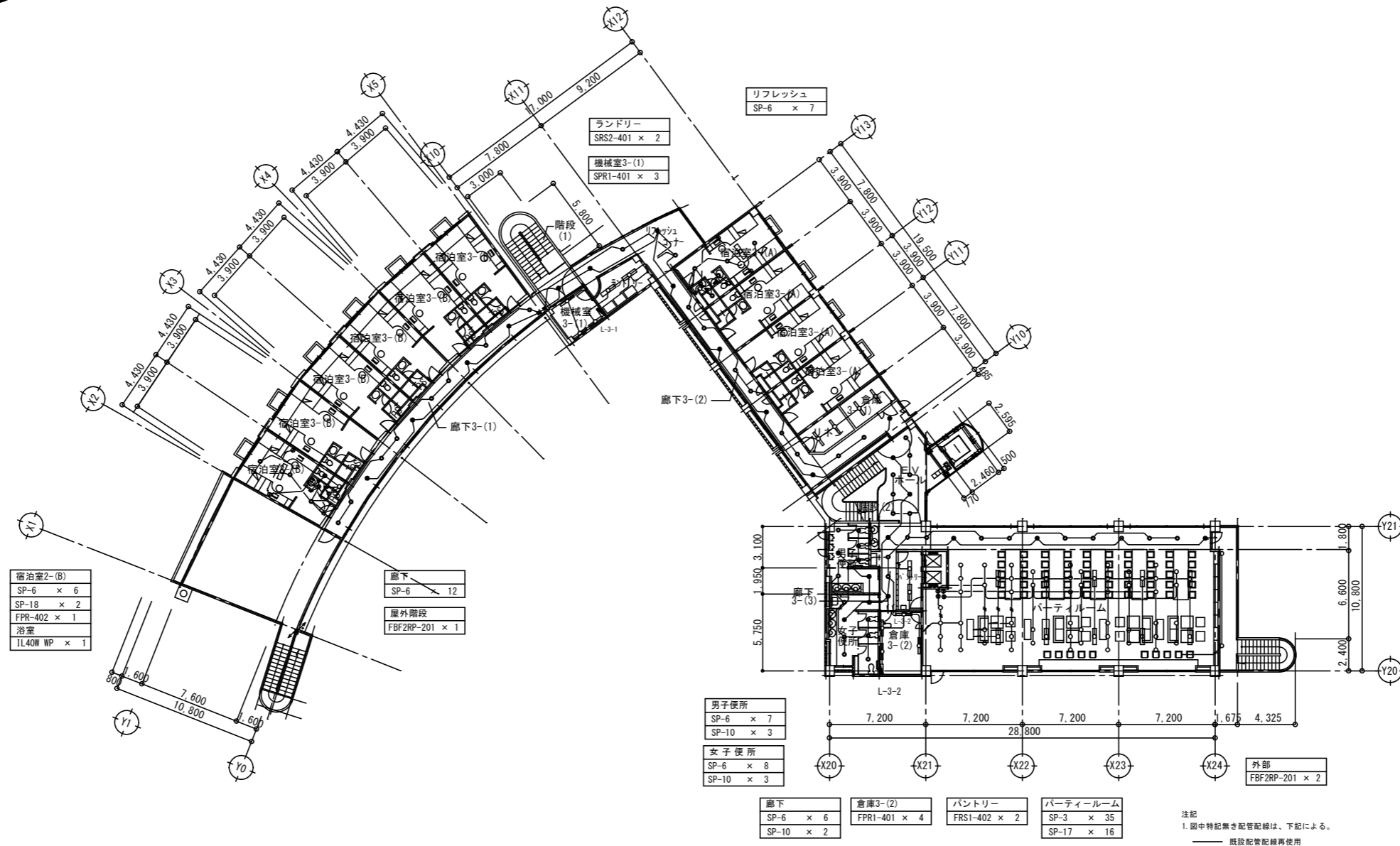
倉庫2-(2)	FPR1-401 × 4
---------	--------------

バントロリー	FRS1-402 × 2
--------	--------------

ライヴ・ラウンジ	A LEDスポット × 12
	B LEDスポット × 22
	C LEDスポット × 2

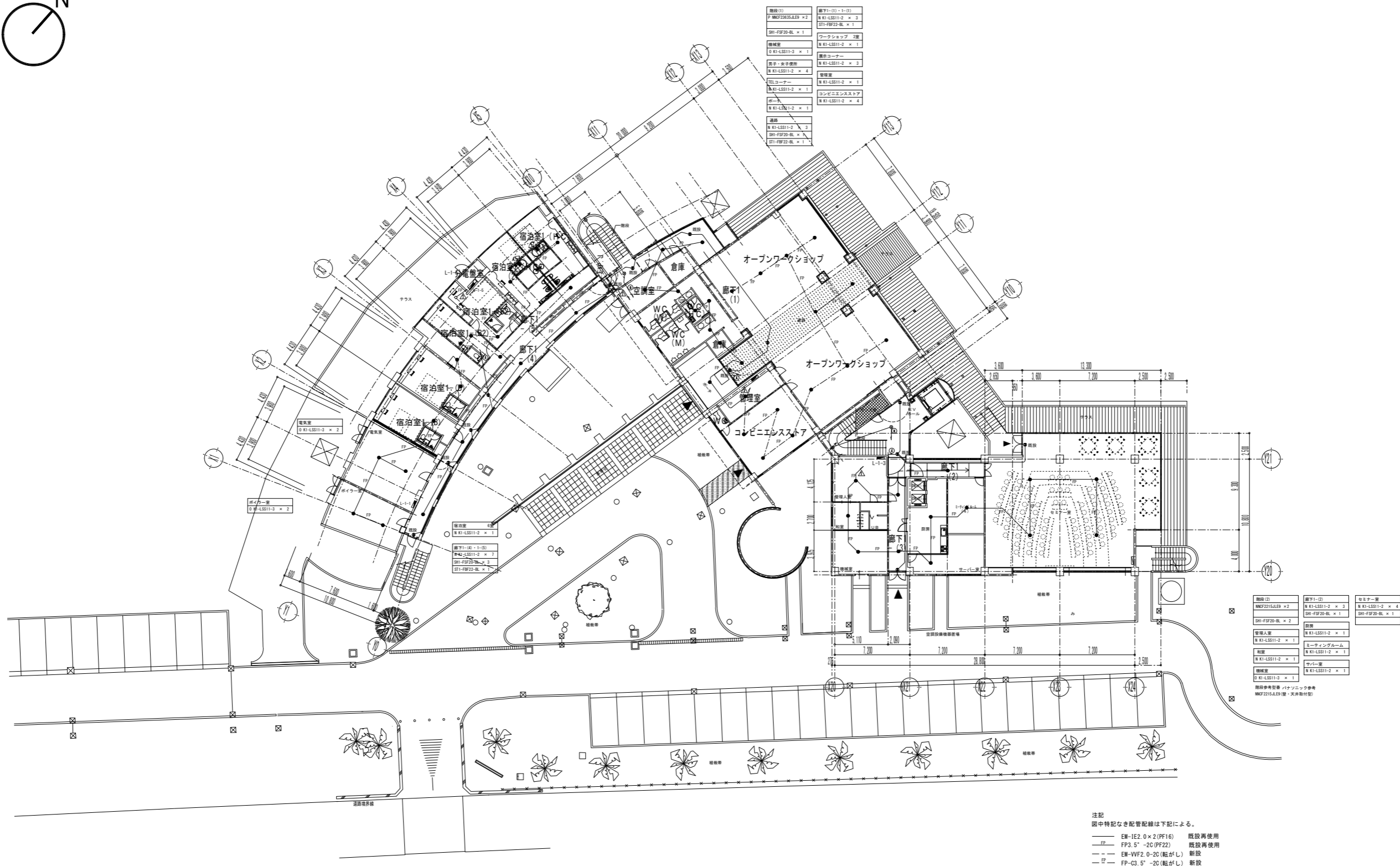


改修前



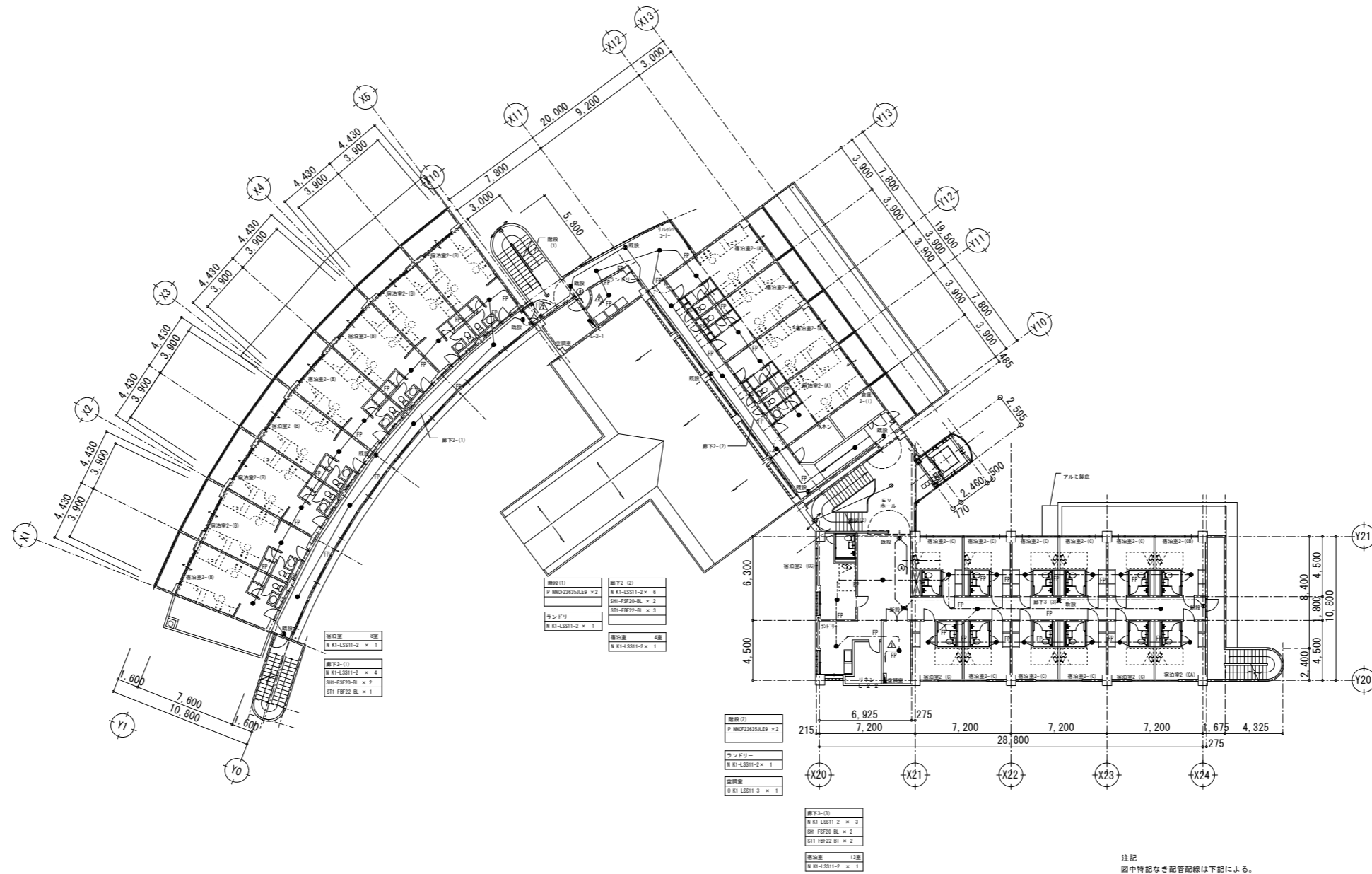
3階平面図 S=1/200

注記
1. 図中特記無き配管配線は、下記による。
—— 既設配管配線再使用
- - - VVF2.0-2C (転がL) 撤去
- - - VVF2.0-3C (転がL) 撤去
- - - VVF2.0-2C (転がL) × 2 撤去
- - - EM-IE2.0 × 2 (E19) 既設未撤去
- - - EM-IE2.0 × 3 (E19) 既設未撤去



1階平面図 S=1/200

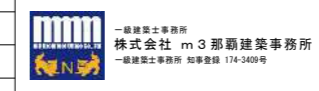
注記
図中特記なき配管配線は下記による。
EM-IE2.0x2 (PF16) 既設再使用
FP3.5'-2C (PF22) 既設再使用
EM-VVF2.0-2C (転がし) 新設
FP-C3.5'-2C (転がし) 新設

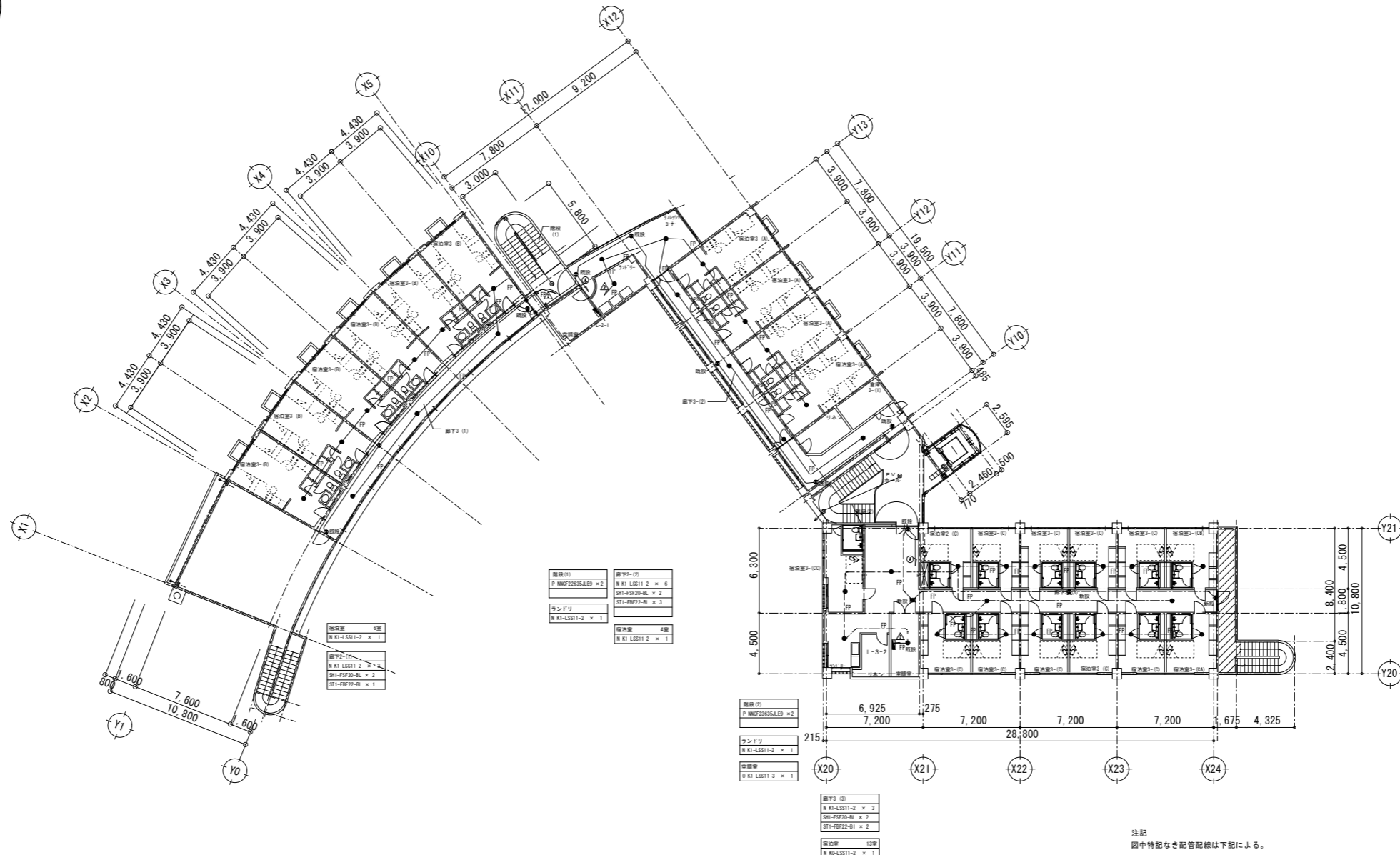


2階平面図

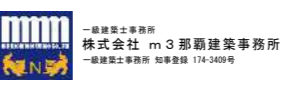
S=1/200

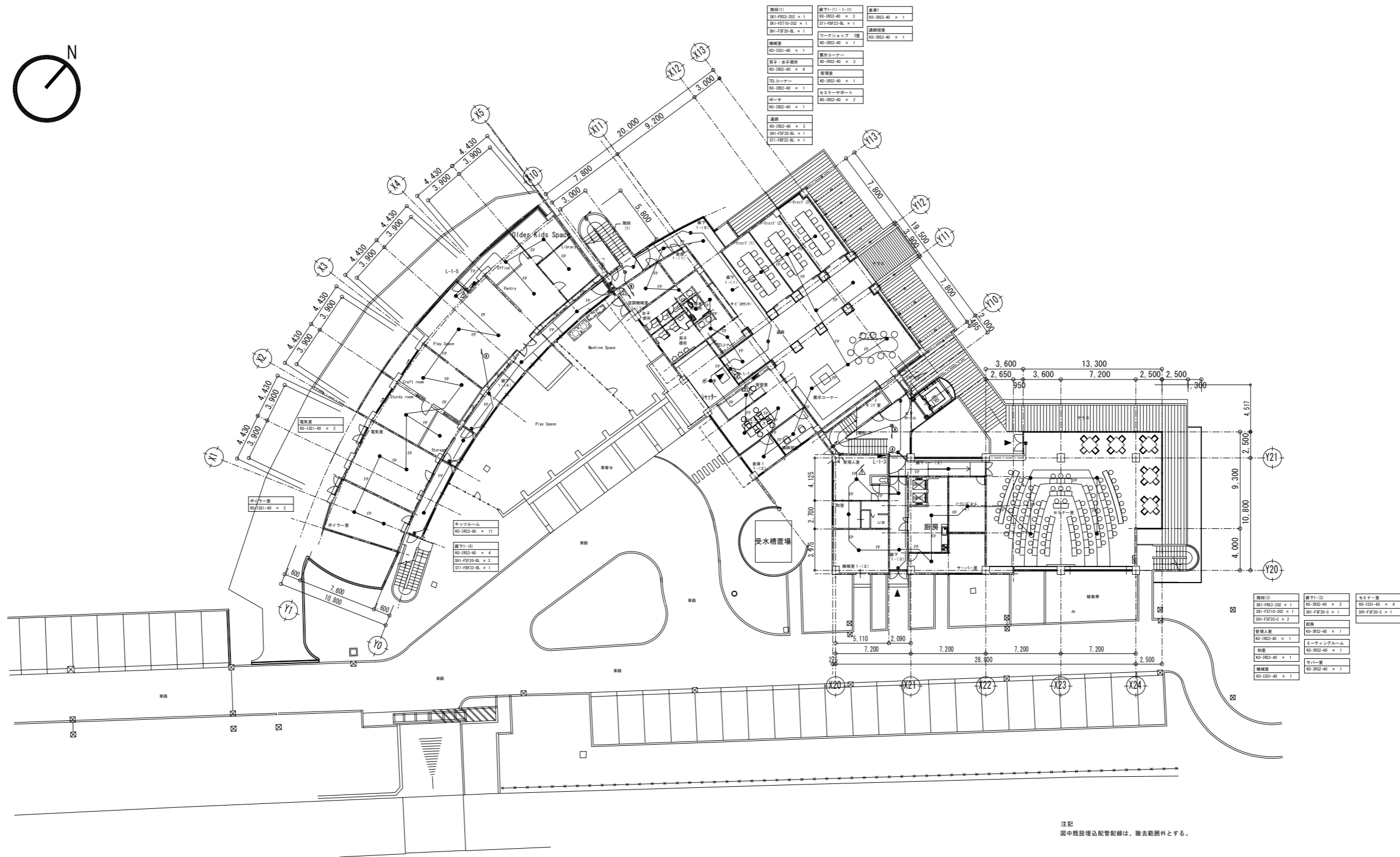
注記
 図中特記なき配管配線は下記による。
 EM-IE2.0×2(PF16) 既設再使用
 FP3.5" -20(PF22) 既設再使用
 EM-VVF2.0-20(転がし) 新設
 FP3.5" -20(転がし) 新設





3階平面図 S=1/200

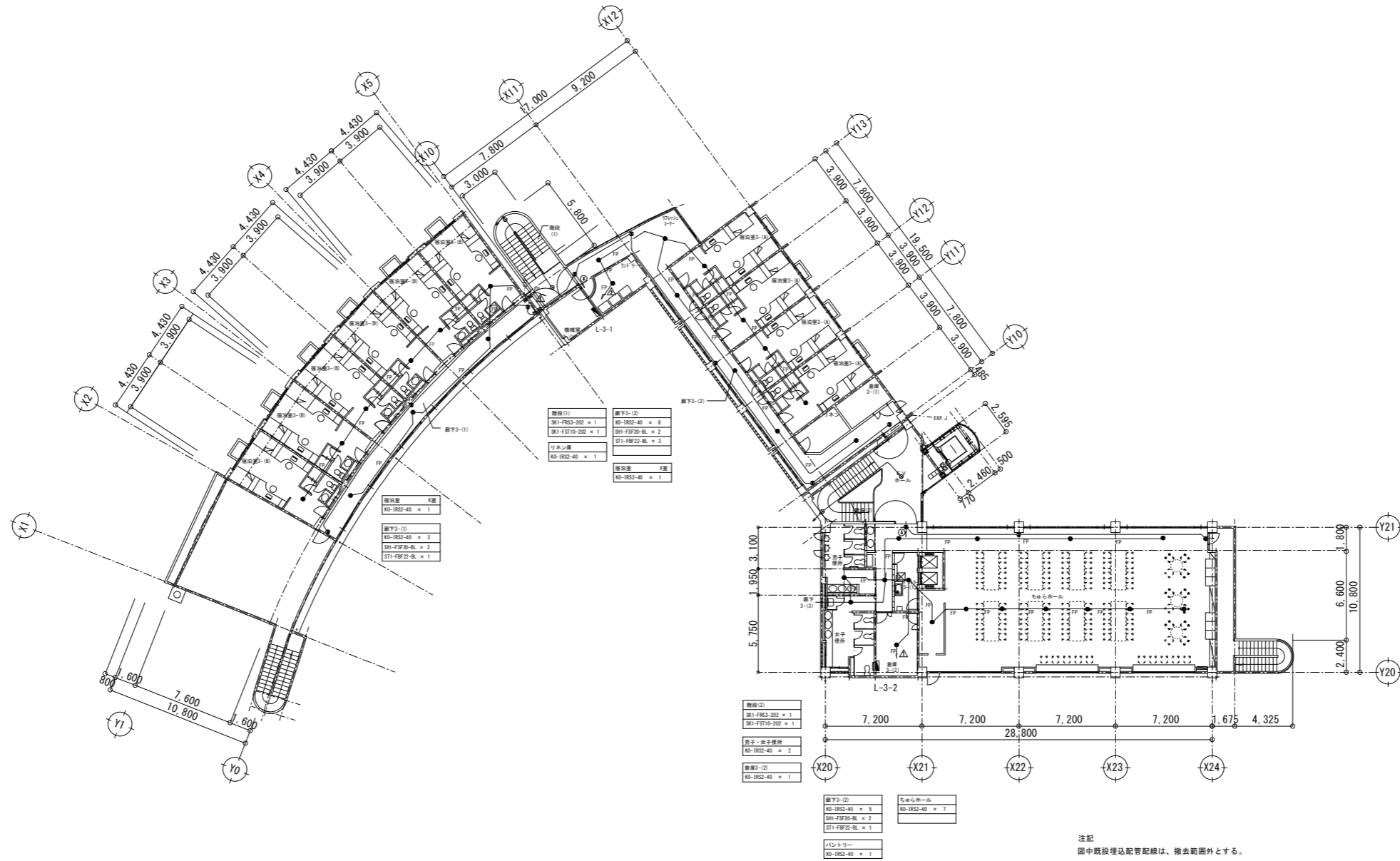




1階平面図 S=1/200

		一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号	

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 (電気設備)	
非常用照明設備 1階平面図 (改修前)	A 1 : 1/200 A 3 : 1/400



3階平面図 S=1/200

注記
 図中既設埋込配管配線は、撤去範囲外とする。



一級建築士事務所
 株式会社 m3 那覇建築事務所
 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 (電気設備)

非常用照明設備 3階平面図 (改修前)

A 1 : 1/200
 A 3 : 1/400

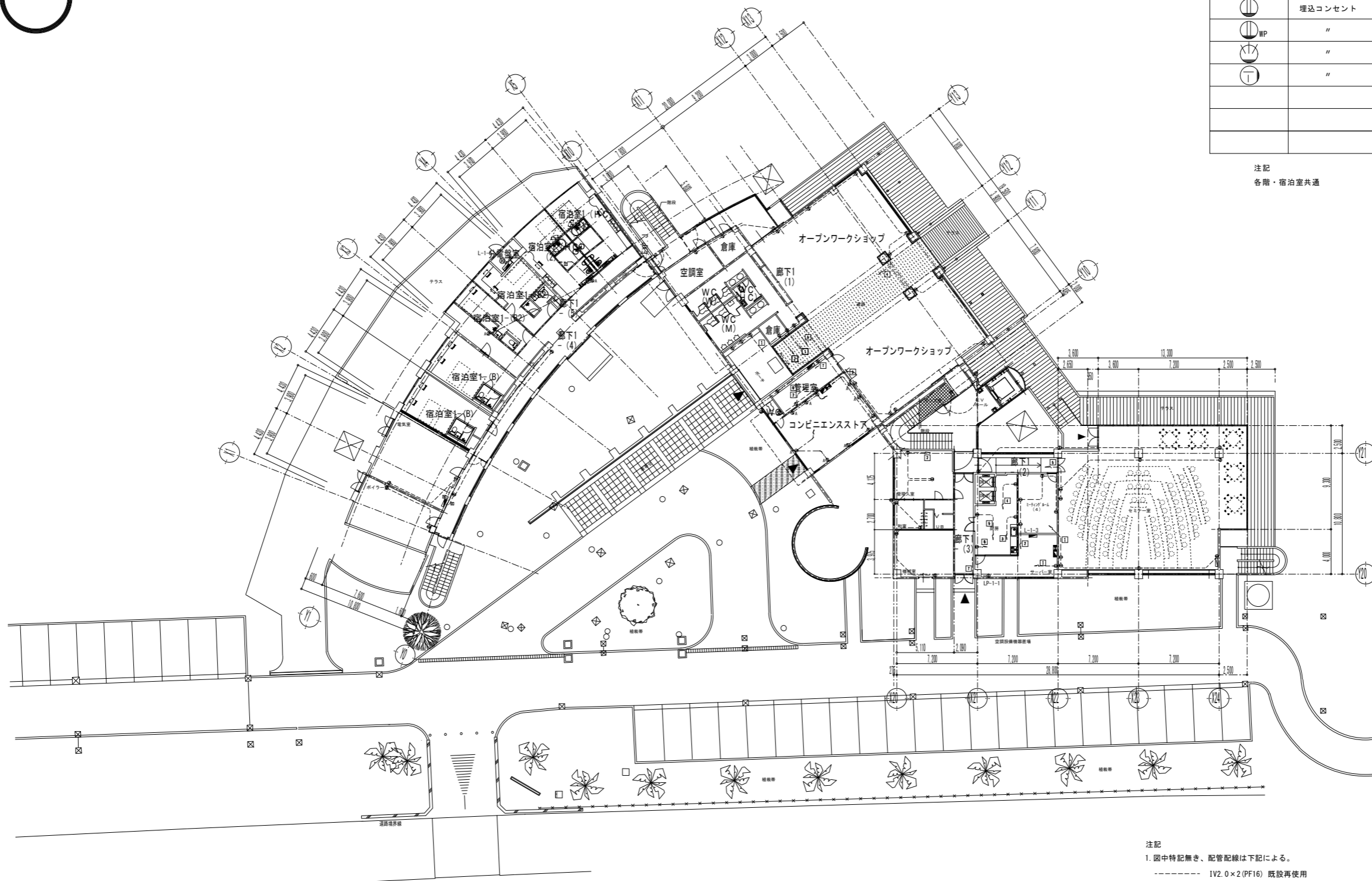
03
 E-18



凡 例

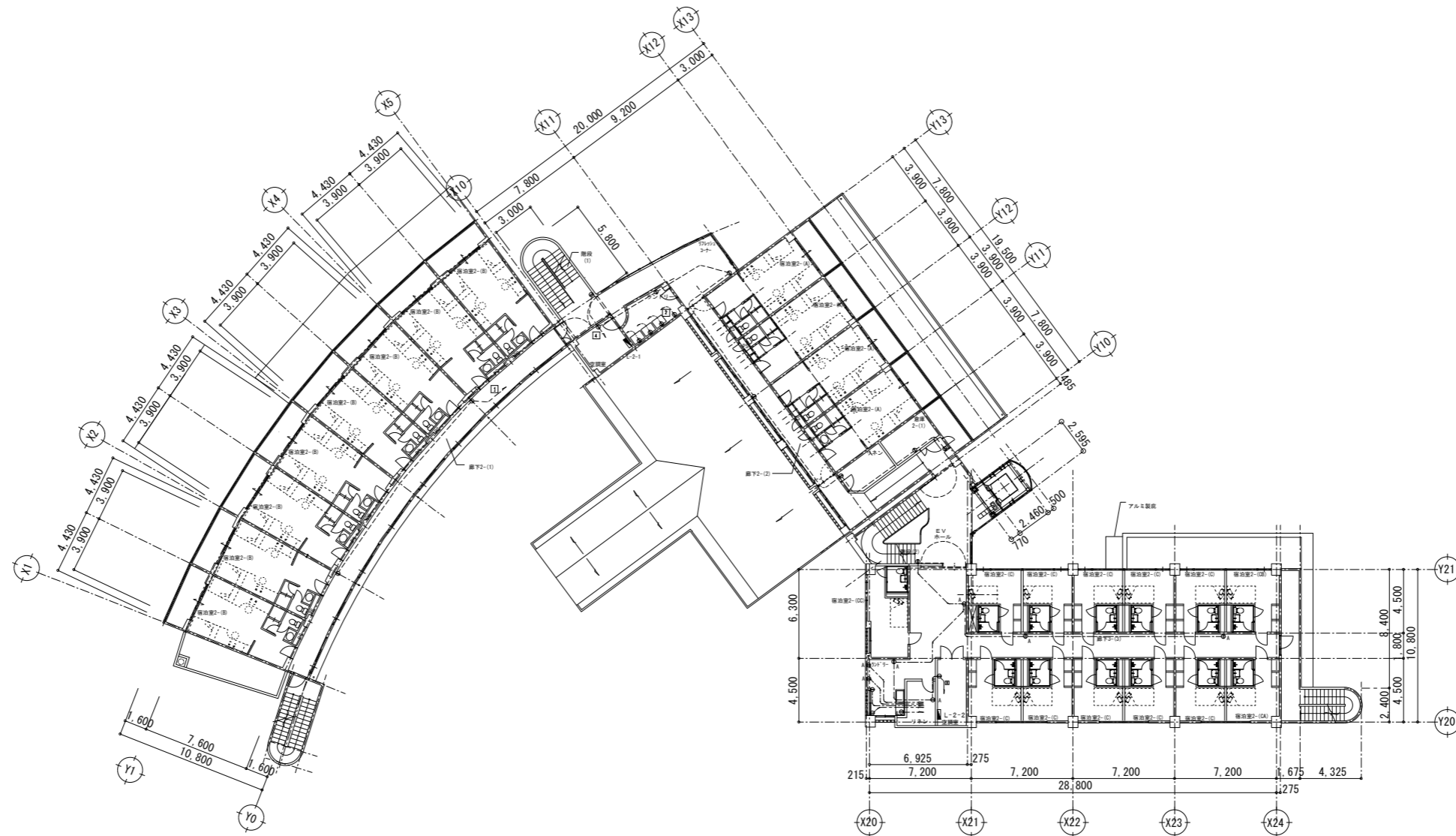
記 号	名 称	適 用	備 考
□	ジャンクションボックス		
⊙	換 気 扇		別途工事
⊕	埋込コンセント		
⊕WP	"	防水型	
⊕3P	"	3 P	
⊕T	"	200V用	

注記
各階・宿泊室共通



1 階平面図 S=1/200

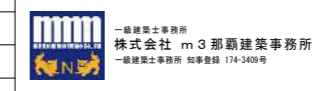
- 注記
- 図中特記無き、配管配線は下記による。
 - - - - - IV2.0×2(PF16) 既設再使用
 - - - - - EM-EEF2.0-2C(転がし) 新設
 - コンセントは下記による。
 ⊕ 既設コンセント 再使用
 ⊕① 新設コンセント 2P15AT×2

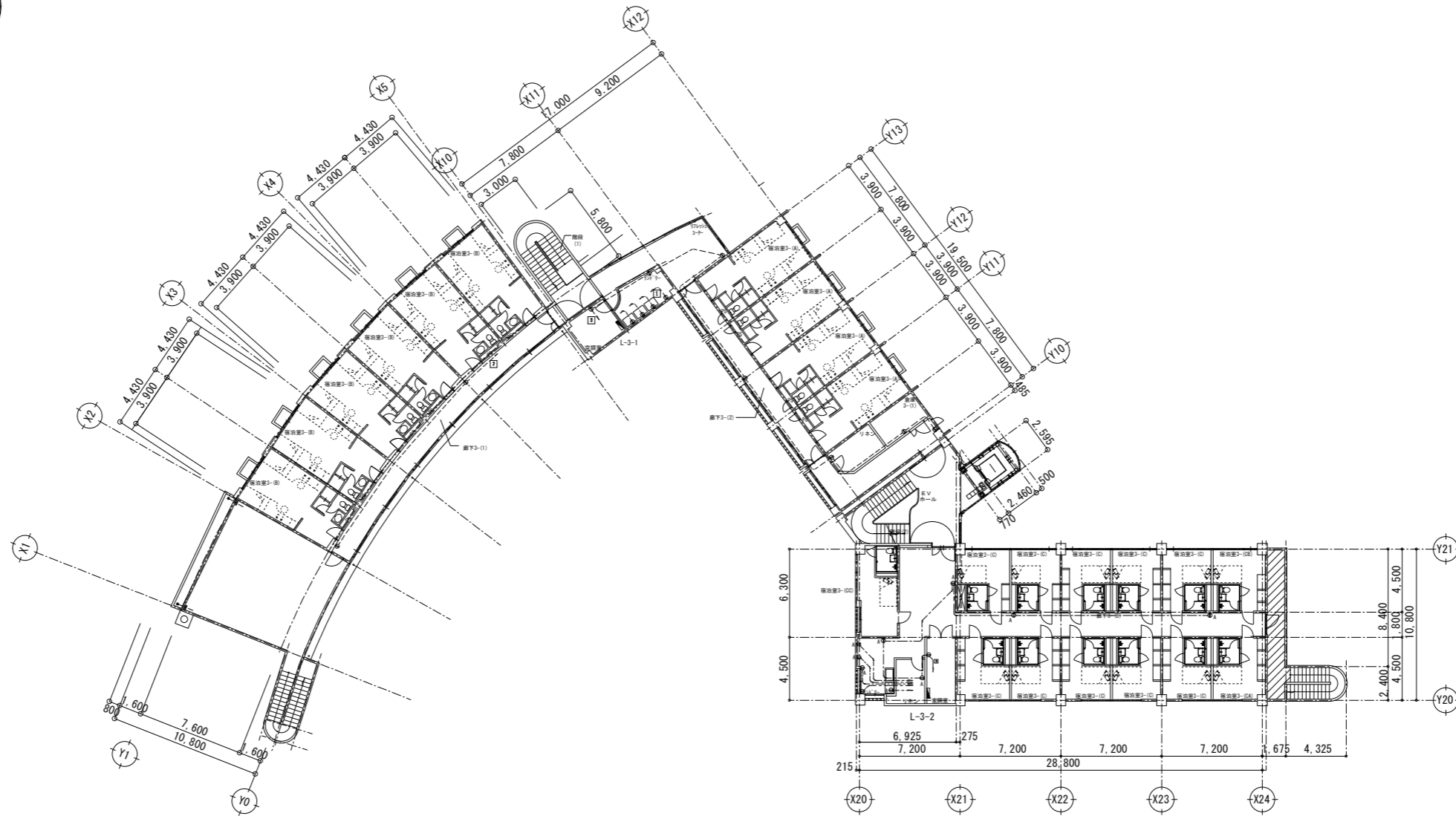


2階平面図 S=1/200

注記

1. 図中特記無き、配管配線は下記による。
 - - - - - 1V2.0×2 (PF16) 既設再使用
 - - - - - EM-EFF2.0-2C (転がし) 新設
2. コンセントは下記による。
 ① 既設コンセント 再使用
 ② 新設コンセント 2P15AT×2





3階平面図

S=1/200

注記

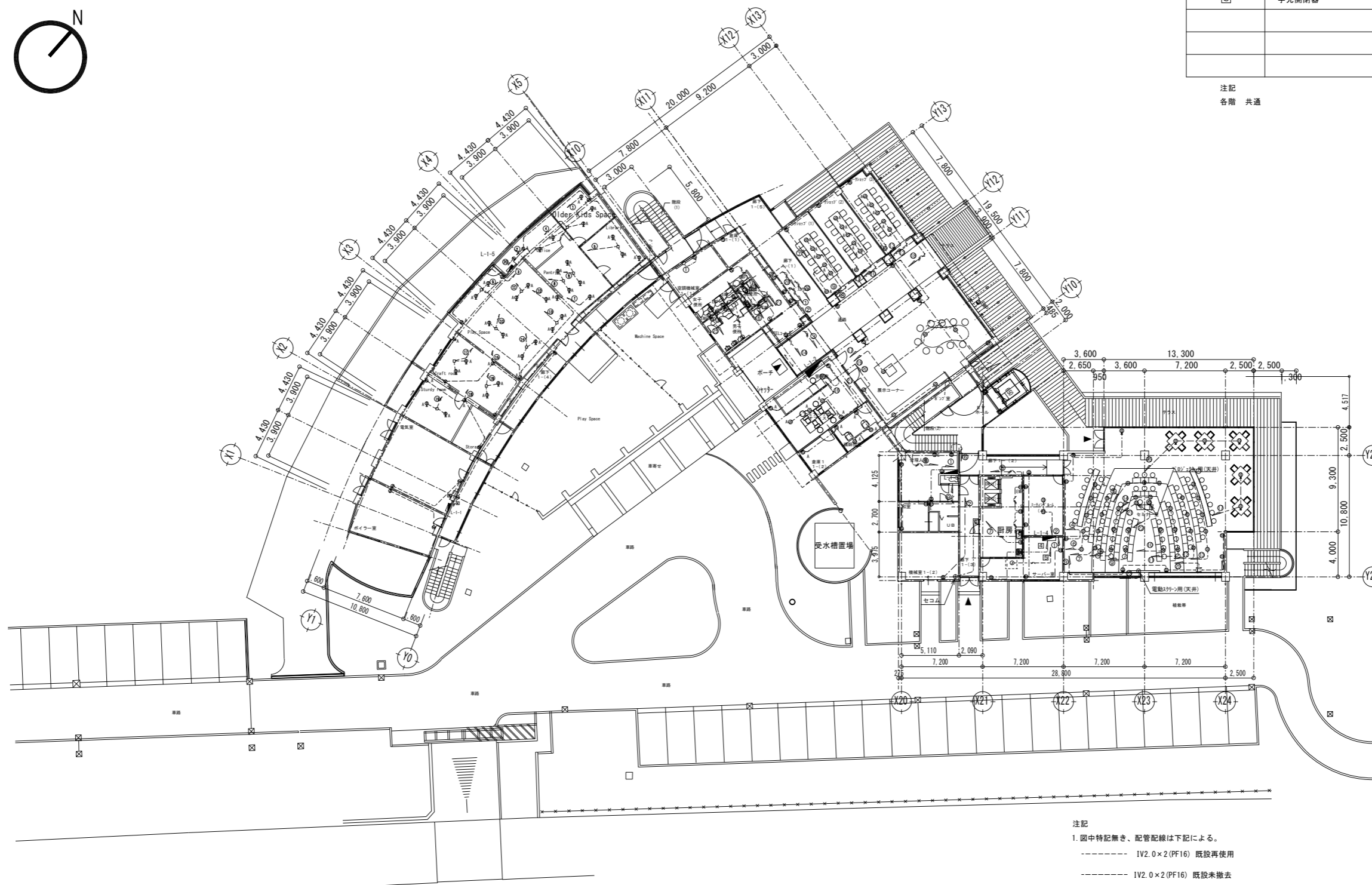
- 1. 図中特記無き、配管配線は下記による。
 - IV2.0×2(PF16) 既設再使用
 - EM-EEF2.0-20(転がし) 新設
- 2. コンセントは下記による。
 - 既設コンセント 再使用
 - ⊕ 新設コンセント 2P15A×2



凡 例

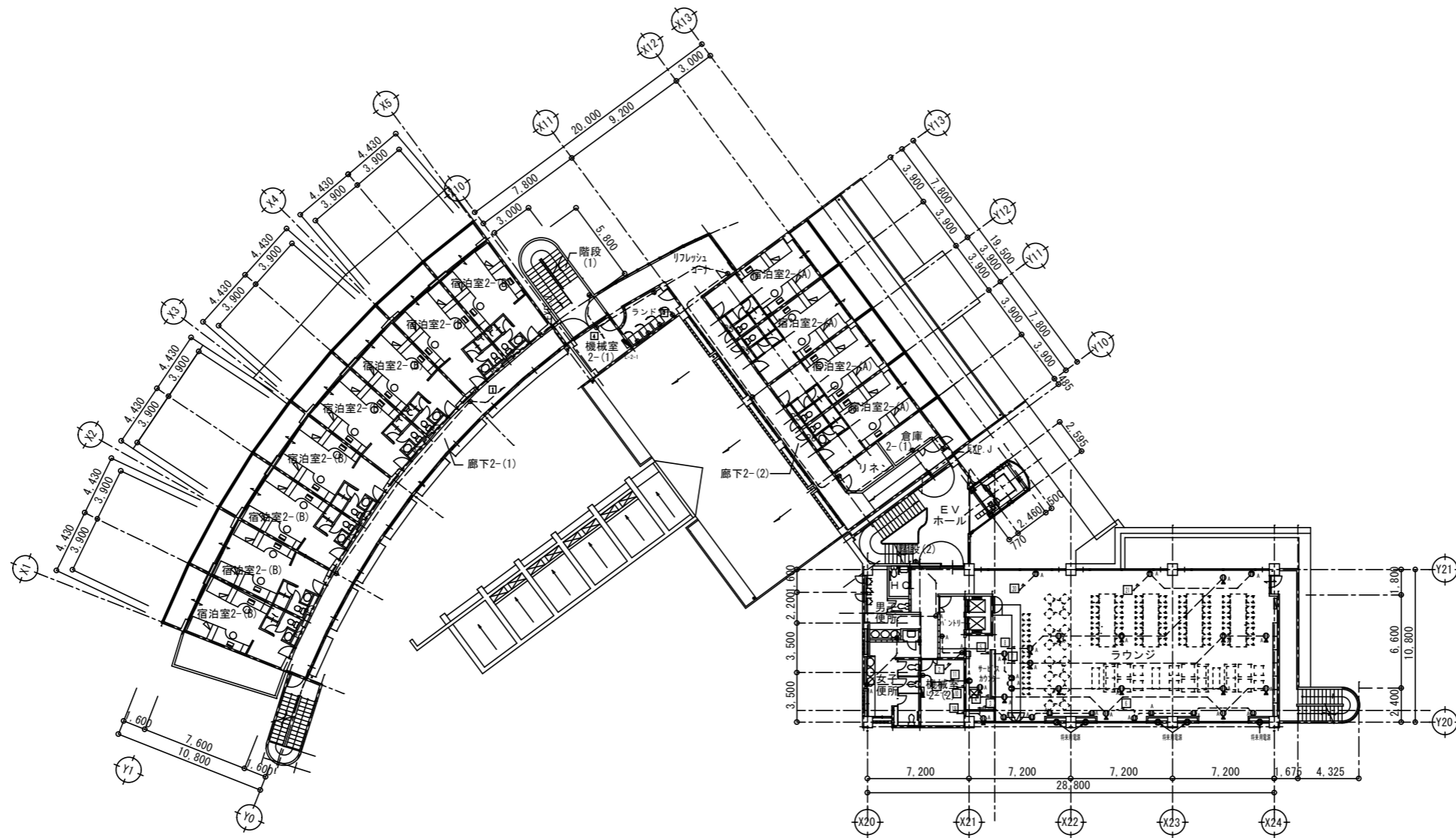
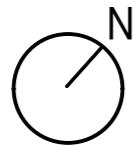
記 号	名 称	適 用	備 考
	電 灯 分 電 盤		
	動 力 制 御 盤		
	プ ル ボ ッ ク ス		
	手 元 開 閉 器		

注記
各階 共通



- 注記
- 図中特記無き、配管配線は下記による。
 - - - - - IV2.0×2 (PF16) 既設再使用
 - - - - - IV2.0×2 (PF16) 既設未撤去
 - コンセントは下記による。
 ① 既設コンセント 再使用
 ② 既設コンセント 撤去

1 階平面図 S=1/200



2 階平面図 S=1/200

注記

1. 図中特記無き、配管配線は下記による。

--- IV2.0×2 (PF16) 既設再使用

--- IV2.0×2 (PF16) 既設未撤去

2. コンセントは下記による。

● 既設コンセント 再使用

○ 既設コンセント 撤去



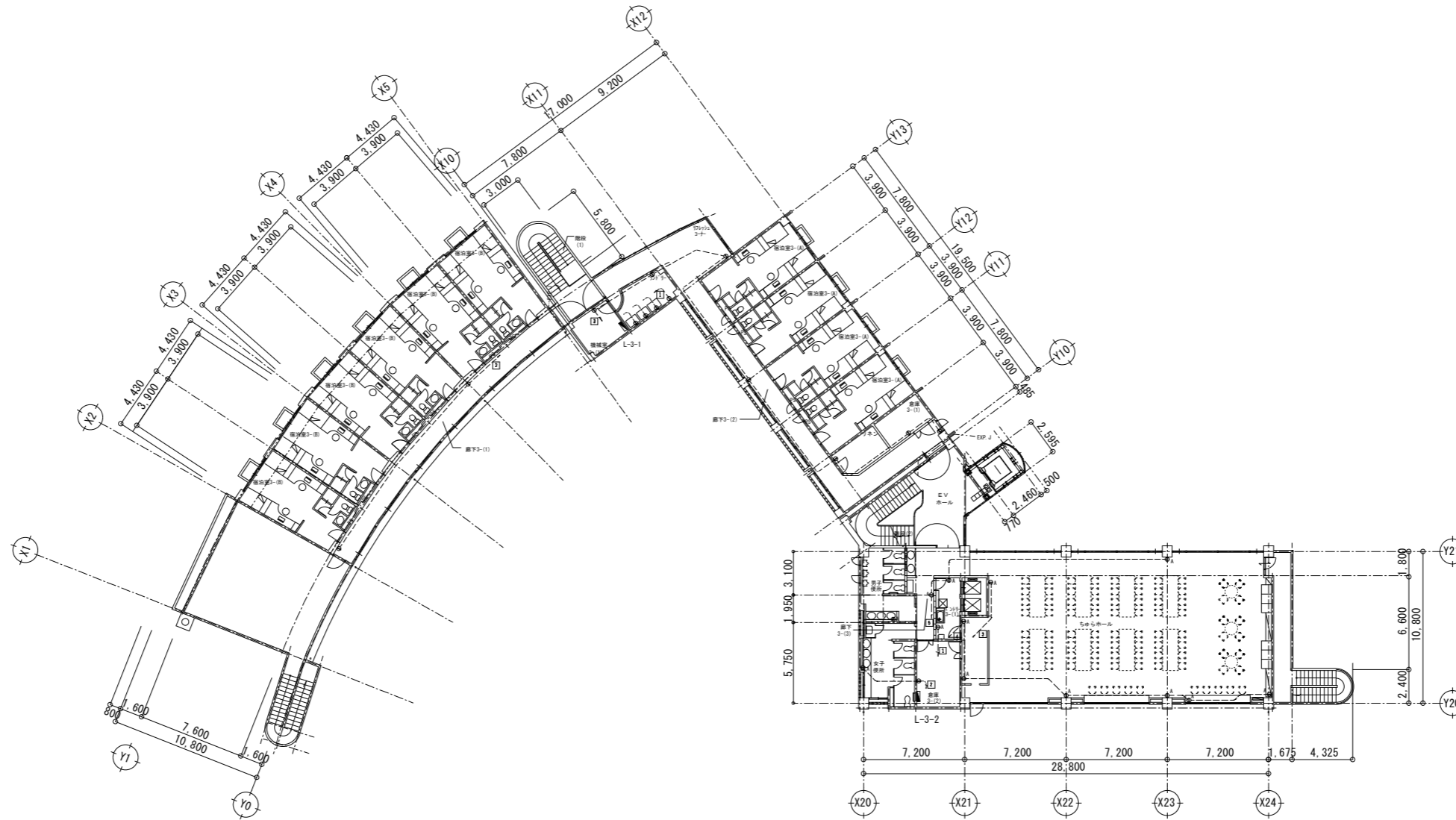
一級建築士事務所
株式会社 m3 那覇建築事務所
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 (電気設備)

コンセント設備 2階平面図 (改修前)

A 1 : 1/200

A 3 : 1/400



3階平面図 S=1/200

注記

1. 図中特記無き、配管配線は下記による。
 - - - - - IV2.0×2 (PF16) 既設再使用
 - - - - - IV2.0×2 (PF16) 既設未撤去
2. コンセントは下記による。
 ① 既設コンセント 再使用
 ② 既設コンセント 撤去



一級建築士事務所
株式会社 m3 那覇建築事務所
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

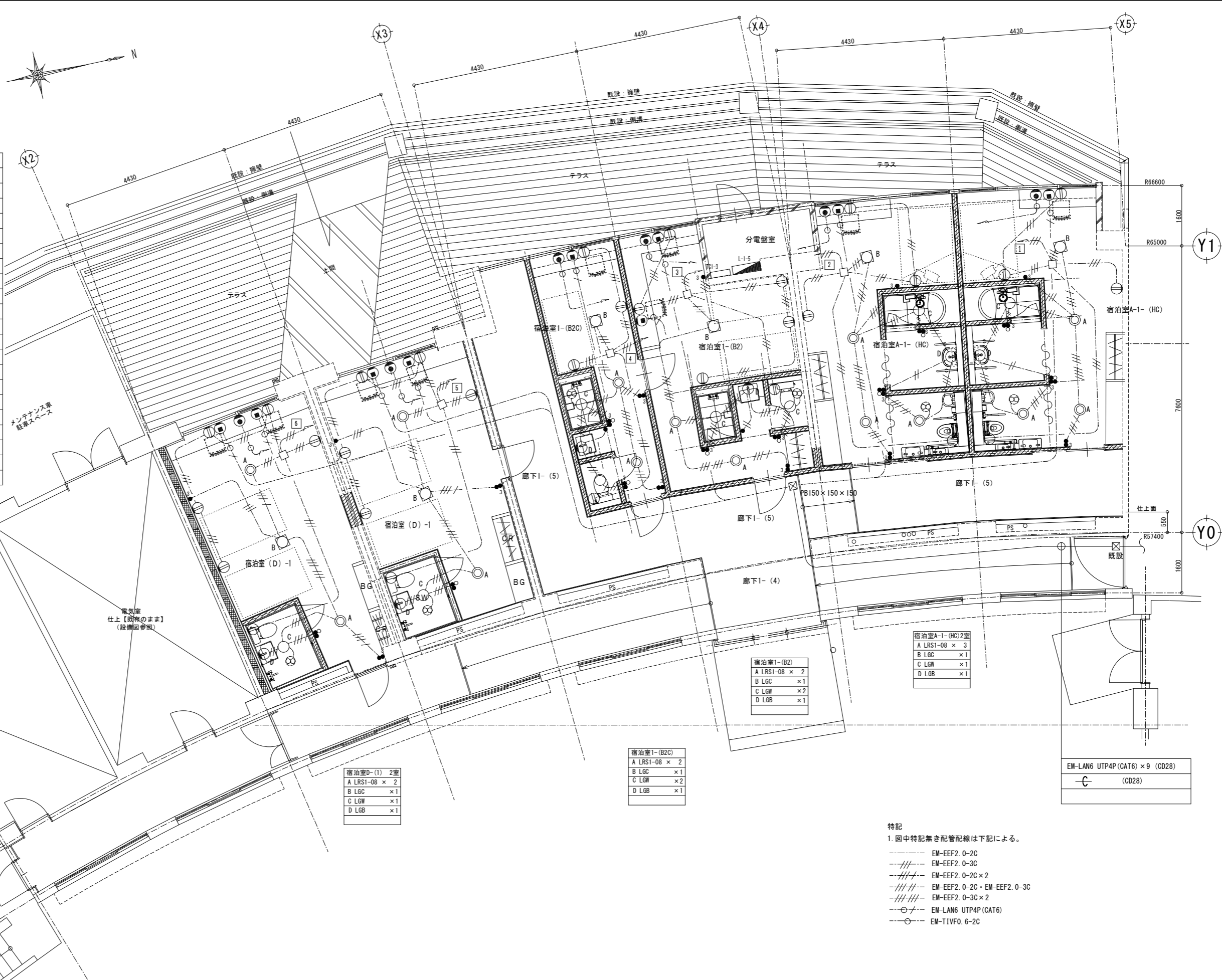
沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事（電気設備）

コンセント設備3階平面図（改修前）

A 1 : 1/200
A 3 : 1/400
E-24

凡例

記号	名称	適用	備考
	電灯分電盤		既設改修
	端子盤		既設
	アウトレットボックス		
	蛍光灯	壁付 LED	新設
	ブラケット	LED	新設
	埋込灯	LED	新設
	直付灯	LED	新設
	蛍光灯	LED	新設
	埋込スイッチ		新設
	"	3路	新設
	パイロットランプ		新設
	埋込コンセント		新設
	モジュラージャック		新設
	LANコネクター		新設
	換気扇		別途工事



メンテナンス車
駐車スペース

電気室
仕上【既設のまま】
(設備図参照)

ボイラー室
仕上【既設のまま】
(設備図参照)

宿舎D-(1) 2室

A LRS1-08	× 2
B LGC	× 1
C LGW	× 1
D LGB	× 1

宿舎1-(B2)

A LRS1-08	× 2
B LGC	× 1
C LGW	× 2
D LGB	× 1

宿舎1-(B2)

A LRS1-08	× 2
B LGC	× 1
C LGW	× 2
D LGB	× 1

宿舎A-1-(HC)2室

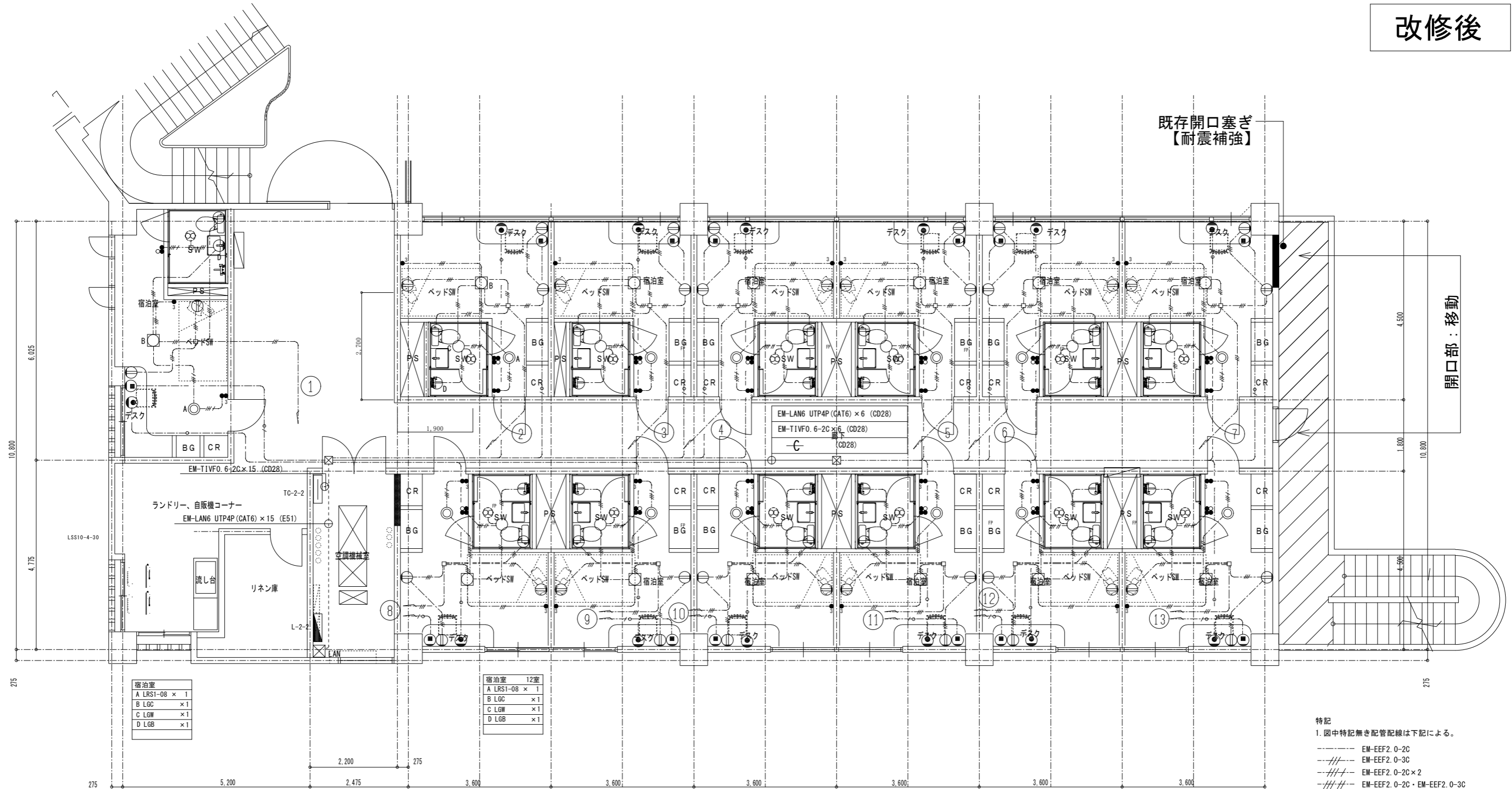
A LRS1-08	× 3
B LGC	× 1
C LGW	× 1
D LGB	× 1

EM-LAN6 UTP4P (CAT6) × 9 (CD28)

⊖ (CD28)

- 特記
1. 図中特記無き配管配線は下記による。
- EM-EEF2. 0-2C
 - EM-EEF2. 0-3C
 - EM-EEF2. 0-2C × 2
 - EM-EEF2. 0-2C · EM-EEF2. 0-3C
 - EM-EEF2. 0-3C × 2
 - EM-LAN6 UTP4P (CAT6)
 - EM-TIVF0. 6-2C

改修後



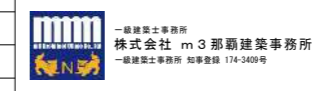
宿泊室	
A	LRS1-08 × 1
B	LGC × 1
C	LGW × 1
D	LGB × 1

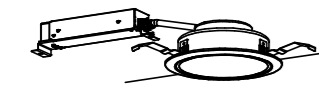



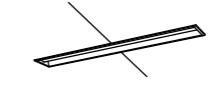
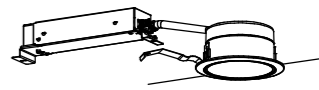
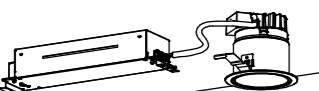

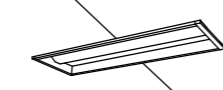

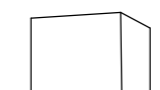
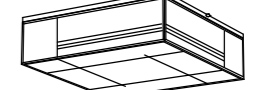



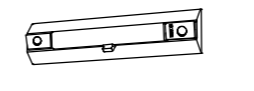


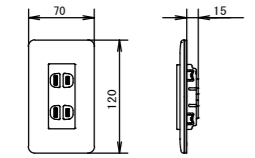
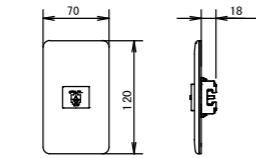
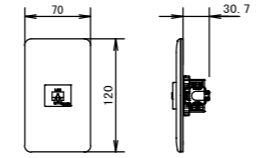

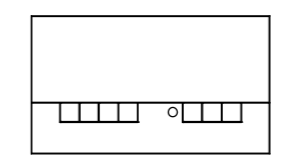
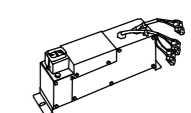
宿泊室 12室	
A	LRS1-08 × 1
B	LGC × 1
C	LGW × 1
D	LGB × 1

- 特記
1. 図中特記無き配管配線は下記による。
- EM-EEF2. 0-2C
 - EM-EEF2. 0-3C
 - EM-EEF2. 0-2C × 2
 - EM-EEF2. 0-2C・EM-EEF2. 0-3C
 - EM-EEF2. 0-3C × 2
 - EM-LANG UTP4P (CAT6)
 - EM-TIVFO. 6-2C

2階 宿泊室：13室
3階 宿泊室：13室

C棟 2階宿泊室平面詳細図 S=1/50



<p>A LRS1-08</p> <p>ダウンライト 100形</p>  <p>LED内蔵<ワコーア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源光束角15度、光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 器具光束:1045lm、消費電力:7W、電圧:100-242V 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 反射板(下部):銅板(ホワイトつや消し仕上) 枠:銅板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ150</p> <p>参考型番 パナソニック LGC31146K</p>	<p>B LGC</p> <p>シーリングライト</p>  <p>昼光色(6500K)、Ra83/電球色(2700K)、Ra83 器具光束4000lm、消費電力32W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットF 光源寿命40000時間(光束維持率70%) カバー:アクリル(乳白つや消し)、木製(ホワイト仕上) リモコンで(100%~5%)調光、専用リモコン送信器同梱</p> <p>参考型番 パナソニック LGC31146K</p>	<p>C LGW</p> <p>LEDポーチライト 60形電球1灯器具相当</p>  <p>昼白色(5000K)、Ra83 器具光束450lm、消費電力6.2W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、天井直付型・壁直付型、ネジ込み方式 カバー:アクリル(乳白)</p> <p>参考型番 パナソニック LGW85066LE1</p>	<p>D LGB</p> <p>LEDブラケット 20形直管蛍光灯1灯器具相当</p>  <p>昼白色(3500K)、Ra83 器具光束900lm、消費電力12W、電圧100V 天井直付型・壁直付型 高気圧タイプ・拡散タイプ カバー:プラスチック(乳白)</p> <p>参考型番 パナソニック LGB85036LE1</p>	<p>E XFX</p> <p>iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W150</p>  <p>一般タイプ、4000lmタイプ 消費電力23W、定格出力型、電圧100-242V 本体:亜鉛鋼板、反射板:銅板(高反射白色粉体塗装) ライトカバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源維持時間40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトカバー側に内蔵</p> <p>参考型番 パナソニック XFX440PENLE9</p>	<p>F LRS1-22</p> <p>ダウンライト 250形</p>  <p>LED内蔵<ワコーア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 調光範囲(約1%~100%)、3000K、Ra85、拡散タイプ 光源光束角15度、光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 器具光束:2360lm、消費電力:18.6W、電圧:100-242V 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 反射板(下部):銅板(ホワイトつや消し仕上) 枠:銅板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ100</p> <p>参考型番 パナソニック XND2539WLLJ9</p>
<p>G LRS1-17</p> <p>アレンジ調色ダウンライト200形</p>  <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵、アレンジ調色タイプ 調光範囲(約1%~100%)、光源光束角30度 光束維持時間40000時間(光束維持率70%) 約2700K~約6500K、Ra82~82、広角タイプ 器具光束2000lm、消費電力21.0W、電圧100~242V 反射板(上部):プラスチック(ホワイト)、反射板(下部):アルミ(銀色鏡面仕上) 枠:銅板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ100</p> <p>参考型番 パナソニック NDN264908DK9</p>	<p>H1 LSS9-4-48 LN H2 LSS9-4-65 LN H3 LSS9MP/RP-2-14 LN</p>  <p>H1 入力電圧:100V 光 束:4800lm以上 消費電力:35.0W以下</p> <p>H2 入力電圧:100V 光 束:6500lm以上 消費電力:46.0W以下</p> <p>H3 入力電圧:100V 光 束:1,400lm以上 消費電力:15.0W以下</p> <p>参考型番 パナソニック NNF891605C</p>	<p>I LRS3-2-65</p>  <p>入力電圧:100V 光 束:6500lm以上 消費電力:45.0W以下</p> <p>参考型番 パナソニック NNF891005C</p>	<p>J XLGE</p>  <p>LEDフラットランプφ205 クラス1200 1灯 昼白色(5000K)、Ra83 器具光束920lm、消費電力10.7W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、ネジ方式 アルミダイカスト(オフブラック)、カバー:アクリル(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率70%)</p> <p>参考型番 パナソニック XLGE8113CF1</p>	<p>K SLW</p>  <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵、拡散タイプ、美ルック 防雨型 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)、電球色 器具光束231lm、消費電力6W、電圧100V アルミダイカスト(オフブラックレーザーサテン仕上) カバー:アクリル(透明つや消し)</p> <p>参考型番 パナソニック SLW81573LE1</p>	<p>L LGC</p>  <p>昼光色(6500K)、Ra83/電球色(2700K)、Ra83 器具光束3400lm、消費電力32W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、回転器具方式、カチットF 光源寿命40000時間(光束維持率70%) 強化樹脂板 木製(白木) リモコンで(100%~5%)調光、専用リモコン送信器同梱</p> <p>参考型番 パナソニック LGC35821</p>
<p>M LSS9-4-65 LN</p>  <p>H2 入力電圧:100V 光 束:6500lm以上 消費電力:46.0W以下</p> <p>参考型番 パナソニック NNF891605C</p>	<p>N K1-LRS11-2</p>  <p>φ100低天井用、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号:LALE-004 レンズ:ガラス、カバー:銅板(クールホワイトつや消し仕上) 電圧:100~242V、蓄電池:ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ(緑)付、リモコン:FSK90910K(別売)</p> <p>参考型番 パナソニック NNF891605C</p>	<p>O K1-LSS11-2</p>  <p>直付低天井用、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号:LALE-004 レンズ:ガラス、カバー:銅板(クールホワイトつや消し仕上) 電圧:100~242V、蓄電池:ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ(緑)付、リモコン:FSK90910K(別売)</p> <p>参考型番 パナソニック NNF891005C</p>	<p>P NNCF23635JLE9</p>  <p>Hとセンサー検出光60分、Hf16器具2灯相当 非常時本体検出LED点灯、非常灯評定番号:LALE-016 本体:銅板(白色塗装)、レンズ:ガラス 常用光ユニット:光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 電圧:100~242V、蓄電池:ニッケル水素電池 常用光ユニット(カバー):ポリカーボネート(乳白) 自己点検機能付、リモコン:FSK90910K(別売)</p> <p>参考型番 パナソニック NNCF23635JLE9</p>	<p>Q SH1-FSF20-BL</p>  <p>避難口誘導灯 B級・LED 自己点検機能付 電池内蔵型</p> <p>参考型番 パナソニック NQ21506</p>	<p>R SH1-FSF22-BL</p>  <p>通路誘導灯 B級・LED 自己点検機能付 電池内蔵型・片面・両面型</p> <p>参考型番 パナソニック NQ21506</p>
<p>埋込コンセント</p>  <p>2P15A x 2</p>	<p>電話モジュラージャック</p>  <p>6極2心</p>	<p>LANモジュラージャック</p>  <p>8極8芯</p>	<p>信号線式ライコン(電源スイッチ付き)</p>  <p>定格電圧:AC100~242V ロータリー式 プレート別売</p> <p>参考型番 パナソニック NQ21506</p>	<p>ライトマネージャーF x 記憶式4回路継器</p>  <p>定格電圧:AC100V 調光回路数:4回路 操作ボタン数:オン+オフ 適合スイッチボックス:JIS 4用金属製(カバー付)</p> <p>参考型番 パナソニック NQ28841K</p>	<p>信号変換インターフェース・アレンジ調色用</p>  <p>定格電圧:AC100V~242V</p> <p>参考型番 パナソニック NQL10151</p>

A322	FHF32W×2 埋込器具下面開放	B322	FHF32W×2 埋込器具下面開放	C181	FHL18W×1 7' 30"	D324	FHF32W×4 埋込器具乳白b'-深枠	E542	FHF54W×2 T5管蛍光灯	F323	FHF32W×3 埋込器具乳白b'-	GF323	蛍光灯ペンダントFHT32W×3	H321	FHF32W×1 埋込器具下面開放	I322	FHF32W×2 直付b'-付器具
A322PD	FHF32W×2 -PD 埋込器具下面開放 (鏡光用)																
JF241	蛍光灯 FHT 2.4W×1	L321	FHF32W×3 埋込器具下面開放	M322	FHF32W×2 直付器具	N321	FHF32W×1	O1001	100W形40V形-L×1	Q351	S357024771 100W×1	R851	100W形40V形-L×1	S421	FHT42W×1 9' 30"	T201	FL20W×1 ブラケット
	東芝 FHR-4280N-PH9 同等品		東芝 FHR-42843N-PH9 同等品		東芝 FHR-42843N-PH9 同等品		東芝 FHR-42843N-PH9 同等品		東芝 FHR-42843N-PH9 同等品		東芝 FHR-42843N-PH9 同等品		東芝 FHR-42843N-PH9 同等品		東芝 FHR-42843N-PH9 同等品		東芝 FHT42431-PA9 同等品
	ブラック艶消 FHT 2.4W×1		スペース2 (ライトウォール)		機械室												
U151	1/8×28×32(5815W×1 9' 30"付緑色鏡面	V323	FHF32W×3 埋込器具下面開放	W421	FHT42W×1 9' 30"付緑色鏡面	YLED	LED0×3 9' 30"付	Z241	FHT24W×1 9' 30"付緑色鏡面	a401	1 L 4.0W×1 ダウンライト	b321	FHT32W×1 9' 30"付緑色鏡面	c482	FHT48W×1 9' 30"付緑色鏡面	d321	FHT32W×1 9' 30"付緑色鏡面
	松下 NF41511KEM 同等品		松下 FSA41030 F (FSB-321) 同等品		東芝 FHD-41207N-PA9 同等品		東芝 LED0-48001 同等品		東芝 FHD-2583N(N) 同等品		東芝 E82475 同等品		東芝 EB1739L 同等品		松下 NDF41680 PH9 同等品		松下 FHT2021 同等品
e322	FHF32W×2 埋込器具	F321	FHF32W×1 埋込器具	g751	KT317 100W	r601	ハログンビーム球 60W×1 E26	i751	JDR50W×1 ダウンライト	j321	FHT32W×1 9' 30"付緑色鏡面	k901	JDR90W×1 スポットライト	l322	FHF32W×2 埋込器具	p1501	1 L 1.50W×1 ダウンライト
	東芝 FHT-42307N-PA9 同等品		松下電工 黒板灯F319 同等品		東芝 E82638M 同等品		東芝 ES8954HA 同等品		松下電工 NL72652B 同等品		東芝 FHD-42001-PH9 同等品		東芝 JHB-2060R 同等品		松下電工 FHT610 同等品		松下電工 NL78375K 同等品
A	FHT24W 埋込器具	B	FHF32W×1 埋込器具	C	埋込器具A級	E	埋込器具B級-BL形	F	埋込器具C級-BL形	G	埋込器具D級	H	JDR30W×1 埋込非常灯電池内蔵天井用	I	JDR30W×1 埋込非常灯電池内蔵	J	JDR30W×1 埋込非常灯電池内蔵天井用
	松下電工 FF41804 同等品		東芝 FES-2710M 同等品		東芝 FBK-44301-PS17-ET-44302 同等品		松下 FA20119ENL+FK02420 同等品		東芝 FBK-20404-PS17-ET-20341-ET-20342 同等品		東芝 FBK-10401-PS17-ET-10332 同等品		東芝 IEM-30221M 同等品		東芝 IEM-13221M 同等品		東芝 IEM-30602M 同等品
K	JDR30W×1 埋込非常灯電池内蔵天井用	L	JDR30W×1 埋込非常灯電池内蔵天井用							m201	FL20W×1 9' 30"付	t151	コンパクト蛍光灯FL15W 15W	r351	JDR35W×1 9' 30"付	q1501	自然熱 150W×1
	東芝 IEM-13021N 同等品		東芝 IEM-30623N 同等品								松下電工 FA21825 同等品		小泉産業 AUG464234 同等品		東芝 JHD-1253M(N) 同等品		東芝 EP-92715 同等品
	非常時ハログン電球 13W点灯 本体：鋼板(クールホワイト) パネル：強化ガラス(乳白)										カバー：クリーンアクリル(乳白)		エクステリアライト				(安定器別) メタリックレザール上(シルバー) 鋼板 反射板：アルミ・鏡面仕上げ 器具質量：1.8kg ニューアーク蛍光灯 150W×1 E26 別

盤名	主幹				分岐					備考
	幹線 サイズ	電圧 V	負荷容量計 KVA	開閉器 結線図	分岐 NO	電圧 V	開閉器 AF/AT	負荷容量 VA		
								照明	換気扇	
1Fスペース1 L-1-5 屋内自立型 キャビネット型 (T) 端子盤一体型 既設盤改修	EM-CET60 L12	AC 1Φ3W 105/210V	11.148VA	ELCB3P225/125						
				5V制御用 1/U×3	1	100	MCCB2P50/30	135	1500	宿泊室 A-1-(HG)
					2	"	"	135	1500	宿泊室 A-1-(HG)
					3	"	"	151	1500	宿泊室 1-B2
					4	"	"	151	1500	宿泊室 1-BG
					5	"	"	135	1500	宿泊室 D-1
					6	"	"	135	1500	宿泊室 D-1
					7	"	MCCB2P50/20		200	廊下1-(5)
					8	"	"			予備
					9	"	"			予備
					10	"	"			予備
					11	"	"			予備
					12	"	"			予備
					13	"	"			予備
					14	"	"			予備
					15	"	"			予備
					16	"	"			予備
					17	"	"			予備
					18	"	"			予備
					19	"	"			予備
					20	"	"		600	分電盤横コンセント
					1	"	"			予備
					2	"	"			予備
					3	"	"			予備
					4	"	"			予備
					5	"	"			予備
					6	"	"			予備
					7	"	"			予備
					8	"	"			予備
					9	"	"			予備
					10	"	"			予備
					11	"	"			予備
					12	"	"			予備
					13	"	"			予備
					14	"	"			予備
					15	"	"			予備
					16	"	"			予備
					17	"	"			予備
					18	"	"			予備
					19	"	"			予備
					20	"	"			予備
					21	"	"			予備
					22	"	"			予備
					23	"	"			予備
					24	"	"			予備
					17	"	ELCB2P50/20	64		
					1	200	"	200		天井カセット
					2	"	"	182		"
					19	100	MCCB2P50/20		60	防火シャッター
					20	"	"			予備
					21	"	"			"
					22	"	"			"
					23	"	"			"
					24	"	"			"
					計			1,288	9,860	

配線用遮断器取替

盤名	主幹				分岐					備考
	幹線 サイズ	電圧 V	負荷容量計 KVA	開閉器 結線図	分岐 NO	電圧 V	開閉器 AF/AT	負荷容量 VA		
								照明	換気扇	
1Fクラスタールーム L-PC 屋内自立型 キャビネット型 (T) 既設使用	EM-CET150	AC 1Φ3W 105/210V	50.000VA	ELCB3P225/225						
					1	200	MCCB2P50/30			CPU
					2	"	"			"
					3	"	"			"
					4	"	"			"
					5	"	"			"
					6	"	"			"
					7	"	"			"
					8	"	MCCB2P50/20			"
					9	"	"			"
					10	"	"			"
					11	"	"			"
					12	"	"			"
					13	100	"			"
					14	"	MCCB2P50/20			CPU
					計					
1F電気室 L-1-1 屋内壁掛型 キャビネット型 (T) 既設使用	EM-CET14	AC 1Φ3W 105/210V	1.991VA	MCCB3P100/75						
					1	100	MCCB1P50/20			予備
					2	"	"			"
					3	"	ELCB2P50/20	800		電気室・5F行室 コンセント
					4	"	"	500		屋外・廊下 コンセント
					5	"	"	385		電気室・5F行室 照明
					6	"	"	296		屋外・廊下 照明
					7	"	MCCB1P50/20			予備
					8	"	"			"
					9	"	ELCB2P50/20			"
					10	"	"			"
					11	"	"			"
					12	"	"			"
					13	"	"			"
					14	"	MCCB1P50/20			"
					15	"	"			"
					A	100	MCCB2P50/20			予備
					計			691	1,300	

凡例

記号	名称	適用	備考
N	特殊機器類 100V		
N	電灯・コンセント類 100V		
N	電灯・コンセント類 200V		



一級建築士事務所
株式会社 m3 那覇建築事務所
一級建築士事務所 知事登録 134-3409号

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事（電気設備）
電灯分電盤結線図（1）改修後 非縮尺

盤名	主幹				分岐				備考					
	幹線 サイズ	電圧 V	負荷容量計 KVA	開閉器 結線図	分岐 NO	電圧 V	開閉器 AF/AT	負荷容量 VA						
								照明		換気扇	コンセント			
1Fセミナーサポート オフィス L-1-2 キャビネット型 (T) 既設使用	EM-CET60 L12	AC 103W 105/210V	15.420VA	ELCB3P225/125 	①	100	ELCB2P50/20		500					
					②	"	"		500					
					③	"	"		500					
					④	"	"	255				自動ドア		
					⑤	"	MCCB2P50/20		450					
					⑥	"	"		750					
					⑦	"	"		450					
					⑧	"	"		400					
					⑨	"	"		600					
					⑩	"	"		400					
					⑪	"	"		600					
					⑫	"	"		400					
					⑬	"	"		600					
					⑭	"	"		450					
					⑮	"	"		600					
					⑯	"	"		600					
					⑰	"	"		600					
					⑱	"	"		450					
					⑲	"	"		450					
					⑳	"	"		450					
					㉑	"	"		600					
					㉒	"	"		600					
					㉓	200	"					予備		
					㉔	"	"		2,150			監視室クーラー		
					㉕	100	"					予備		
					㉖	"	"					"		
					㉗	"	"					"		
					㉘	"	"					"		
					㉙	"	"					"		
					㉚	100	MCCB1P50/20	588						
					㉛	"	"	98						
					㉜	"	"	77						
					㉝	"	"	125						
					㉞	"	"	588						
					㉟	"	"	134						
					㊱	"	"	180						
					㊲	"	"	135						
					㊳	"	"					予備		
					㊴	"	"					"		
					㊵	"	"					"		
					㊶	"	"					"		
					㊷	"	"	140						
					㊸	"	"					予備		
					㊹	"	"					"		
					㊺	"	"					"		
					㊻	"	"					"		
					㊼	"	"					"		
					㊽	"	"					"		
					㊾	"	"					"		
					㊿	"	"					"		
					計			2,320	13,100					
					①	100	MCCB2P50/20	189						
					②	"	"	152						
					③	"	"	128						
					④	"	"	669						
					⑤	"	"	456						
					⑥	"	"	600				セコム盤		
					⑦	"	"		400			トイレ呼出、プ-スト		
					⑧	"	"					リモコントランス		
					計			2,194						

盤名	主幹				分岐				備考				
	幹線 サイズ	電圧 V	負荷容量計 KVA	開閉器 結線図	分岐 NO	電圧 V	開閉器 AF/AT	負荷容量 VA					
								照明		換気扇	コンセント		
1F管理入室 L-1-3 既設使用 (T)	EM-CET38 L13	AC 103W 105/210V	15.623VA	ELCB3P125/100 	①	100	MCCB2P50/20		750				
					②	"	"		600				
					③	"	"		300				
					④	200	"					1,824	クーラー
					⑤	100	"					720	"
					⑥	200	"					5,250	ヒーター
					⑦	"	"					5,250	"
					⑧	100	"						予備
					⑨	"	"						"
					⑩	"	"						"
					⑪	100	MCCB2P50/20						予備
					⑫	"	"						"
					⑬	"	"						"
					⑭	"	"						"
					⑮	100	MCCB1P50/20	35					
					⑯	"	"		180				
					⑰	"	"		276				
					⑱	"	"		366				
					㉑	"	"		72				
					㉒	100	MCCB1P50/20						予備
					㉓	"	"						"
					㉔	"	"						"
					計				929			14,694	
					①	100	MCCB2P50/20	104					
					②	"	"	146					
					③	"	"	219					
					④	"	"		400			セコム盤	
					⑤	"	"					予備	
					⑥	"	"					リモコントランス	
					計				469			400	

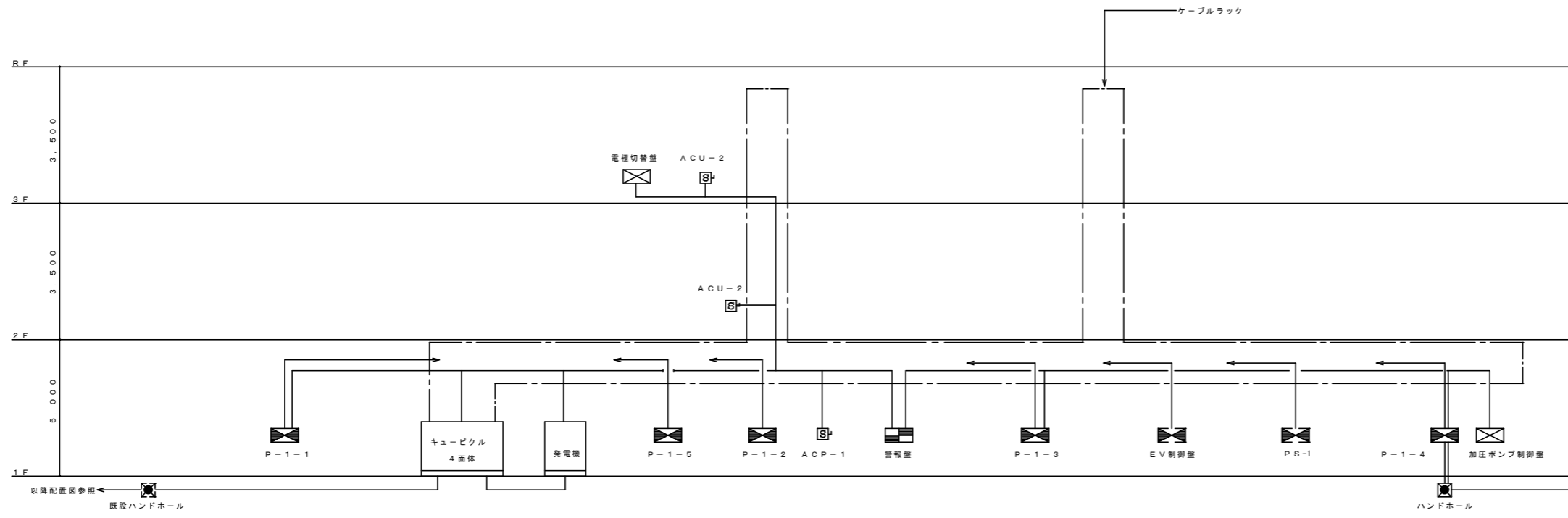
盤名	主幹				分岐				備考	
	幹線 サイズ	電圧 V	負荷容量計 KVA	開閉器 結線図	分岐 NO	電圧 V	開閉器 A/F/A/T	負荷容量 VA		
								照明		換気扇 コンセント
1Fスペース1 L-1-5 屋内自立型 キャビネット型 (T) 端子盤一体型	EM-CET60 L12	AC 1Φ3W 105/210V	15.806VA	ELCB3P225/125						
					1	100	MCCB2P50/20	1000		
					2	"	"	400		
					3	"	"	400		
					4	"	"	400		
					5	"	"	200		
					6	"	"	200		
					7	"	"	1000		
					8	"	"	200		
					9	"	"	200		
					10	"	"	200		
					11	"	"	200		
					12	"	"	1000		
					13	"	"	200		
					14	"	"	200		
					15	"	"	400		
					16	"	"	200		
					17	"	"	200		
					18	"	"	300		
					19	"	"	200		
					20	"	"	600	分電盤コンセント	
					1	"	"	0		
					2	"	"	40		
					3	"	"	200		
					4	"	"	400		
					5	"	"	81		
					6	"	"	400		
					7	"	"	200		
					8	"	"	80		
					9	"	"	64		
					10	"	"	96		
					11	"	"	960		
					12	"	"	720		
					13	"	"	954		
					14	"	"	1554		
					15	"	"	1482		
					16	"	"	229		
					17	"	ELCB2P50/20	64		
					18	"	"	200	天井カセット	
					19	"	"	182	"	
					20	100	MCCB2P50/20	60	防火シャッター	
					21	"	"	—	予備	
					22	"	"	—	"	
					23	"	"	—	"	
					24	"	"	—	"	
					計			7,906	7,960	

盤名	主幹				分岐				備考	
	幹線 サイズ	電圧 V	負荷容量計 KVA	開閉器 結線図	分岐 NO	電圧 V	開閉器 A/F/A/T	負荷容量 VA		
								照明		換気扇 コンセント
1Fクラスタールーム L-PC 屋内自立型 キャビネット型 (T)	EM-CET150	AC 1Φ3W 105/210V	50.000VA	ELCB3P225/225						
					1	200	MCCB2P50/30		CPU	
					2	"	"		"	
					3	"	"		"	
					4	"	"		"	
					5	"	"		"	
					6	"	"		"	
					7	"	"		"	
					8	"	MCCB2P50/20		"	
					9	"	"		"	
					10	"	"		"	
					11	"	"		"	
					12	"	"		"	
					13	100	"		"	
					14	"	MCCB2P50/20		CPU	
					計					
1F電気室 L-1-1 屋内壁掛型 キャビネット型 (T)	EM-CET14	AC 1Φ3W 105/210V	2.830VA	MCCB3P100/75						
					1	100	MCCB1P50/20		予備	
					2	"	"		"	
					3	"	ELCB2P50/20	800	電気室・移行室 コンセント	
					4	"	"	500	屋外・廊下 コンセント	
					5	"	"	450	電気室・移行室 照明	
					6	"	"	1,080	屋外・廊下 照明	
					7	"	MCCB1P50/20		予備	
					8	"	"		"	
					9	"	ELCB2P50/20		"	
					10	"	"		"	
					11	"	"		"	
					12	"	"		"	
					13	"	"		"	
					14	"	MCCB1P50/20		"	
					15	"	"		"	
					A	100	MCCB2P50/20		予備	
					計			1,530	1,300	



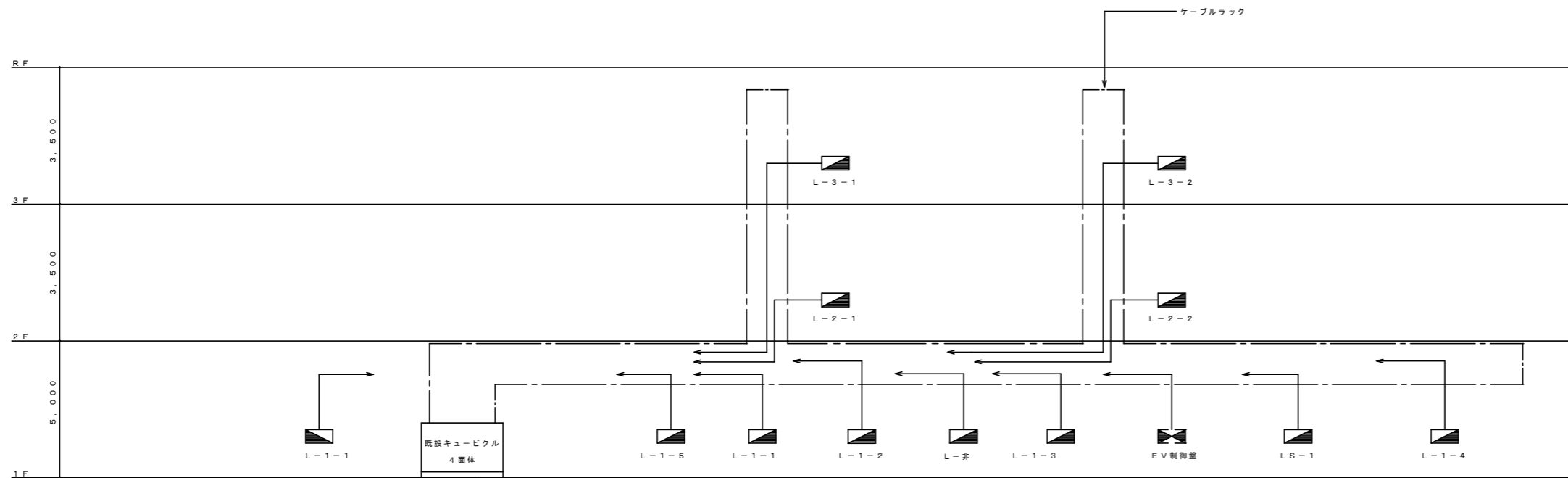
盤名	主幹				分岐					備考
	幹線 サイズ	電圧 V	負荷容量計 KVA	開閉器 結線図	分岐 NO	電圧 V	開閉器 A F / A T	負荷容量 VA		
								照明	換気扇 コンセント	
3F機械室3-(2) L-3-2 キャビネット型 (T)	EM-GET30 L-3-2	GAC 1Φ3W 105/210V	26.788VA	ELCB3P225/125 引-制御用 T/U×2	①	100	MCCB2P50/20	1.050		
					②	"	"	1.050		
					③	"	"	750		
					④	"	"	600		
					⑤	"	"	600		
					⑥	"	"	600		
					⑦	"	"	600		
					⑧	"	"	600		
					⑨	"	"	450		
					⑩	"	"	450		
					⑪	"	"	200		
					⑫	200	MCCB2P50/30	3.400	電気温水器	
					⑬	"	MCCB2P50/20	60	ファンコイル	
					⑭	"	"	90	"	
					⑮	100	"	600		
					⑯	"	"	600		
					⑰	"	"	600		
					⑱	"	"	1.000	自販機	
					⑲	100	MCCB2P50/20		予備	
					⑳	"	"		予備	
					㉑	"	"	1.036		
					㉒	"	"	1.186		
					㉓	"	"	270		
					㉔	"	"	798		
					㉕	"	"	1.110		
					㉖	"	"	342		
					㉗	"	"	342		
					㉘	"	"	600		
					㉙	"	"	210	非常灯	
					㉚	"	"	1.500	電気温水器	
					㉛	"	"	800		
					計			5.294	21.494	
	EM-GE-30 GL32		805VA	ELCB3P50/30 引-制御用 T/U×1	1	100	MCCB2P50/20	162		
					2	"	"	111		
					3	"	"		HURBOX	
					4	"	"	532		
					5	"	"	532		
					6	"	"		リモコントランス	
					計			805		
1Fセミナーサポート オフィス 非常用分電盤	FP-30 GL11	GAC 1Φ3W 105/210V	1.540VA	MCCB3P50/30	1	100	MCCB2P50/20	150	1F誘導灯	
					2	"	"	150	"	
					3	"	"	440	2F,3F誘導灯	
					4	"	"	440	1F非常灯	
					5	"	"		予備	
					6	"	"		予備	
					7	"	"	200	受信機	
					8	"	"	200	アンプ	

盤名	主幹				分岐					備考
	幹線 サイズ	電圧 V	負荷容量計 KVA	開閉器 結線図	分岐 NO	電圧 V	開閉器 A F / A T	負荷容量 VA		
								照明	換気扇 コンセント	
1Fサーバー室 LS-1 キャビネット型 (T)	EM-GET-200 外L	AC 1Φ3W 105/210V	52.0VA	ELCB3P400/300	①	200	ELCB2P50/20			
					②	"	"			
					③	"	"			
					④	"	"			
					⑤	"	"			
					⑥	"	"			
					⑦	"	"			
					⑧	"	"			
					⑨	"	"			
					⑩	"	"			
					⑪	200	ELCB2P50/30			
					⑫	"	"			
					⑬	"	"			
					⑭	"	"			
					⑮	"	"			
					⑯	"	"			
					⑰	"	"			
					⑱	"	"			
					⑲	"	"			
					⑳	"	"			
					㉑	"	"			
					㉒	"	"			
					㉓	"	"			
					㉔	"	"			
					㉕	"	"			
					㉖	"	"			
					㉗	"	"			
					㉘	"	"			
					㉙	"	"			
					㉚	"	"			
					㉛	"	"			
					計				52.000	



動力幹線系統図

盤名称	ケーブルサイズ	備考
P-1-1	CVT100' E22'	
P-1-2	EM-CET150' E22'	
P-1-3	EM-CE14' E8'	
P-1-4	CVT100' E22' CVT100' E22'	
P-1-5	EM-CET100' E22'	P-11
ACP-1		
EV制御盤	EM-CE14' E8'	
PS-1	EM-CET200' E22'	
加圧ポンプ制御盤	PF14' E8'	
ACU-2		
ACU-3		
電極切替盤		



電灯幹線系統図

盤名称	ケーブルサイズ	備考
L-1-1	EM-CET14' E5.5'	
L-1-2	EM-CET60' E22'	
L-1-3	EM-CET38' E22'	
L-1-4	EM-CET38' E22'	
L-1-5	EM-CET60' E22'	L11
L-非	FP8' -3C E8'	
EV制御盤	EM=CE8' -3C E8'	
LS-1	EM-CET200' E22'	
L-2-1	EM-CET100' E22'	
L-2-2	EM-CET38' E22'	
L-3-1	EM-CET60' E22'	
L-3-2	EM-CET38' E22'	

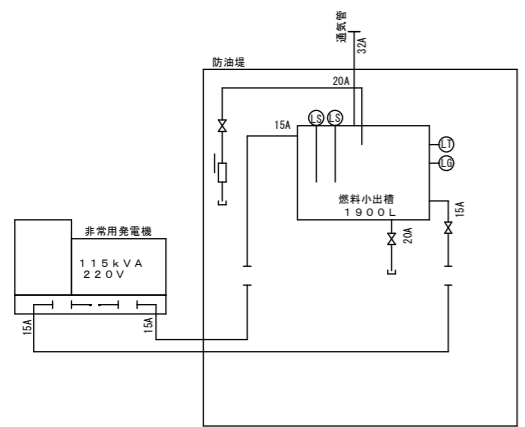
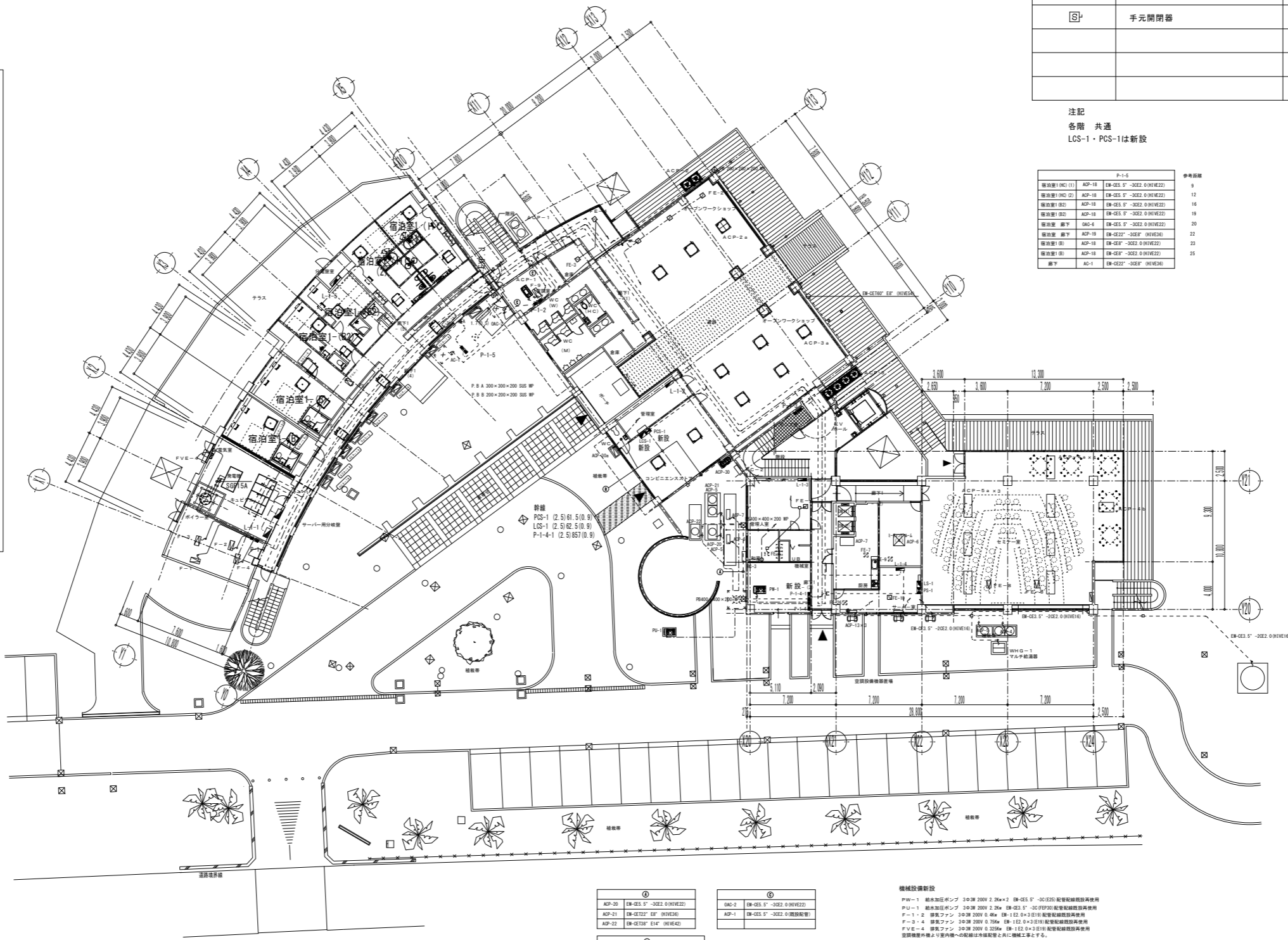
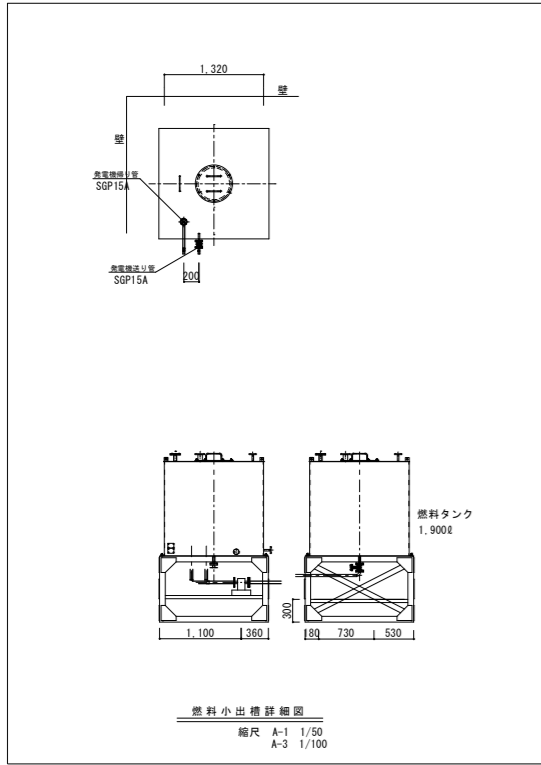


凡例

記号	名称	適用	備考
	電灯分電盤		
	動力制御盤		
	ブルボックス		
	手元閉閉器		

注記
各階 共通
LCS-1・PCS-1は新設

階	記号	名称	参考図
1階	ACP-18	EM-CE5 5' -3SE2.0 (HV/E22)	9
1階	ACP-18	EM-CE5 5' -3SE2.0 (HV/E22)	12
1階	ACP-18	EM-CE5 5' -3SE2.0 (HV/E22)	16
1階	ACP-18	EM-CE5 5' -3SE2.0 (HV/E22)	18
1階	AG-6	EM-CE5 5' -3SE2.0 (HV/E22)	20
1階	ACP-19	EM-CE22' -3SE8' (HV/E36)	22
1階	ACP-18	EM-CE8' -3SE2.0 (HV/E22)	23
1階	ACP-18	EM-CE8' -3SE2.0 (HV/E22)	25
1階	AG-4	EM-CE22' -3SE8' (HV/E36)	

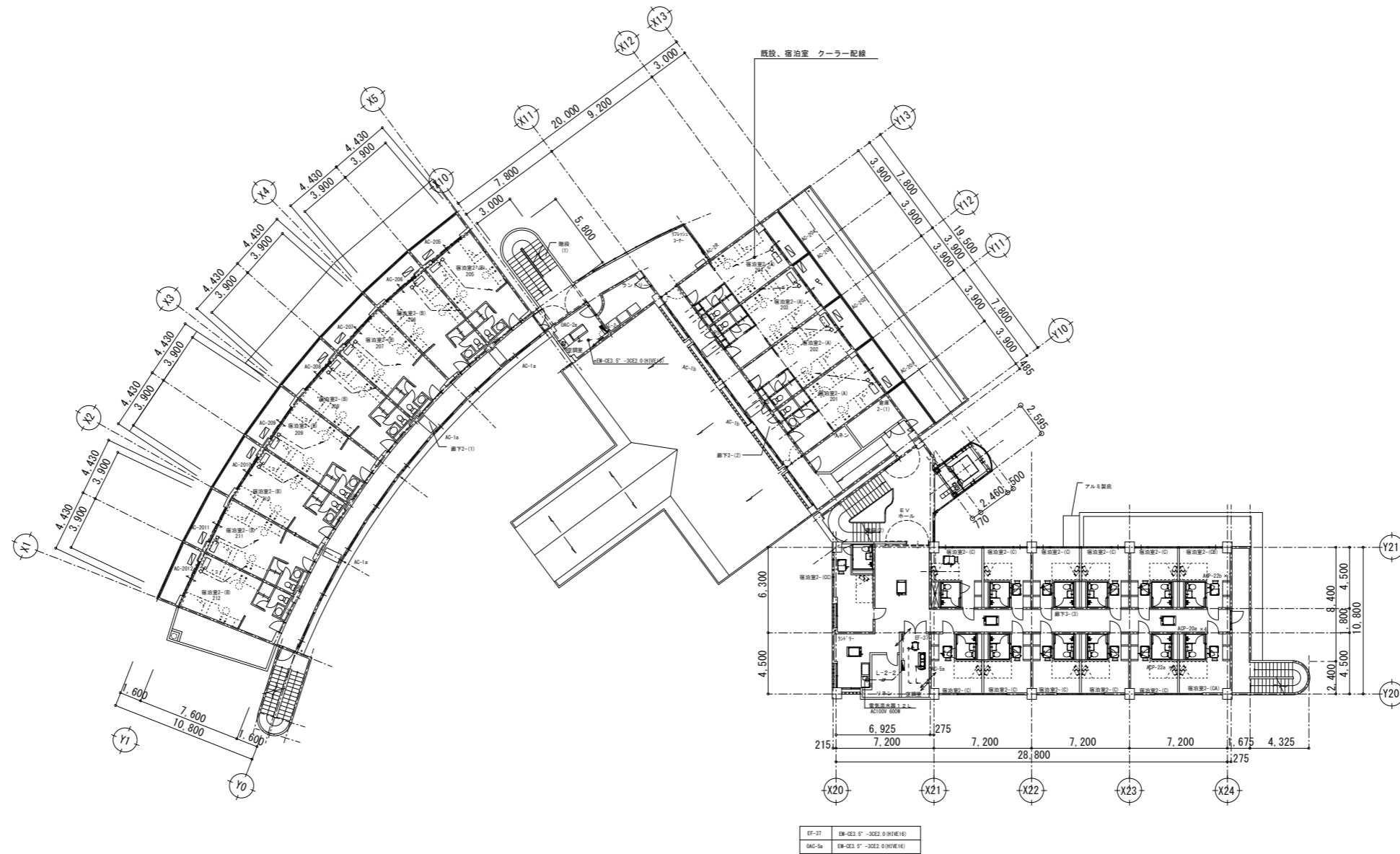


記号	名称
ACP-20	EM-CE5 5' -3SE2.0 (HV/E22)
ACP-21	EM-CE72" E8' (HV/E36)
ACP-22	EM-CE738' E14' (HV/E42)
ACP-20a	EM-CE3 5' -3SE3.0 (変換なしAPL)
ACP-30	EM-CE3 5' -3SE2.0 (変換なしAPL)
	EM-CE3 5' -3SE2.0 (HV/E16)
AGC-2	EM-CE5 5' -3SE2.0 (HV/E22)
ACP-1	EM-CE5 5' -3SE2.0 (機動配管)

機械設備新設

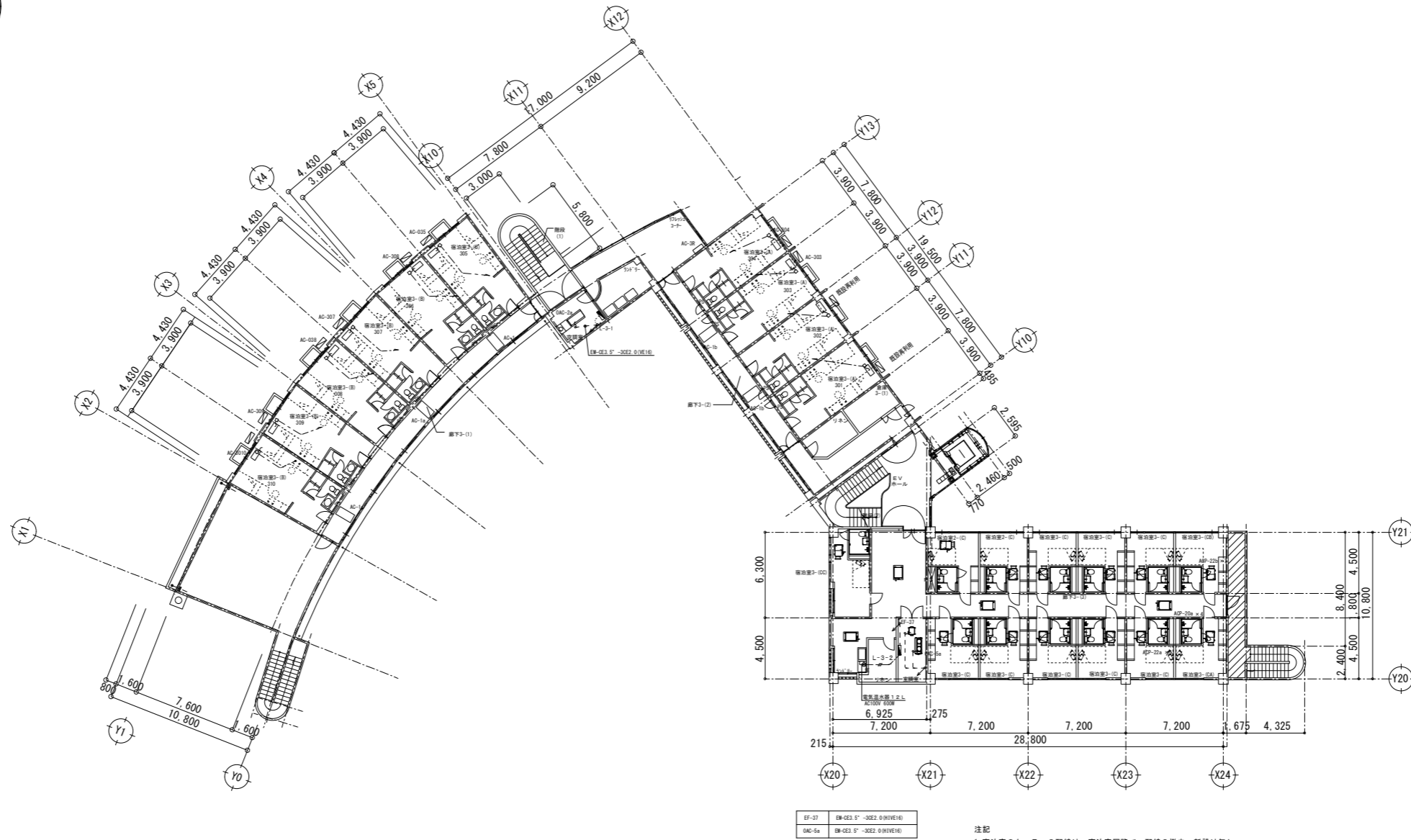
PW-1 給水加圧ポンプ 300W 2.3kW×2 EM-CE1 5' -3C (E20) 配管取組後再使用
 PW-1-1 給水加圧ポンプ 300W 2.3kW EM-CE3 5' -3C (E20) 配管取組後再使用
 F-1-1 2 排気ファン 300W 0.4kW EM-1 E2.0×3 (E16) 配管取組後再使用
 F-3-1 4 排気ファン 300W 0.39kW EM-1 E2.0×3 (E16) 配管取組後再使用
 FVE-4 排気ファン 300W 0.325kW EM-1 E2.0×3 (E16) 配管取組後再使用
 空調機外機より室内機への配管は冷媒配管と別に機械工事とする。

1階平面図 S=1/200



注記
1. 宿泊室のクーラーの配線は、宿泊室回路で、配線の撤去・新設は無し。

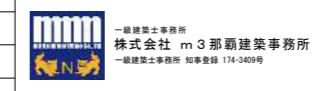
2階平面図 S=1/200



EF-27	EP-023 5' -302Z 0 (HIVE16)
04C-5a	EP-023 5' -302Z 0 (HIVE16)

注記
1. 宿泊室のクーラーの配線は、宿泊室回路で、配線の撤去・新設は無し。

3階平面図 S=1/200



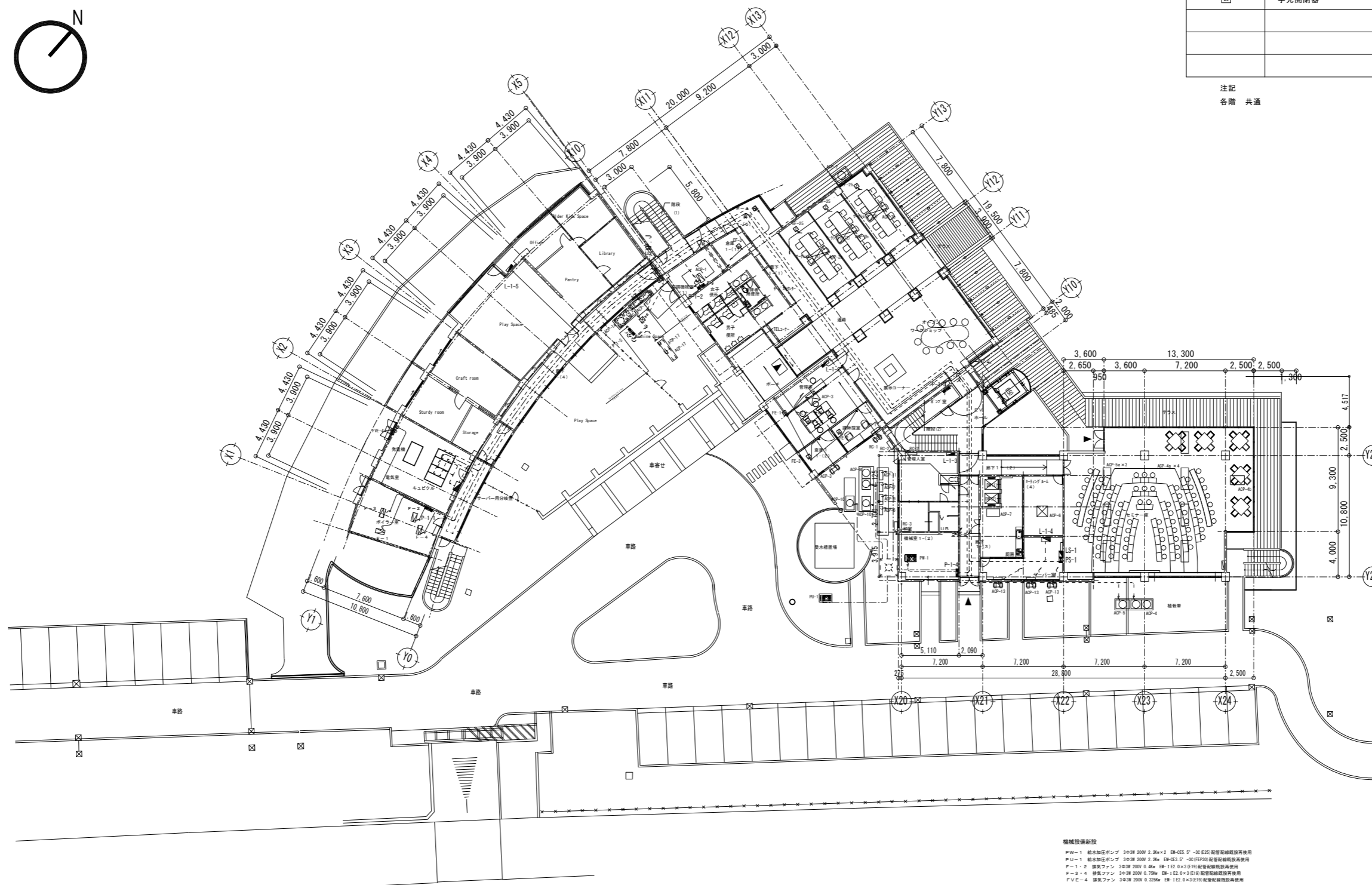
一級建築士事務所
株式会社 m3 那覇建築事務所
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号



凡 例

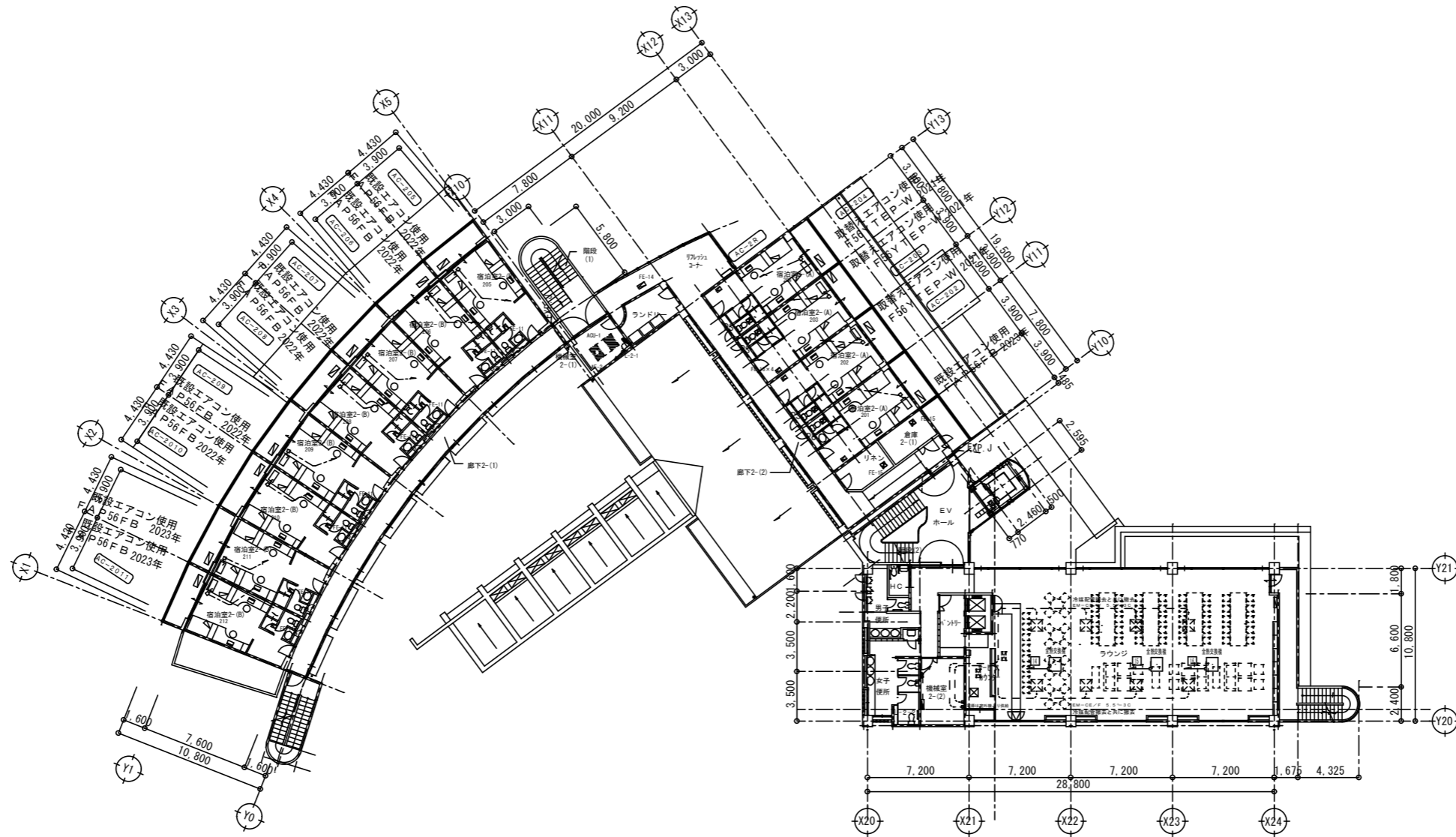
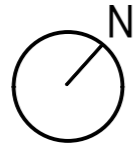
記 号	名 称	適 用	備 考
	電 灯 分 電 盤		
	動 力 制 御 盤		
	ブ ル ボ ッ ク ス		
	手 元 開 閉 器		

注記
各階 共通




機械設備新設
 PW-1 基本加圧ポンプ 3φ200 2.2kW×2 EM-GES 5' -3C(E20) 配管配線機器再使用
 PU-1 基本加圧ポンプ 3φ200 2.2kW EM-GES 5' -2C(FP20) 配管配線機器再使用
 F-1-2 排気ファン 3φ200 0.4kW EM-1E2 0×3(E18) 配管配線機器再使用
 F-3-4 排気ファン 3φ200 0.75kW EM-1E2 0×3(E18) 配管配線機器再使用
 FVE-4 排気ファン 3φ200 0.325kW EM-1E2 0×3(E18) 配管配線機器再使用

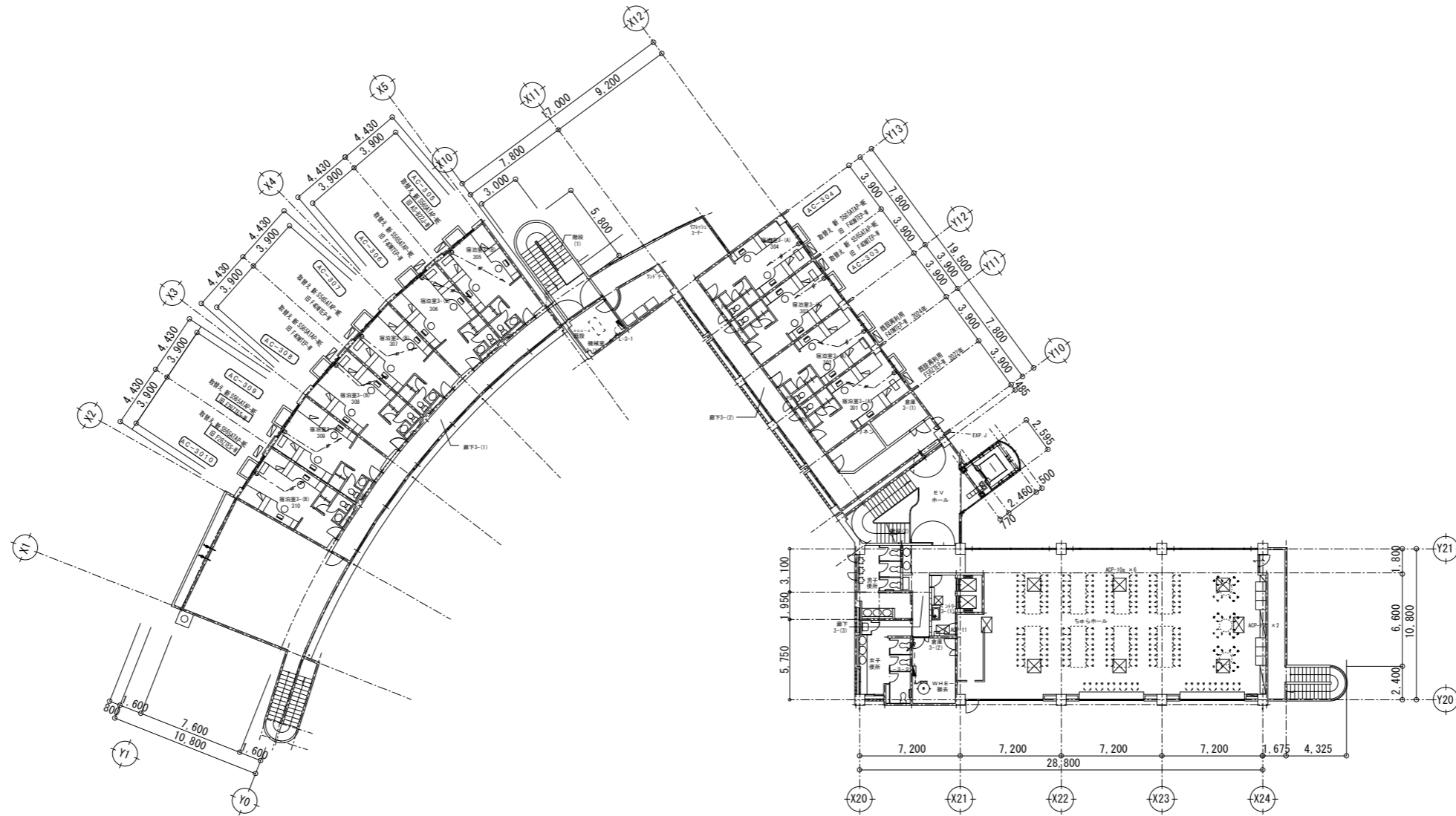
1 階平面図 S=1/200



- 注記
1. 宿泊室 EM-EEF2.0-3C 既存再使用
 2. ラウンジの空調機の配線は冷媒配管撤去で機械工事
 3. ラウンジ全熱交換機の配線 EM-IE2.0×2E2.0(E19) 既存撤去無し

	 一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号
--	--

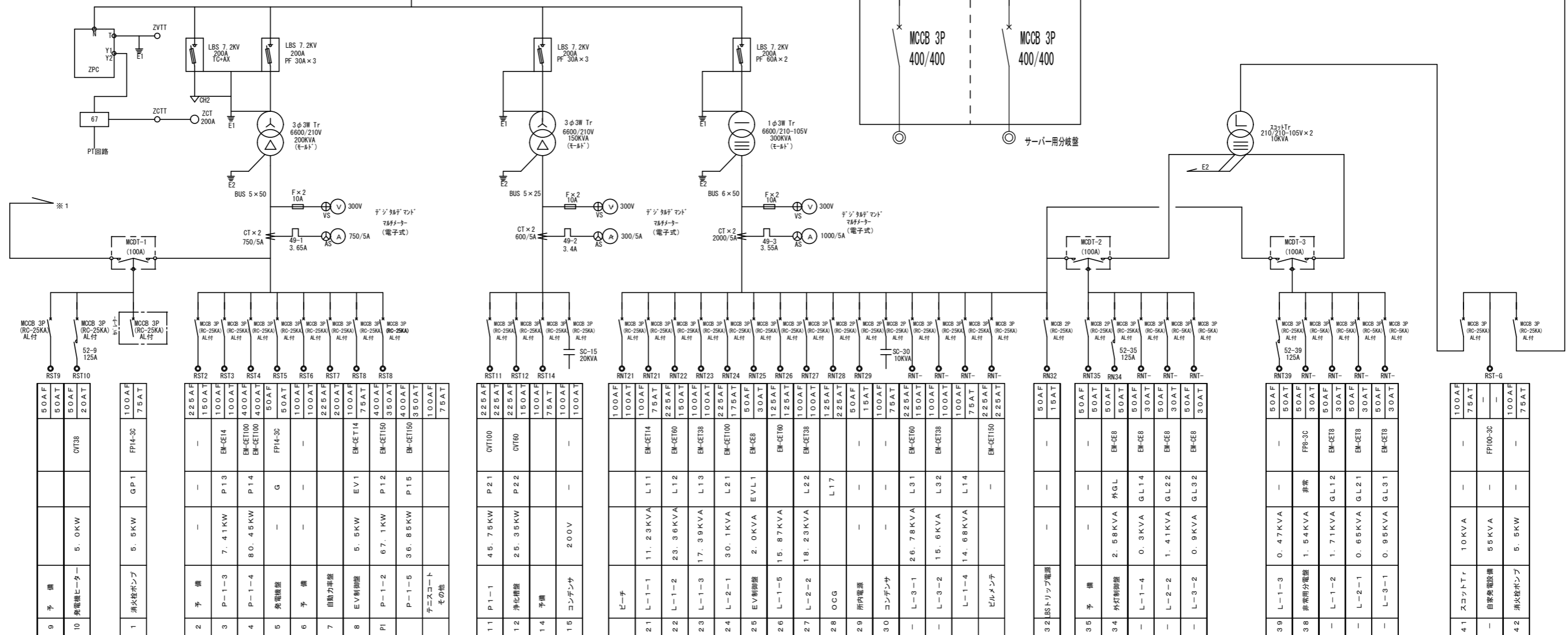
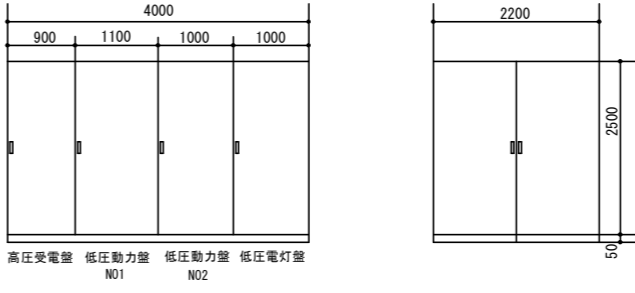
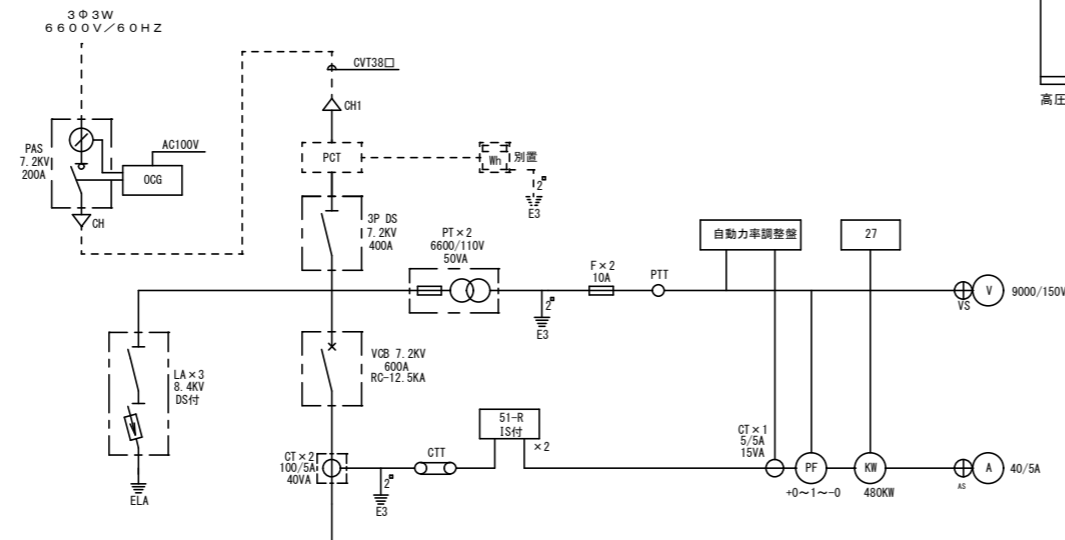
沖繩科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事（電気設備）	
幹線・動力設備 2階平面図（改修前）	A 1 : 1/200 A 3 : 1/400
E-45	



3 階平面図 S=1/200

- 注記
- 1. 宿泊室 EM-EEF2.0-3C 既存再使用
 - 2. ACP-10a・10b・ACP-11の配線は冷媒配管撤去で機械工事
 - 3. WHE-1 EM-IE2.0×2E2.0(E19) 撤去

記号	名称	摘要
PAS	高压ガス開閉器	V T内蔵
VCT	計器用変圧変流器	電力会社支給品
DS	断路器	
VT	計器用変圧器	
VCB	高压真空遮断器	手動操作
LA	避雷器	
LBS	高压負荷開閉器	ヒューズ付
Tr	変圧器	油入
CT	計器用変流器	
SC	進相コンデンサー	
V	電圧計	110*110 広角
MDA	最大需要電流計	
KW	電力計	110*110 広角
PF	力率計	110*110 広角
1<	方向性地絡継電器	高压キャビネット内設置
1>	過電流継電器	
27	不足電圧継電器	



9	予備	50AF							
10	発電機ヒューズ	50AT						5.0KW	

1	消火栓ポンプ	100AF						5.5KW	
---	--------	-------	--	--	--	--	--	-------	--

2	予備	22.5AF							
3	P-1-3	15.0AF							
4	P-1-4	10.0AF							
5	発電機盤	40.0AF							
6	予備	50.0AF							
7	自動力率盤	10.0AF							
8	EV制御盤	22.5AF							
P1	P-1-2	20.0AF							
	P-1-5	35.0AF							
	テラコート	10.0AF							
	その他	7.5AT							

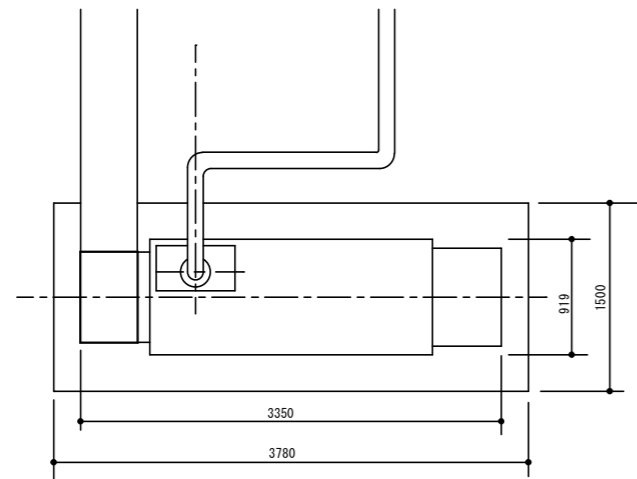
11	P1-1	22.5AF							
12	浄化槽盤	22.5AF							
14	予備	15.0AF							
15	コンデンサ	10.0AF						200V	

21	L-1-1	10.0AF							
22	L-1-2	10.0AF							
23	L-1-3	22.5AF							
24	L-2-1	10.0AF							
25	EV制御盤	10.0AF							
26	L-1-5	50AF							
27	L-2-2	12.5AF							
28	OCG	12.5AF							
29	所内電源	10.0AF							
30	コンデンサ	10.0AF							
	L-3-1	22.5AF							
	L-3-2	10.0AF							
	L-1-4	10.0AF							
	ビルメンテ	22.5AF							

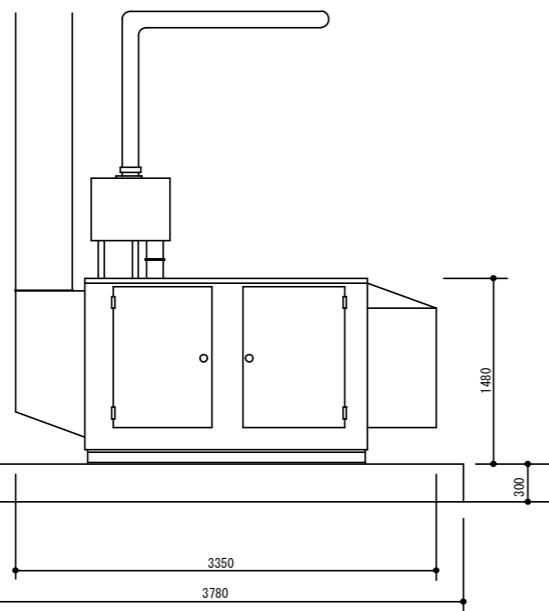
32	BUSトリップ電源	50AF							
35	予備	15AT							
34	外灯制御盤	50AF							
	L-1-4	50AF							
	L-2-2	50AF							
	L-3-2	50AF							

39	L-1-3	50AF							
38	非常用分電盤	50AF							
	L-1-2	50AF							
	L-2-1	50AF							
	L-3-1	50AF							

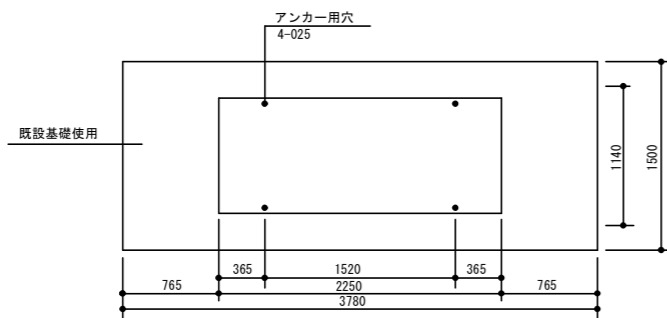
41	スコットTr	10KVA							
	自家発電設備	55KVA							
42	消火栓ポンプ	5.5KW							



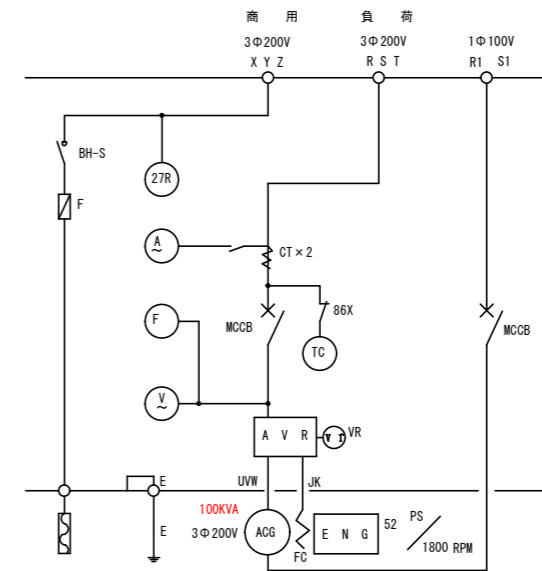
平面図 S=1/30



立面図 S=1/30



基礎布図 S=1/30

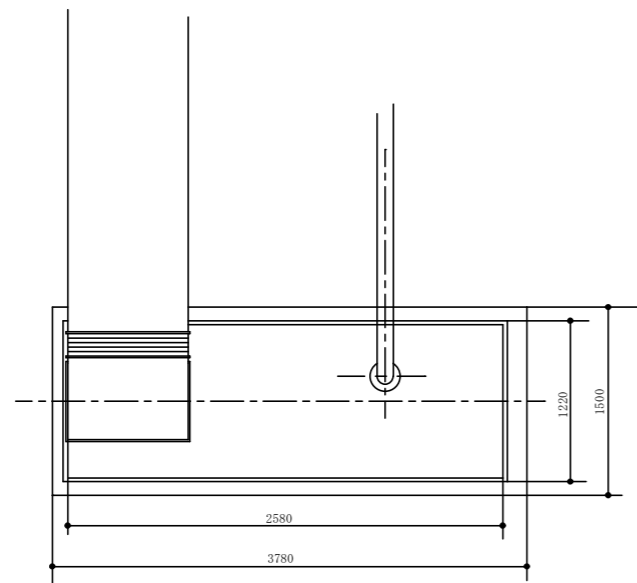


単線結線図

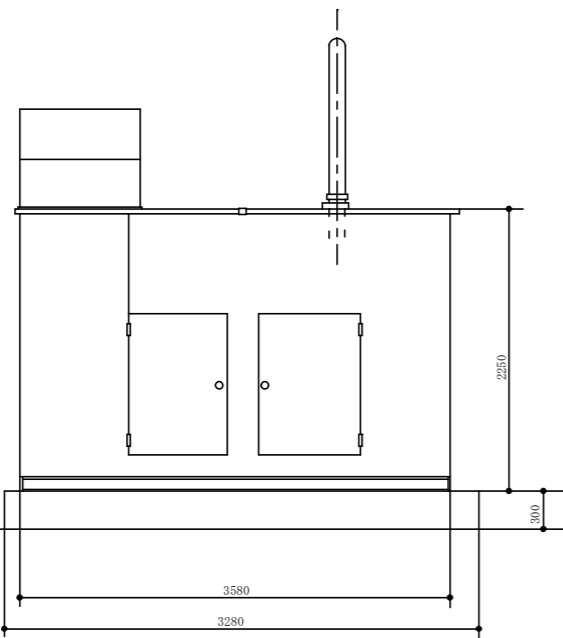
発電機要目

名称		屋内キュービクル式 瞬時普通型自家発電装置							
発電機	容量	KVA	100						
		KW	92						
	電圧	V	220						
	電流	A	44.3						
	周波数	Hz	30.2						
	回転数	rpm	1800						
	相数		3						
	極数		4						
	効率	%	80						
	励磁方式		ブラシレス式						
単相電源	V-KW	100/110-6							
機関	機関名称								
	型式		立型直列水冷4サイクル ディーゼル機関						
	圧力	Ps	80						
	回転数	rpm	1800						
	モリダ数		4						
	内径×行程		105×125						
	給排気量	%	6.5						
	冷却方式		ラジエーター冷却又は破水冷却						
	燃焼室方式		直接噴射式						
	種類		軽油						
燃料	タンク容量	%	60						
	運転時間	Hr	26.87/h 2.2h						
	潤滑方式		ポンプより強制潤滑						
	始動方式		セルモーターによる電気始動						
	セルモーター容量	V-KW	DC24・4.5						
バッテリー容量	Y-AK	DC24-2.4							
充電方式		半導体式 自動充電							
セット	保守名称	装置	項目	潤滑油	冷却水	加速度	油電流	始動	非常停止
	警報名称			下限低下	温度上昇			不能	
			ランプ表示	○	○	○	○	○	○
			ベル警報	○	○	○	○	○	○
	機関停止	○	○	○	×	—	○		
総重量	Kg			1666					

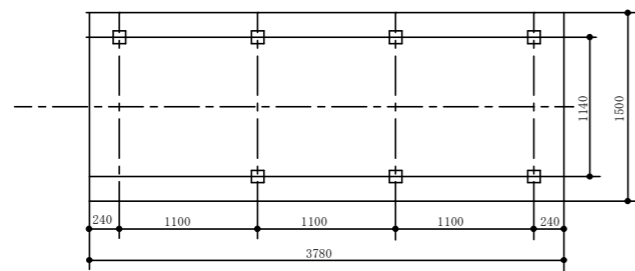
参考型番 ヤンマー AP115C



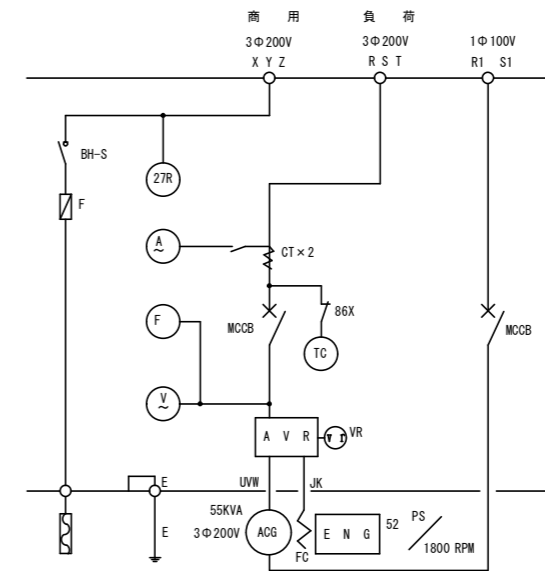
平面図 S=1/30



立面図 S=1/30



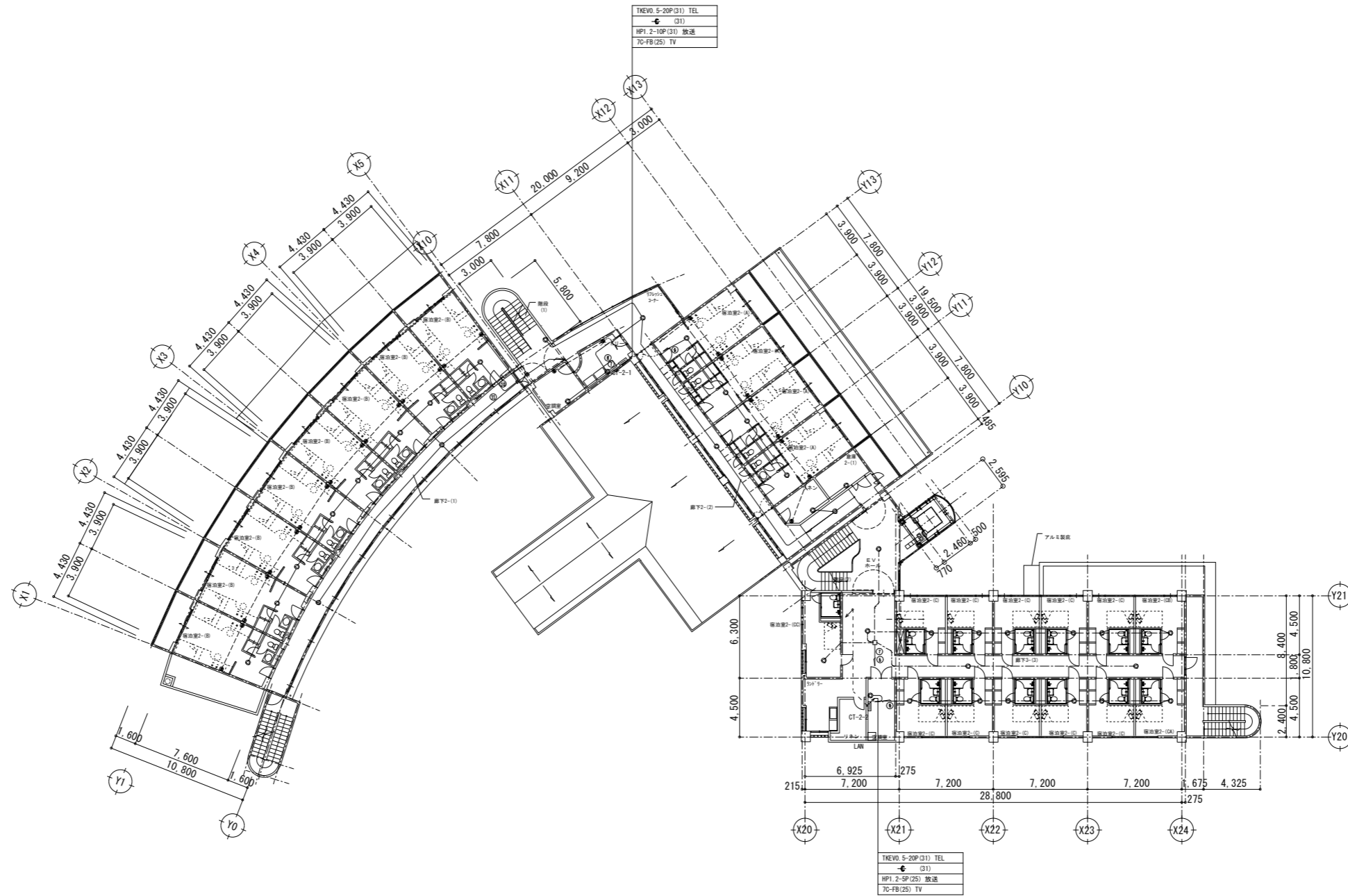
基礎布図 S=1/30



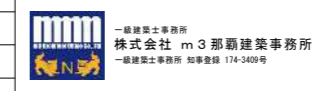
単線結線図

発電機要目

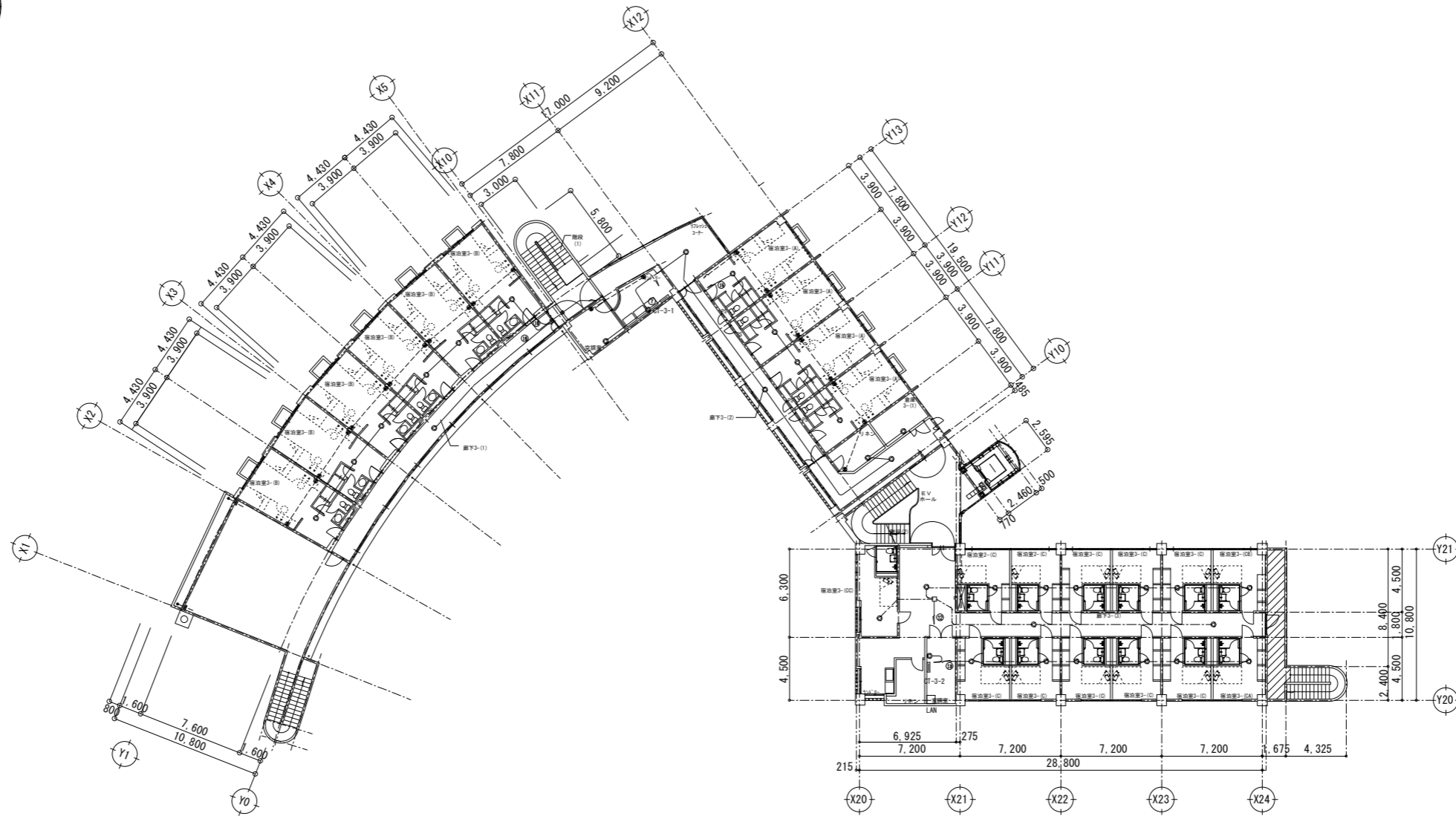
名称		屋内キュービクル式 瞬時普通型自家発電装置						
発電機	容量	KVA	5.5					
	電圧	V	120					
	電流	A	44.3					
	周波数	Hz	60					
	回転数	rpm	1800					
	相数		3					
	極数		4					
	効率	%	90					
	磁極方式							
	単相電源	V-KW	100/110-5					
機関	機関名称							
	型式		サイクル ディーゼル機関					
	圧力	Ps	80					
	回転数	rpm	1800					
	モリナー数		4					
	内径×行程		110×120					
	給排気量	ℓ	4.728					
	冷却方式		ラジエーター冷却又は破水冷却					
	燃焼室方式		圧縮電動式					
	燃料	種類		軽油				
タンク容量		ℓ	7.5					
運転時間		Hr						
潤滑方式			ポンプより強制潤滑					
セット	始動方式		セルモーターによる電気始動					
	セルモーター容量	V-KW	DC12.30					
	バッテリー容量	Y-AK	DCHsr-150HA					
	充電方式		半導体式 自動充電					
保守名称	装置	項目	潤滑油 下限低下 温度上昇	冷却水 温度上昇	加速度	過電流	始動 不能	非常停止
	ランプ表示		○	○	○	○	○	○
	ベル警報		○	○	○	○	○	○
	機関停止		○	○	○	x	—	○
総重量	Kg		1150					



2 階平面図 S=1/200

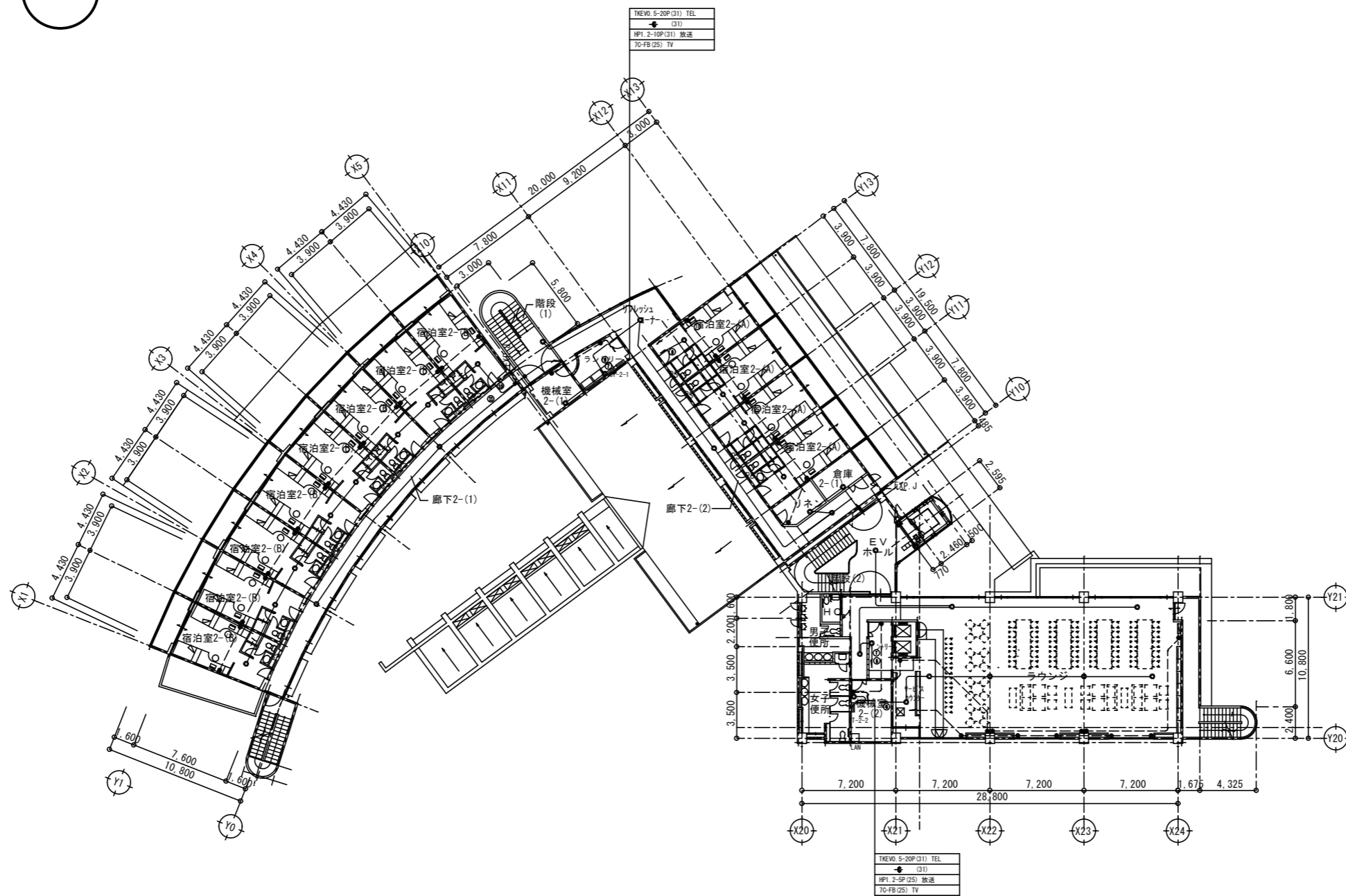
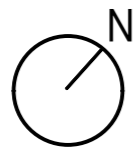


一級建築士事務所
株式会社 m3 那覇建築事務所
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号



3階平面図

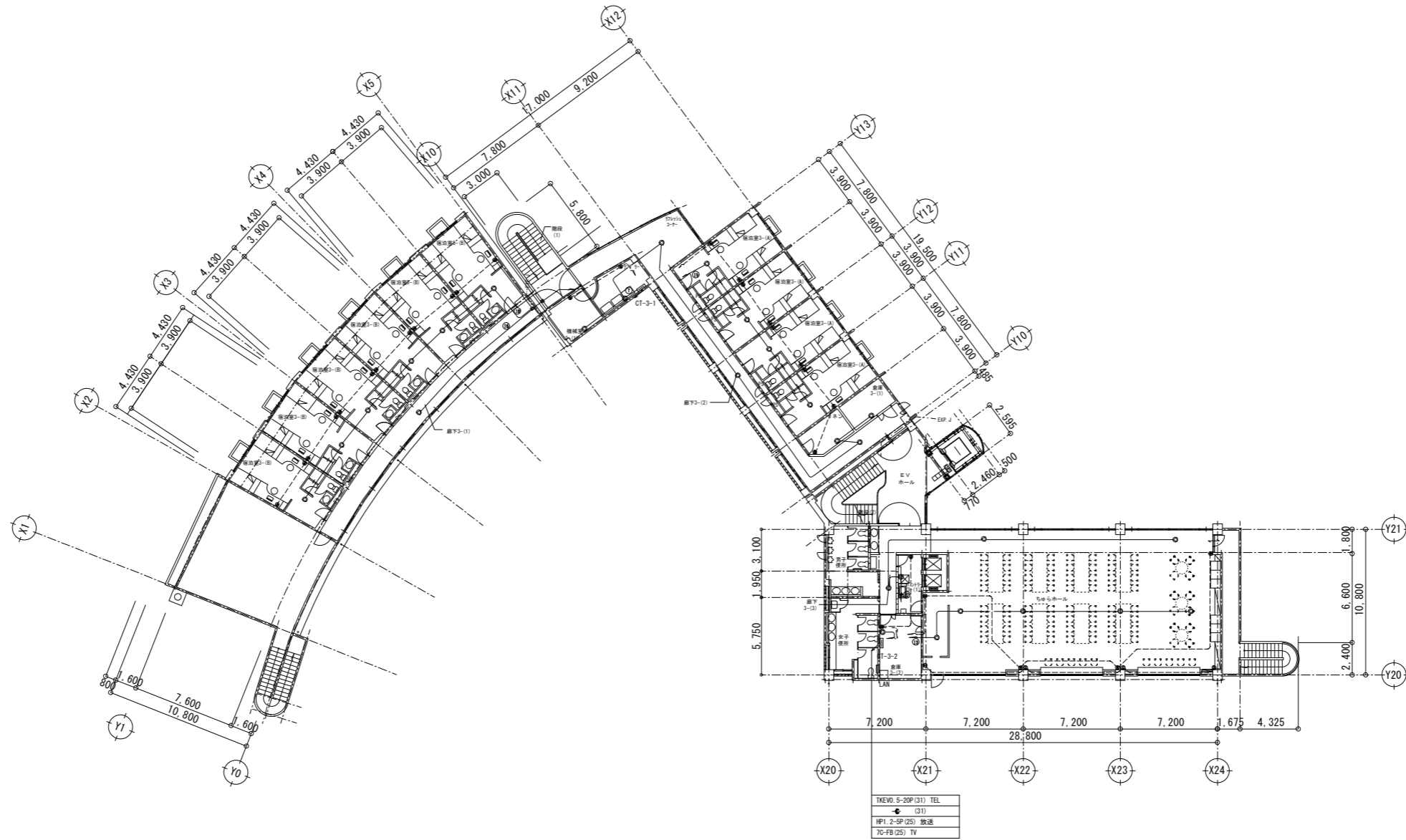
S=1/200



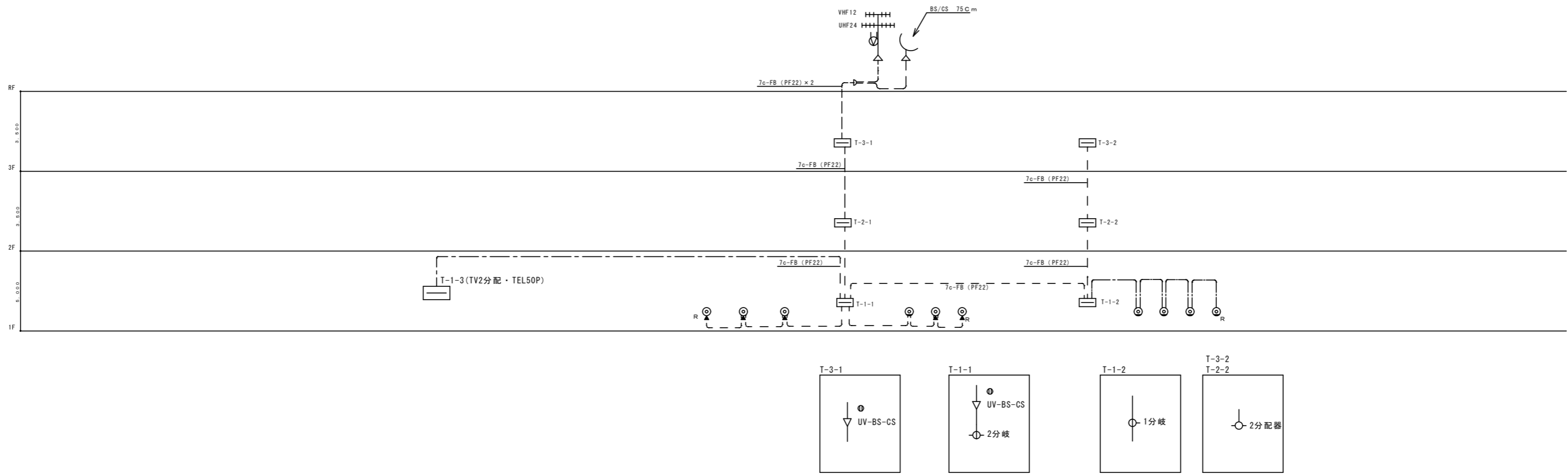
2階平面図 S=1/200

一級建築士事務所
株式会社 m3 那覇建築事務所
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 (電気設備)		
弱電設備 2階平面図 (改修前)	A 1 : 1/200 A 3 : 1/400	E-57

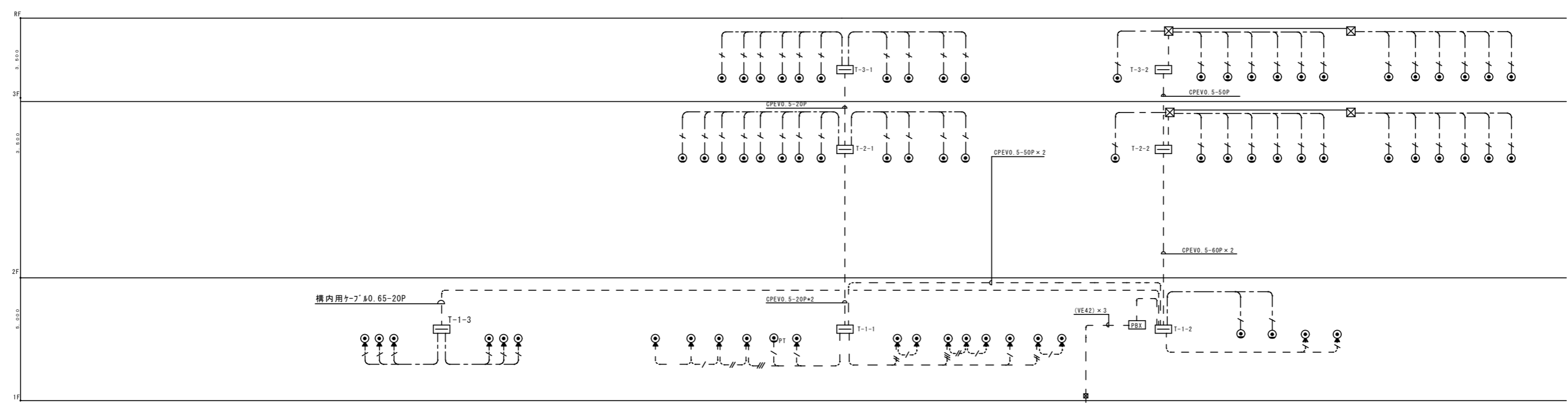


3階平面図 S=1/200



〔 注 記 〕 明 記 な き 配 線、配 管 は 下 記 の 通 り と す る。

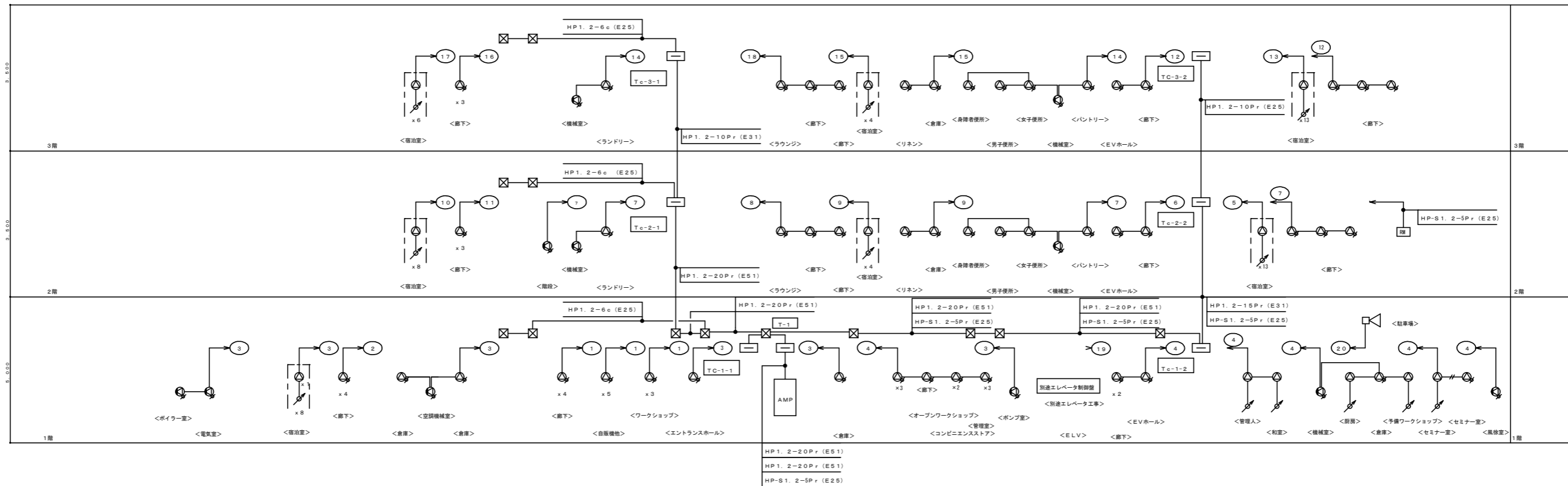
- - - 5c-FB (PF16)
 - - - 5c-FB



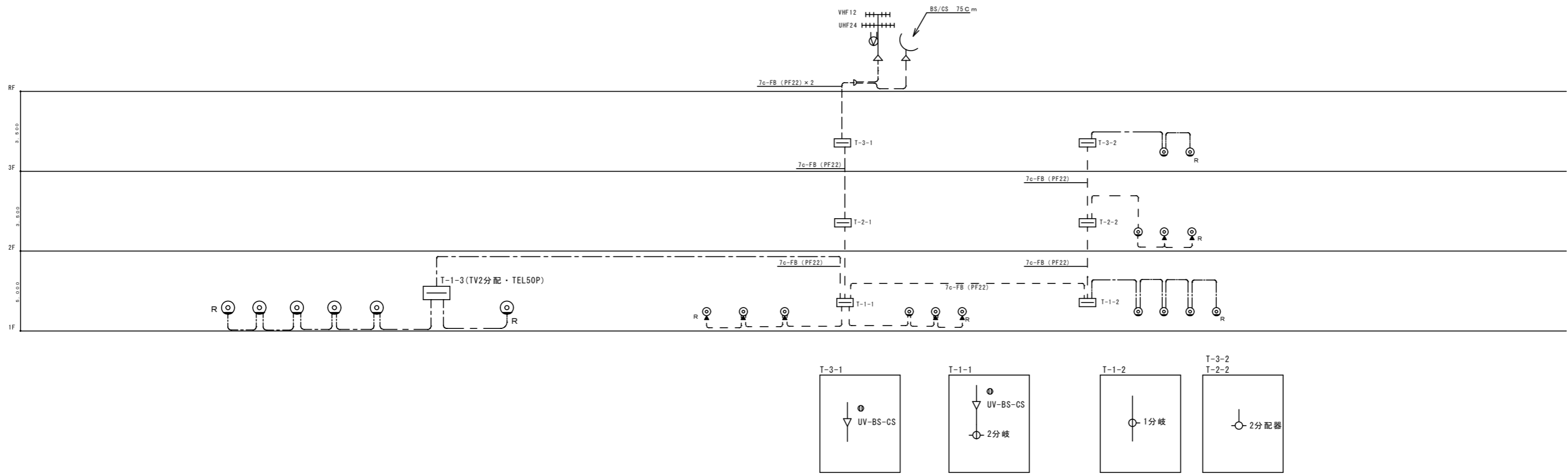
〔 注 記 〕 明 記 な き 配 線、配 管 は 下 記 の 通 り と す る。

- / - T1VF0. 5-2P (別 途)
 - # - T1VF0. 5-2P x 2 (別 途)
 - ## - T1VF0. 5-2P x 3 (別 途)
 - ### - T1VF0. 5-2P x 4 (別 途)

非常業務放送系統図



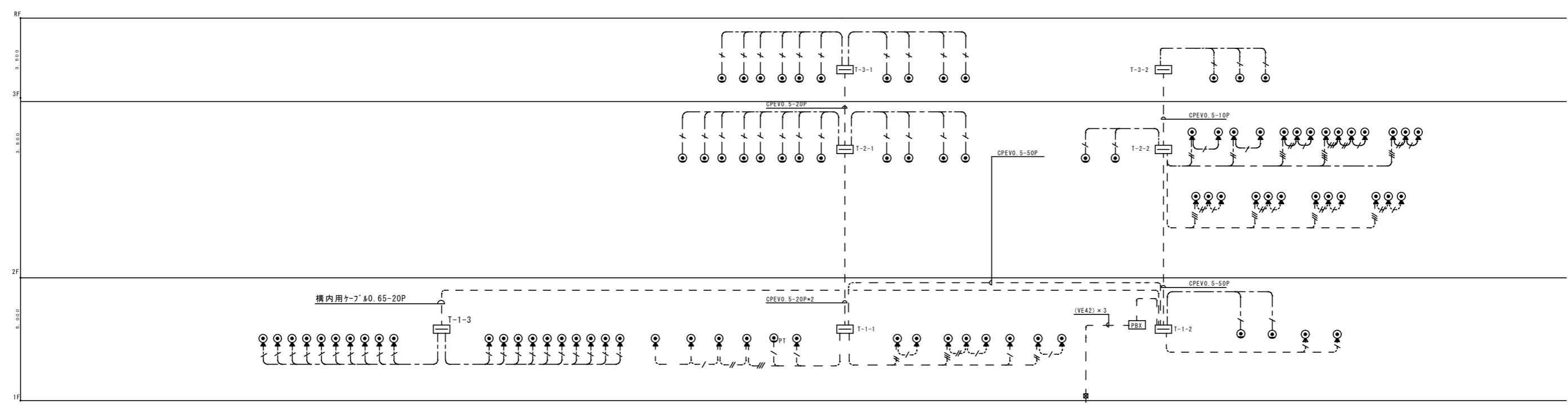
特 記		
图中、配線配管に於いて明記なきものは下記による。 尚、天井、壁及び、床下空間内は、ケーブル工事とし、 配線保護必要部分は、合成樹脂管工事とする。		
図記号	合成樹脂管工事	ケーブル工事
	HP1. 2-2c (PF16)	HP1. 2-2c
	HP1. 2-3c (PF16)	HP1. 2-3c
	AMP : 非常・業務放送アンプ	
	M : 非常・業務放送リモコン	
	TC : 天井埋込型スピーカ	
	TC : 天井埋込型スピーカ (アッテネータ付)	
	TC : 壁掛型スピーカ (アッテネータ付)	
	TC : ホーン型スピーカ	
	TC : アッテネータ	
	C : 電源制御器	
	R : 誘電端子盤	
	B : プルボックス (wp : 屋外型)	



TV・共聴設備系統図

〔注記〕 明記なき配線、配管は下記の通りとする。

- 5c-FB (PF16)
- 5c-FB

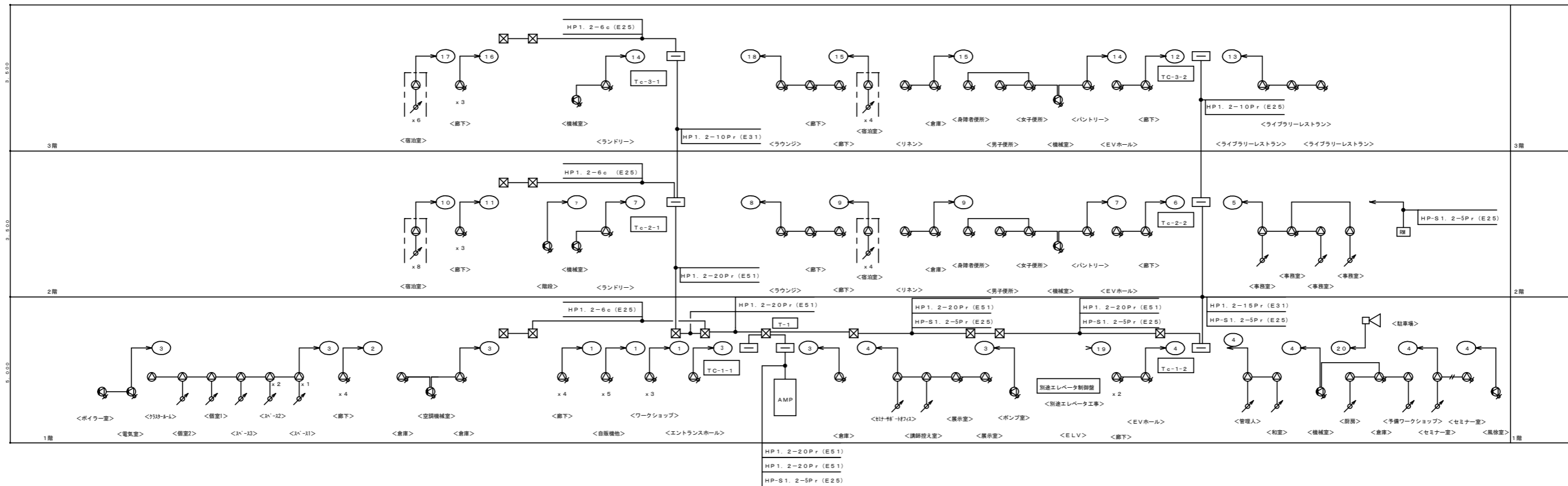


電話設備系統図

〔注記〕 明記なき配線、配管は下記の通りとする。

- / - T1VF0.5-2P (別途)
- # - T1VF0.5-2P × 2 (別途)
- ## - T1VF0.5-2P × 3 (別途)
- ### - T1VF0.5-2P × 4 (別途)

非常業務放送系統図



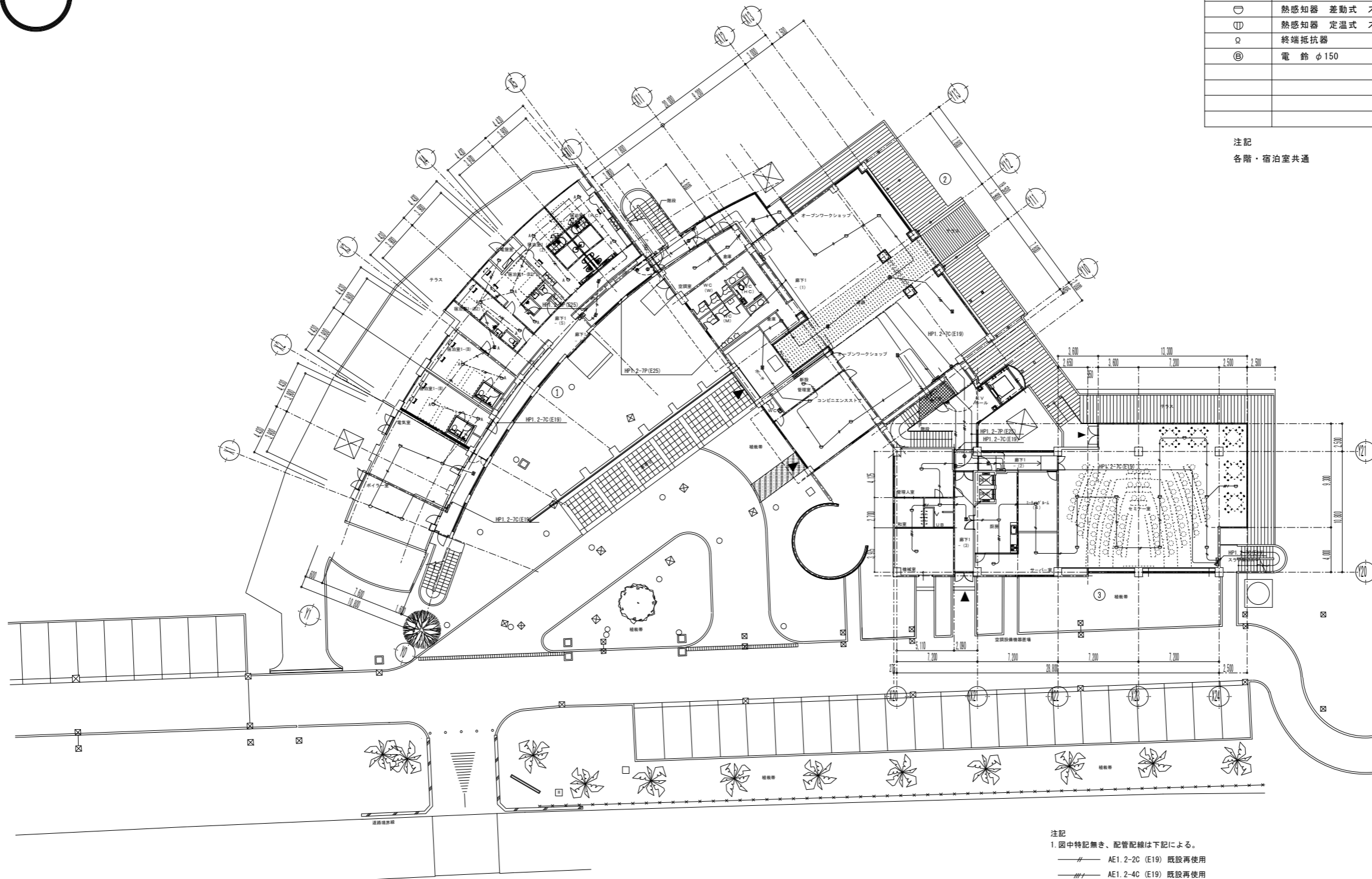


凡例

記号	名称
☒	受信機 P型1級, 壁掛型 主音響装置内装 表示灯電源内装 蓄積式 断線監視機能 予備電源内装, その他付属品一式
Ⓚ	総合盤 P型1級, 小型縦型, 露出または埋込型 表示灯(ELD), 電鈴φ150, 発信機
Ⓢ	煙感知器 光電式 スポット型 2種
Ⓣ	熱感知器 差動式 スポット型 2種
Ⓤ	熱感知器 定温式 スポット型 耐酸性
Ω	終端抵抗器
Ⓝ	電鈴 φ150

注記

各階・宿泊室共通



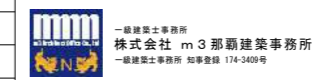
1階平面図 S=1/200

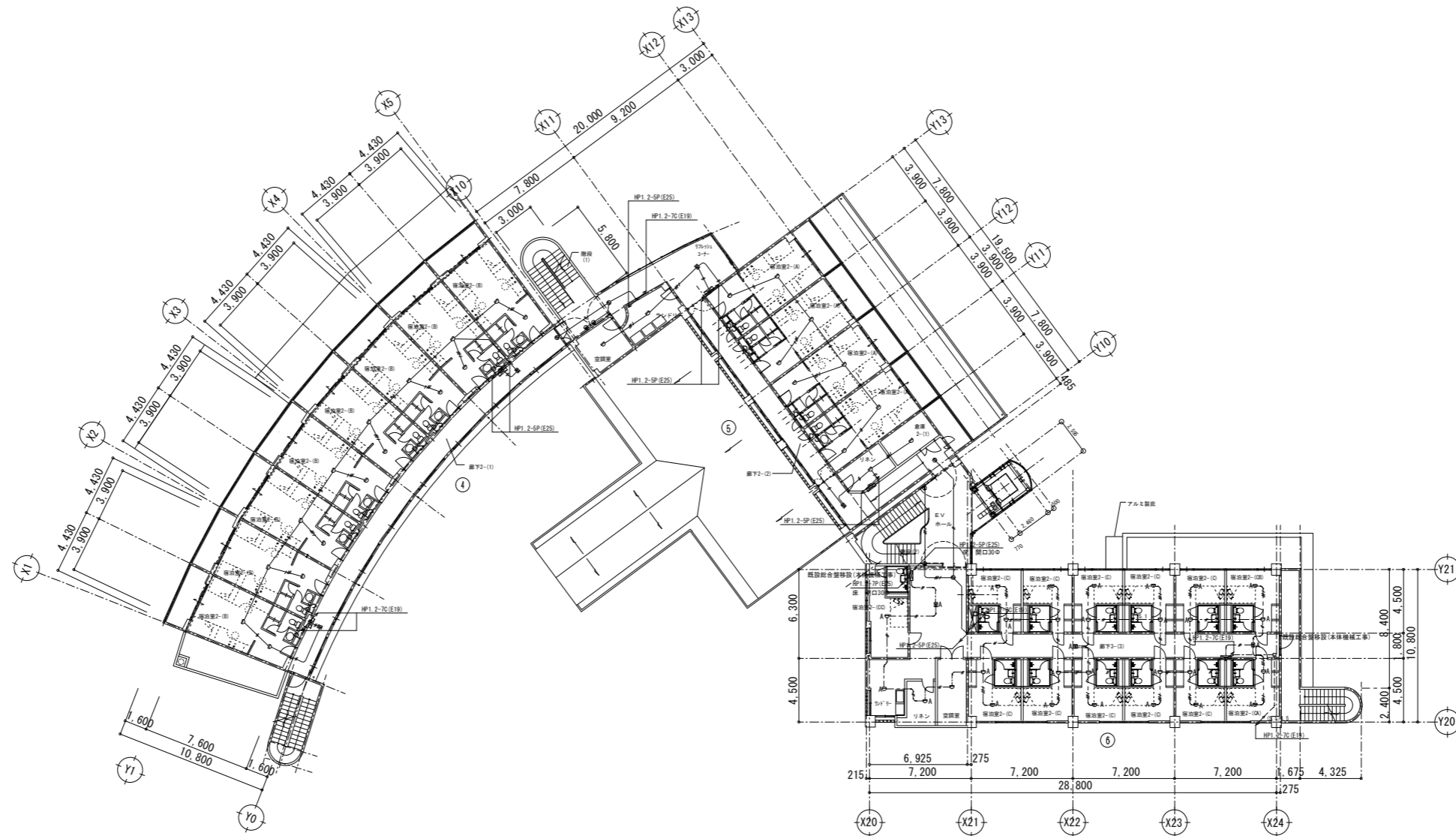
注記

1. 図中特記無き、配管配線は下記による。
- AE1.2-2C (E19) 既設再使用
 - AE1.2-4C (E19) 既設再使用
 - AE1.2-4C (E19) 既設再使用
 - HP1.2-7C (E19) 新設

2. 感知器の凡例

- Ⓣ 差動式熱感知器 2種 新設
- Ⓣ 差動式熱感知器 2種 既設再使用
- Ⓢ 光電式煙感知器 2種 新設
- Ⓢ 光電式煙感知器 2種 既設再使用





2階平面図 S=1/200

- 注記
1. 図中特記無き、配管配線は下記による。
- AE1.2-2C (E19) 既設再使用
 - AE1.2-4C (E19) 既設再使用
 - AE1.2-4C (E19) 既設再使用
 - HP1.2-7C (E19) 新設
2. 感知器の凡例
- ⊙ 差動式熱感知器 2種 新設
 - ⊙ 差動式熱感知器 2種 既設再使用
 - ⊙ 光電式煙感知器 2種 新設
 - ⊙ 光電式煙感知器 2種 既設再使用

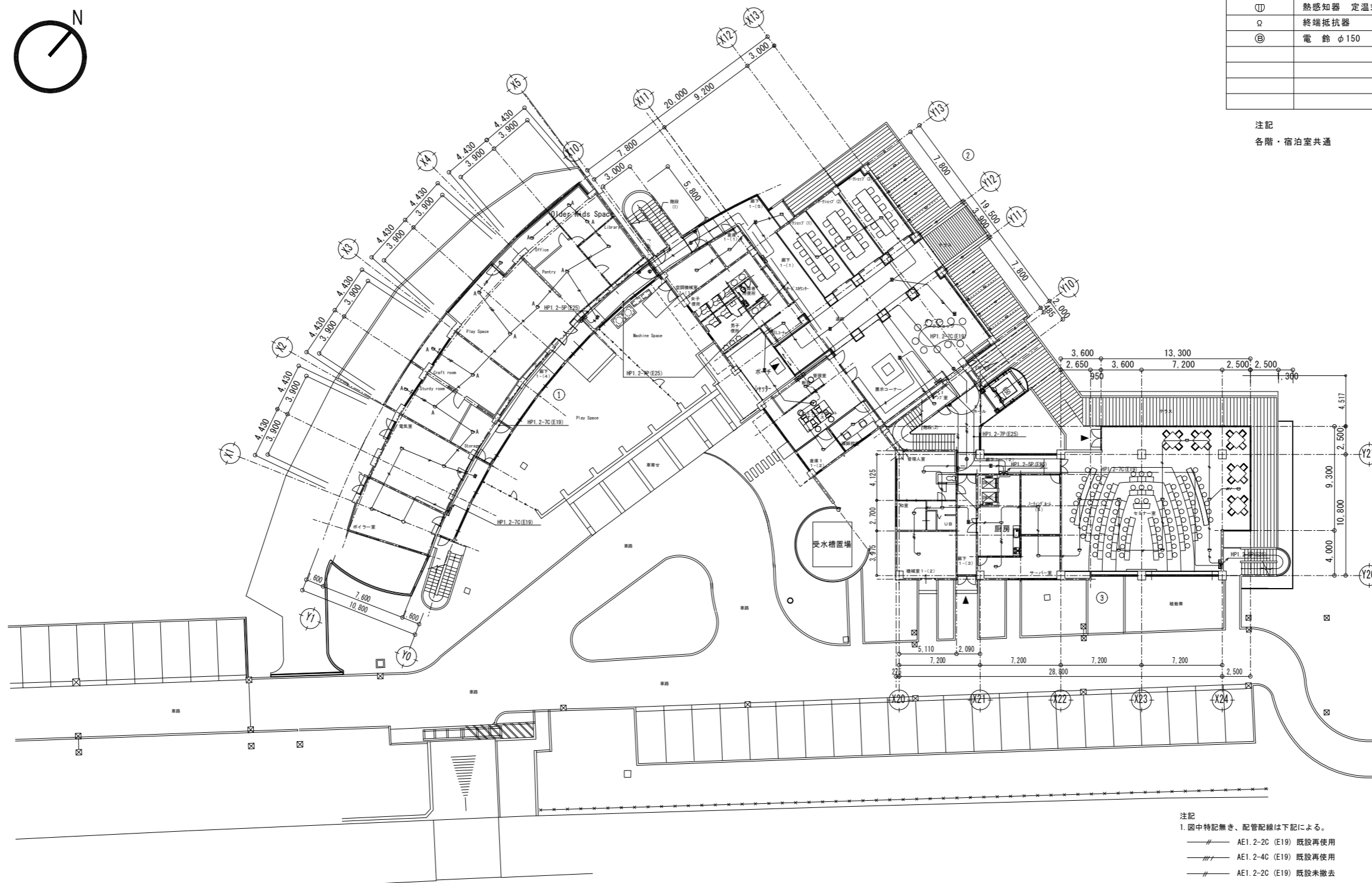


凡例

記号	名称
☒	受信機 P型1級, 壁掛型 主音響装置内装 表示灯電源内装 番精式 断線監視機能 予備電源内装, その他付属品一式
Ⓚ	総合盤 P型1級, 小型縦型, 露出または埋込型 表示灯(ELD), 電鈴φ150, 発信機
☒	煙感知器 光電式 スポット型 2種
☒	熱感知器 差動式 スポット型 2種
☒	熱感知器 定温式 スポット型 耐酸性
Ω	終端抵抗器
Ⓚ	電鈴 φ150

注記

各階・宿泊室共通



1階平面図 S=1/200

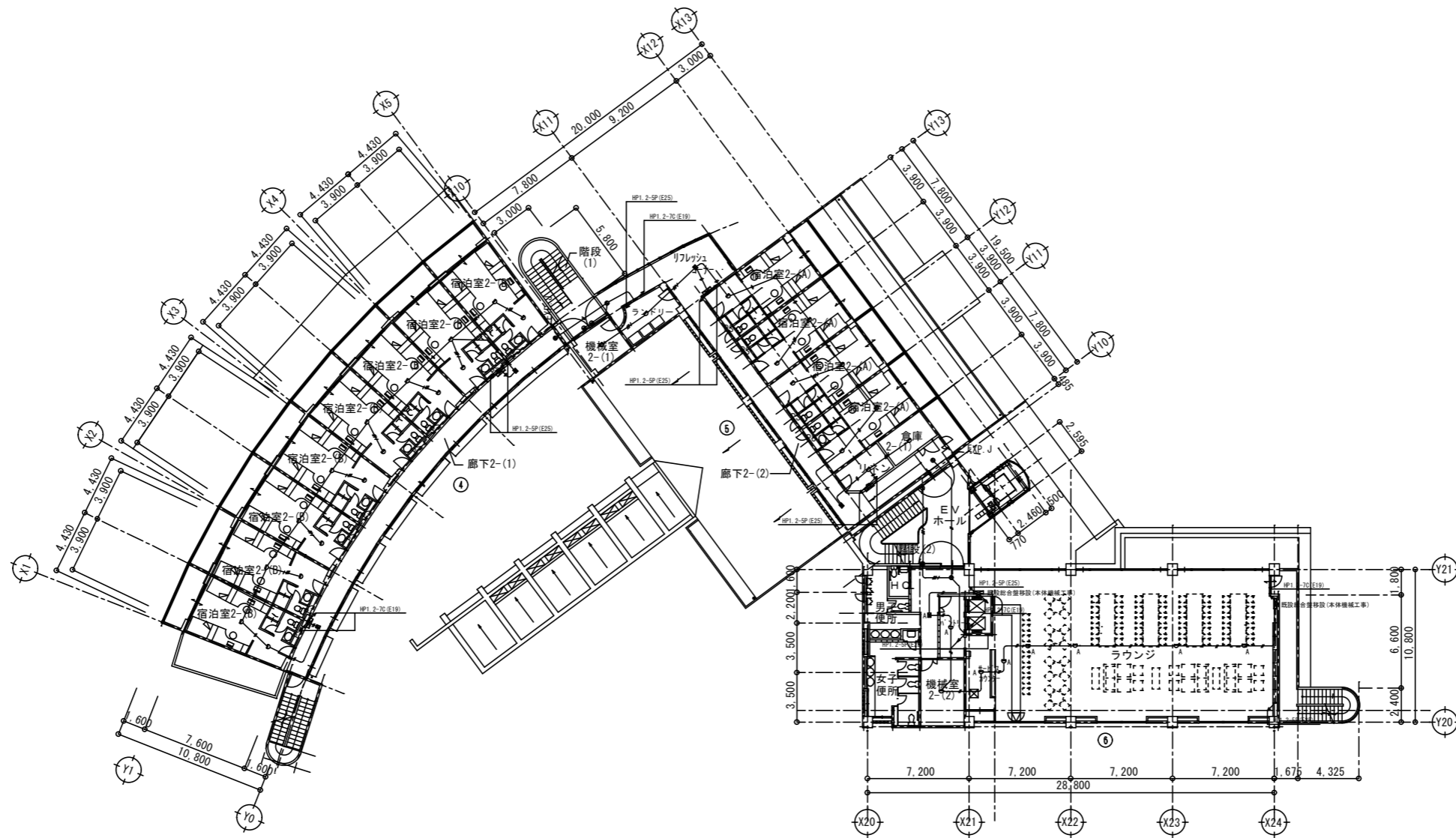
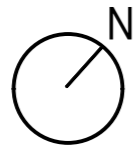
注記

1. 図中特記無き、配管配線は下記による。

- AE1.2-2C (E19) 既設再使用
- AE1.2-4C (E19) 既設再使用
- AE1.2-2C (E19) 既設未撤去
- AE1.2-4C (E19) 既設未撤去

2. 感知器の凡例

- ☒ 差動式熱感知器 2種 既設撤去
- ☒ 差動式熱感知器 2種 既設再使用
- ☒ 光電式煙感知器 2種 既設撤去
- ☒ 光電式煙感知器 2種 既設再使用

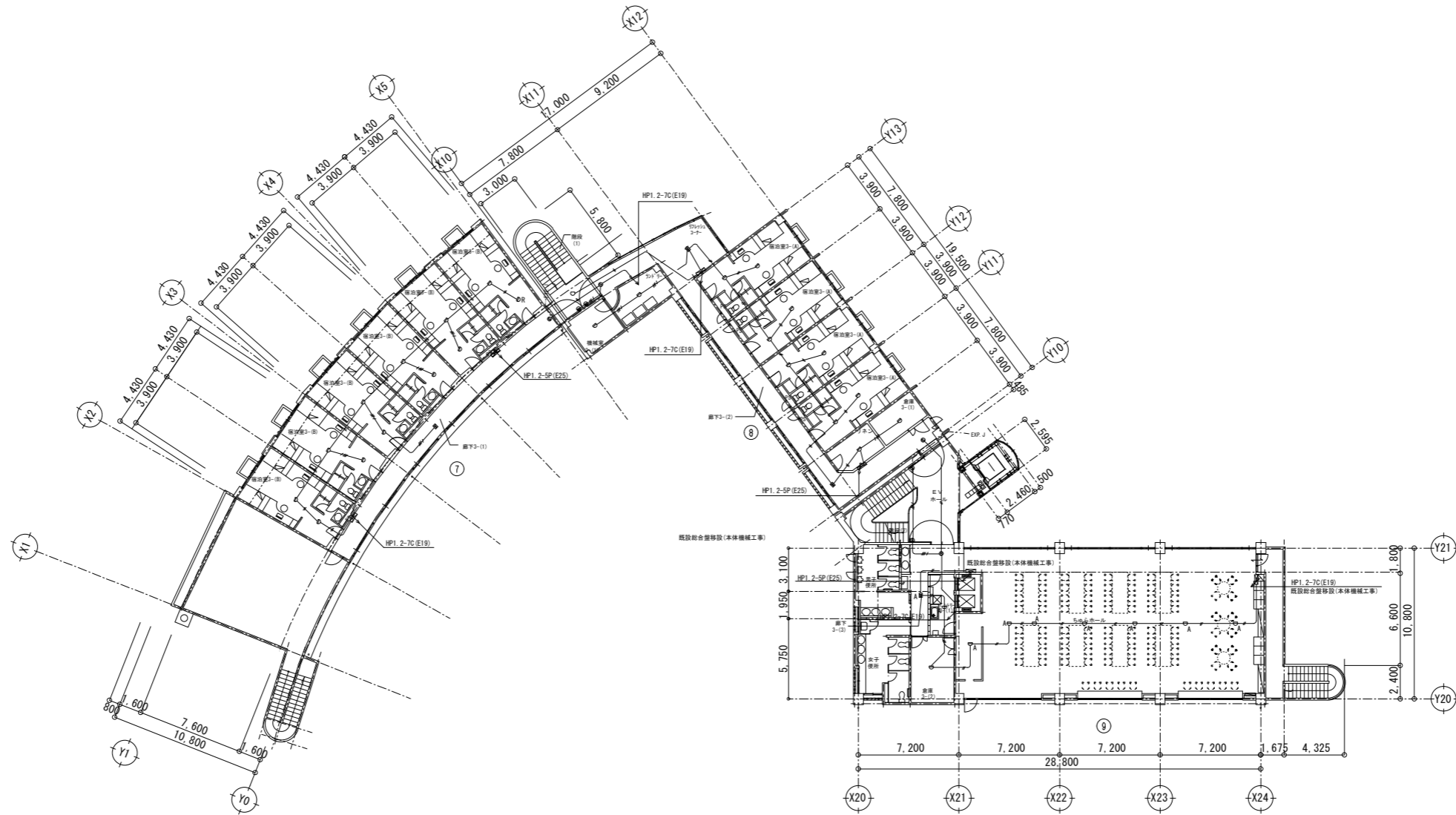


2階平面図 S=1/200

- 注記
1. 図中特記無き、配管配線は下記による。

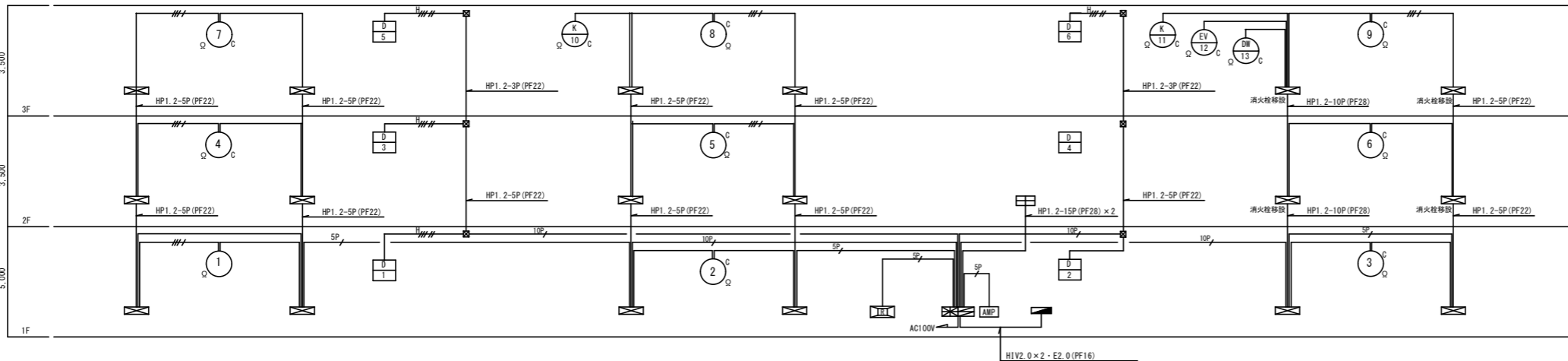
 - AE1. 2-2C (E19) 既設再使用
 - AE1. 2-4C (E19) 既設再使用
 - AE1. 2-2C (E19) 既設未撤去
 - AE1. 2-4C (E19) 既設未撤去
 2. 感知器の凡例

 - ⊖ 差動式熱感知器 2種 既設撤去
 - ⊕ 差動式熱感知器 2種 既設再使用
 - ⊙ 光電式煙感知器 2種 既設撤去
 - ⊙ 光電式煙感知器 2種 既設再使用



3 階平面図 S=1/200

- 注記
 1. 図中特記無き、配管配線は下記による。
 —— AE1.2-2C (E19) 既設再使用
 - - - AE1.2-4C (E19) 既設再使用
 // AE1.2-2C (E19) 既設未撤去
 - - - AE1.2-4C (E19) 既設未撤去
2. 感知器の凡例
 A ⊖ 差動式熱感知器 2種 既設撤去
 ⊖ 差動式熱感知器 2種 既設再使用
 A ⊕ 光電式煙感知器 2種 既設撤去
 ⊕ 光電式煙感知器 2種 既設再使用



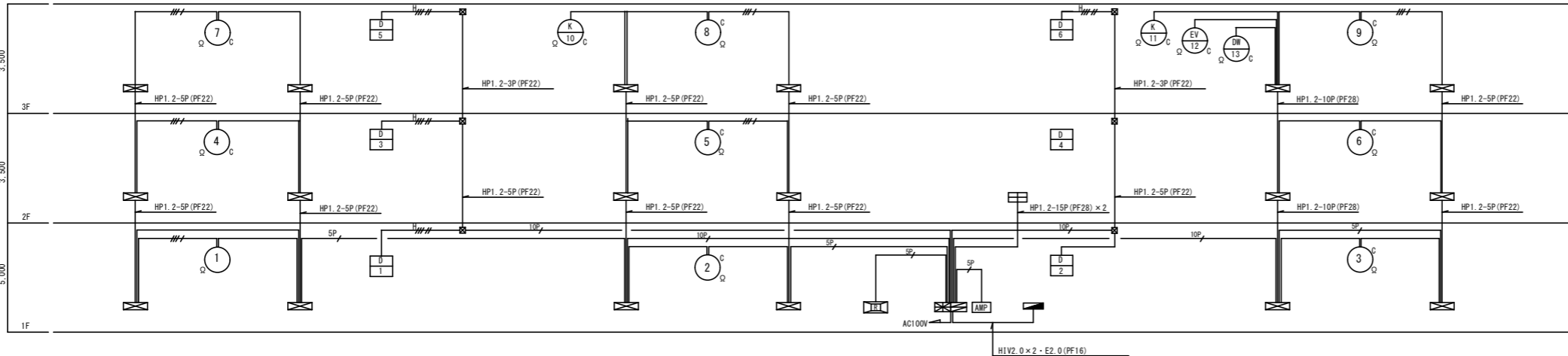
自動火災報知設備系統図

凡 例		
記号	名 称	備 考
	複合火災受信機 (既存)	仕様注記参照
	表示機 (既存)	仕様注記参照
	機器収容箱 (既存)	屋内消火栓室内 組込・埋込型
	手動発信機 (既存)	P型1級
	表示灯 (既存)	24V・21mA
	定温式熱感知器	特殊・65℃・防水型
	定温式熱感知器	1種・75℃・防水型
	定温式熱感知器	1種・75℃
	差動式熱感知器	2種・防水型
	差動式熱感知器	2種
	光電式煙感知器	2種・自動試験機能付
	光電式煙感知器	2種・点検口付・自動試験機能付
	終端抵抗	10KΩ・1/2W
	光電式煙感知器	3種
	自動閉鎖装置	DC24V・0.3A以下・防火戸
	移籍機	消火ポンプ起動盤内組込・表示灯LED
	非常放送アンプ	別途工事
配管配線		天井インベイ
	プルボックス・ジョイントボックス	
	立上げ引下げ	
	警戒区域線	
	警戒区域番号	火災表示
	警戒区域番号	火災表示 (自動試験機能付感知器含む)
	動作表示番号	防火戸閉鎖表示
	ガス漏れ感知器	別途工事
	非常用分電盤	別途工事

《 注 記 》		
1. 複合火災受信機仕様は下記とする。		
a)	P型1級・30回線	
b)	壁掛型・窓式・種音管 (音声警報)・予備電源内蔵・番積式	
c)	自動試験機能付	
d)	自動試験機能付 (感知器配線の絶縁を常時監視する機能)	
e)	アドレス表示付・部屋番号表示機能付・漢字プリンター内蔵	
f)	操作部の誤操作防止機能付	
g)	表示内訳	
	・火災表示	13 L
	・防火戸閉鎖表示	6 L
		+ 11 (予備) = 30 L
h)	消火栓ポンプ始動表示 (1 L) は LED 表示	
i)	鐘表示部 (5 L 標準装備)	
	・消火栓ポンプ故障表示 1 L
	・消火栓ポンプ呼水精減水表示 1 L
2. 複合火災受信機は自動試験機能付感知器のアドレス (7セグメント) 表示を可能とする。		
3. 表示機仕様は下記とする。		
a)	P型1級・壁掛型・窓式・主音管内蔵・部屋番号表示機能付	
b)	表示内訳	
	・複合火災受信機の標準内訳と同一とする。	
4. 複合火災受信機より非常放送アンプへの火災信号移籍は下記とする。(無電圧 a 接点)		
	・階別火災信号移籍 3 L
	・火災警報個別信号移籍 4 L
	・火災確認信号移籍 1 L
5. 火災時の地区音響は非常放送設備と連動してスピーカからの音声警報にて行う。		
	・感知器発報放送 感知器作動時
	・火災放送 発信機差動時
6. 特記なき配管配線は下記参照。		
	AE1. 2-2C (PF16)	
	AE1. 2-4C (PF16)	
	HP1. 2-5C (PF16)	
	HP1. 2-5P (PF22)	
	HP1. 2-10P (PF28)	
	HP1. 2-15P (PF28)	
但し、幹線の立上げ、引下げ個別及び通天井はPF管にて保護とし、二重天井はこがしとする。(尚、配線も同様とする。)		
7. 既設消火栓の移設に伴う、総合盤も同様に移設する。		
8. 平面図中の詳細は系統図参照とする。		

凡 例		
記号	名 称	備 考
	複合火災受信機(既存)	仕様注記参照
	表示機(既存)	仕様注記参照
	機器収容箱(既存)	屋内消火栓室内 組込・埋込型
	手動発信機(既存)	P型1級
	表示灯(既存)	24V・21mA
	定温式熱感知器	特殊・65℃・防水型
	定温式熱感知器	1種・75℃・防水型
	定温式熱感知器	1種・75℃
	差動式熱感知器	2種・防水型
	差動式熱感知器	2種
	光電式煙感知器	2種・自動試験機能付
	光電式煙感知器	2種・点検口付・自動試験機能付
	終端抵抗	10kΩ・1/2W
	光電式煙感知器	3種
	自動閉鎖装置	DC24V・0.3A以下・防火戸
	移機機	消火ポンプ起動盤内組込・表示灯LED
	非常放送アンプ	別途工事
	配管配線	天井インベイ
	フルボックス・ジョイントボックス	
	立上げ引下げ	
	警戒区域線	
	警戒区域番号	火災表示
	警戒区域番号	火災表示(自動試験機能付感知器含む)
	動作表示番号	防火戸閉鎖表示
	ガス漏れ感知器	別途工事
	非常用分電盤	別途工事

《 注 記 》		
1. 複合火災受信機仕様は下記とする。		
a)	P型1級・30回線	
b)	壁掛型・窓式・種音管(音声警報)・予備電源内蔵・番積式	
c)	自動試験機能付	
d)	自動試験機能付(感知器配線の絶縁を常時監視する機能)	
e)	アドレス表示付・部屋番号表示機能付・漢字プリンター内蔵	
f)	操作部の誤操作防止機能付	
g)	表示内訳	
	・火災表示	13 L
	・防火戸閉鎖表示	6 L
		+ 11 (予備) = 30 L
h)	消火ポンプ始動表示(1 L)はLED表示	
i)	積表示部(5 L標準装備)	
	・消火ポンプ故障表示	1 L
	・消火ポンプ呼水積減水表示	1 L
2. 複合火災受信機は自動試験機能付感知器のアドレス(7セグメント)表示を可能とする。		
3. 表示機仕様は下記とする。		
a)	P型1級・壁掛型・窓式・主音管内蔵・部屋番号表示機能付	
b)	表示内訳	
	・複合火災受信機の標準内訳と同一とする。	
4. 複合火災受信機より非常放送アンプへの火災信号移転は下記とする。(無電圧α接点)		
	・階別火災信号移転	3 L
	・火災警報個別信号移転	4 L
	・火災確定信号移転	1 L
5. 火災時の地区音管は非常放送設備と連動してスピーカーからの音声警報にて行う。		
	・感知器発報放送	感知器作動時
	・火災放送	発信機差動時
6. 特記なき配管配線は下記参照。		
	AE1. 2-2C (PF16)	
	AE1. 2-4C (PF16)	
	HP1. 2-5C (PF16)	
	HP1. 2-5P (PF22)	
	HP1. 2-10P (PF28)	
	HP1. 2-15P (PF28)	
但し、幹線の立上げ、引下げ個別及び通天井はPF管にて保護とし、二重天井はこがしとする。(尚、配線も同様とする。)		
7. 既設消火栓は室内の発信機及び表示灯のみ取替とする。		
8. 平面図中の詳細は系統図参照とする。		



自動火災報知設備系統図